



はつあい  
**初愛**

**4U** (for you...)

デジタル特装版

# 初愛 4U (for you...)

~はつあい~ デジタル特装版

- ・あらしのよる」(初愛～はつあい～26)
- ・5センチメートルのあなた」(初愛～はつあい～27)
- ・いじわるなキスをさせてね」(初愛～はつあい～28)
- ・八月の無邪気」(初愛～はつあい～29)
- ・白い体験」(初愛～はつあい～30)
- ・ありふれたロマンス」(初愛～はつあい～31)
- ・ふたりのベッド」(初愛～はつあい～32)
- ・鼓動にさわって…」(初愛～はつあい～33)





あらしのよる



はぁッ…

はぁッ…

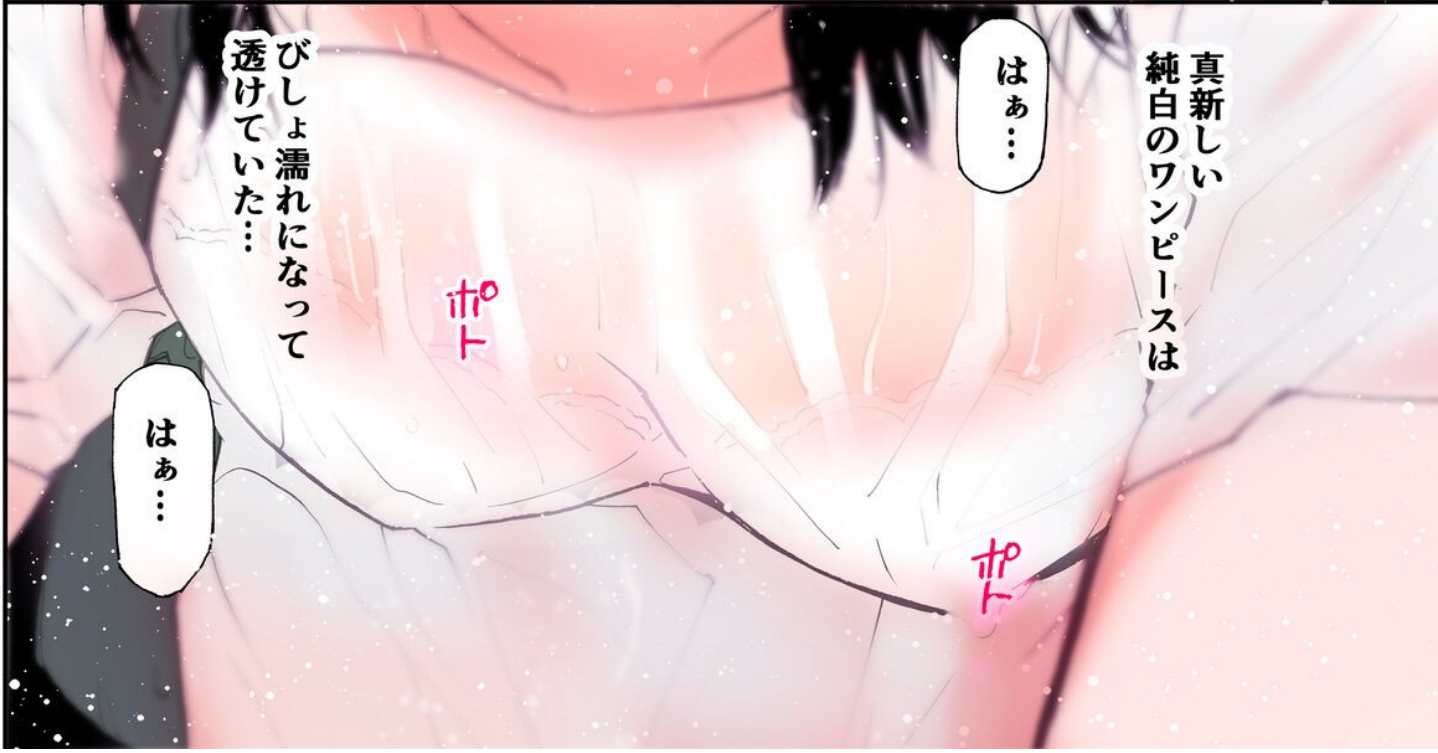


はぁ…

真新しい  
純白のワンピースは

びしょ濡れになって  
透けていた…

はぁ…





すごい雨…



咲ちゃん!!

タオル!!



やっぱり…

今日出掛けるの  
無茶だったね



平和なデートプランは

季節外れの大嵐で  
跡形もなく  
吹き飛ばされてしまった



おじゃまします

どうぞ

……



着替え  
部屋使ってよ

うん… ありがと…



とりあえず  
これ着て  
洗ってあるヤツ  
だから



えー  
そーなんだ

あは  
ヤバイ!!  
部屋全然  
片づけてないや!!



今日  
こんな形で  
孝也くんの部屋に  
上がることになるなんて…

想ってなかった…



クス  
よーし♪  
クス

Hな本は  
どこかな  
— ?

あッ  
ダメ  
ダメ  
!! !!





最初のキス…

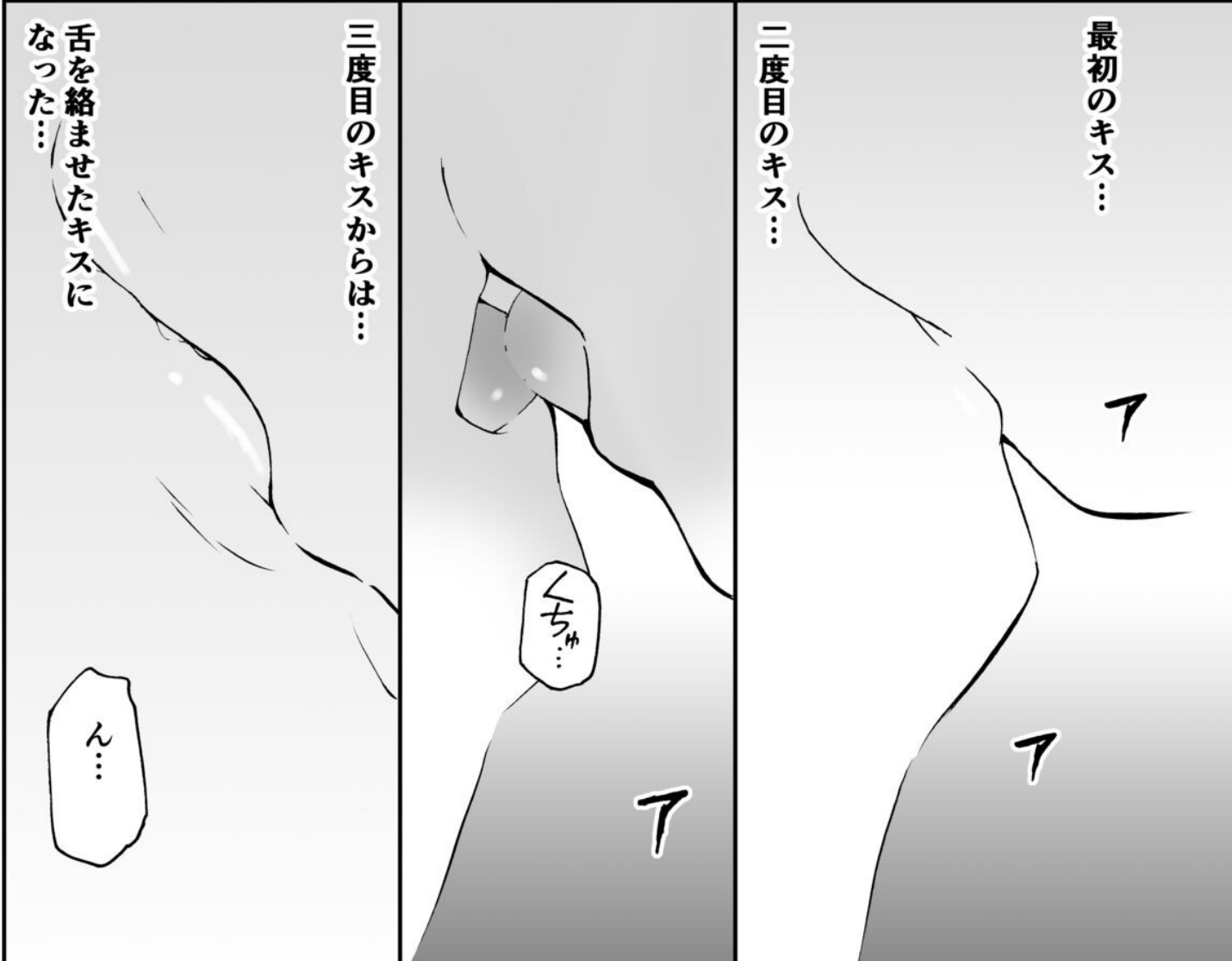
二度目のキス…

三度目のキスからは…

舌を絡ませたキスになつた…

ん…

んち…



ホントはねわたし  
今日のデートで  
キスマまでいけたらいいなって…

想ってた…

どうしょ…

展開…

はやすぎるかな…



もう…!!

はッ…

はッ…

ガッ  
ッ

止まら  
ないッ…!!

はッ

チゅ  
…

う…





咲ちゃん…!!

ん…



う…



んあ…

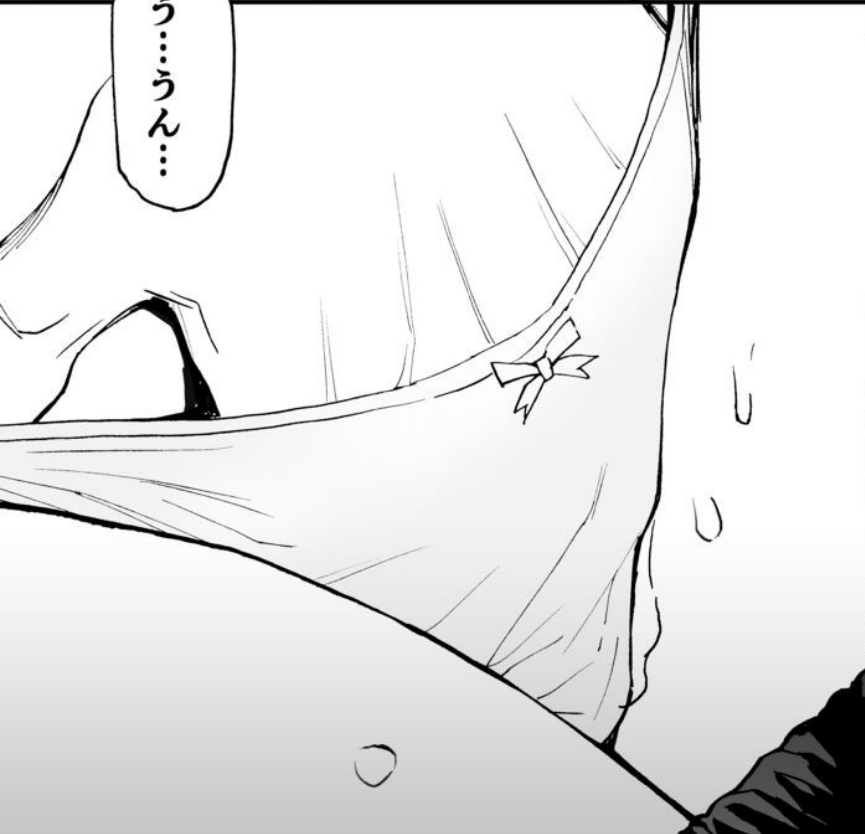
いいのかな  
咲ちゃんに  
こんなこと  
して…

き…

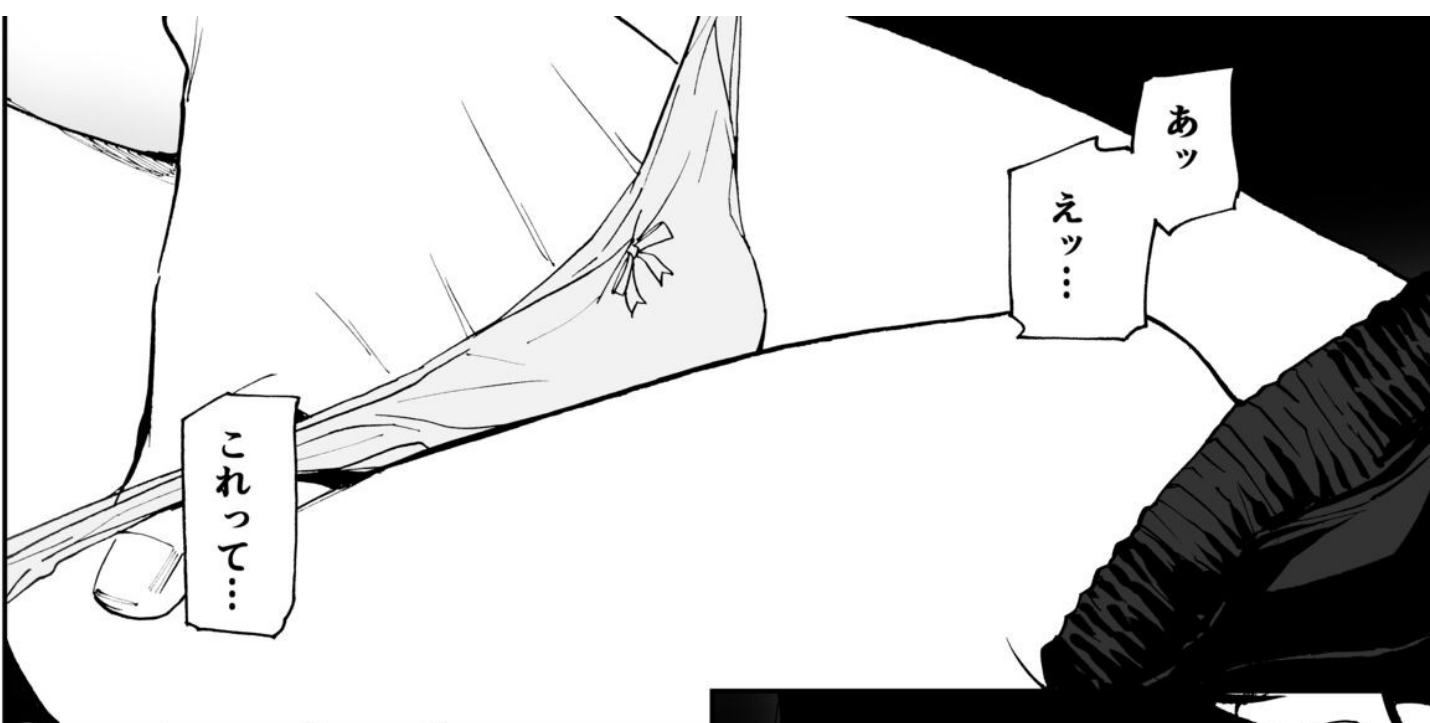
気持ちいい？



う…うん…



あ…



これって…

えッ…  
あッ



たれる…!!

あふれる…

すごい

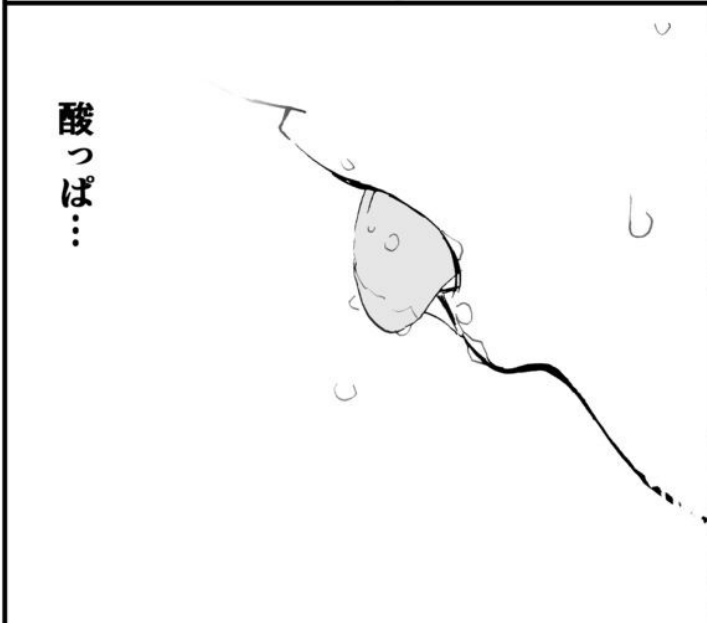
っ…



開いた!!

ひ…

とろ…  
とろ…



酸っぱ…



すごい…!!  
こんなに…  
…濡れるんだ…

だって…





咲ちゃん  
あの…

待って  
孝也くん…!!



は…

は…



あ  
ああ…  
ある!!

それって  
挿れていいって  
…ことだよね

あるよ!!



ごめん…  
避妊具  
あるかな…?

え……



あは  
ちゃんと用意  
してたんだ…♡

挿れる…!!



挿れる…!!



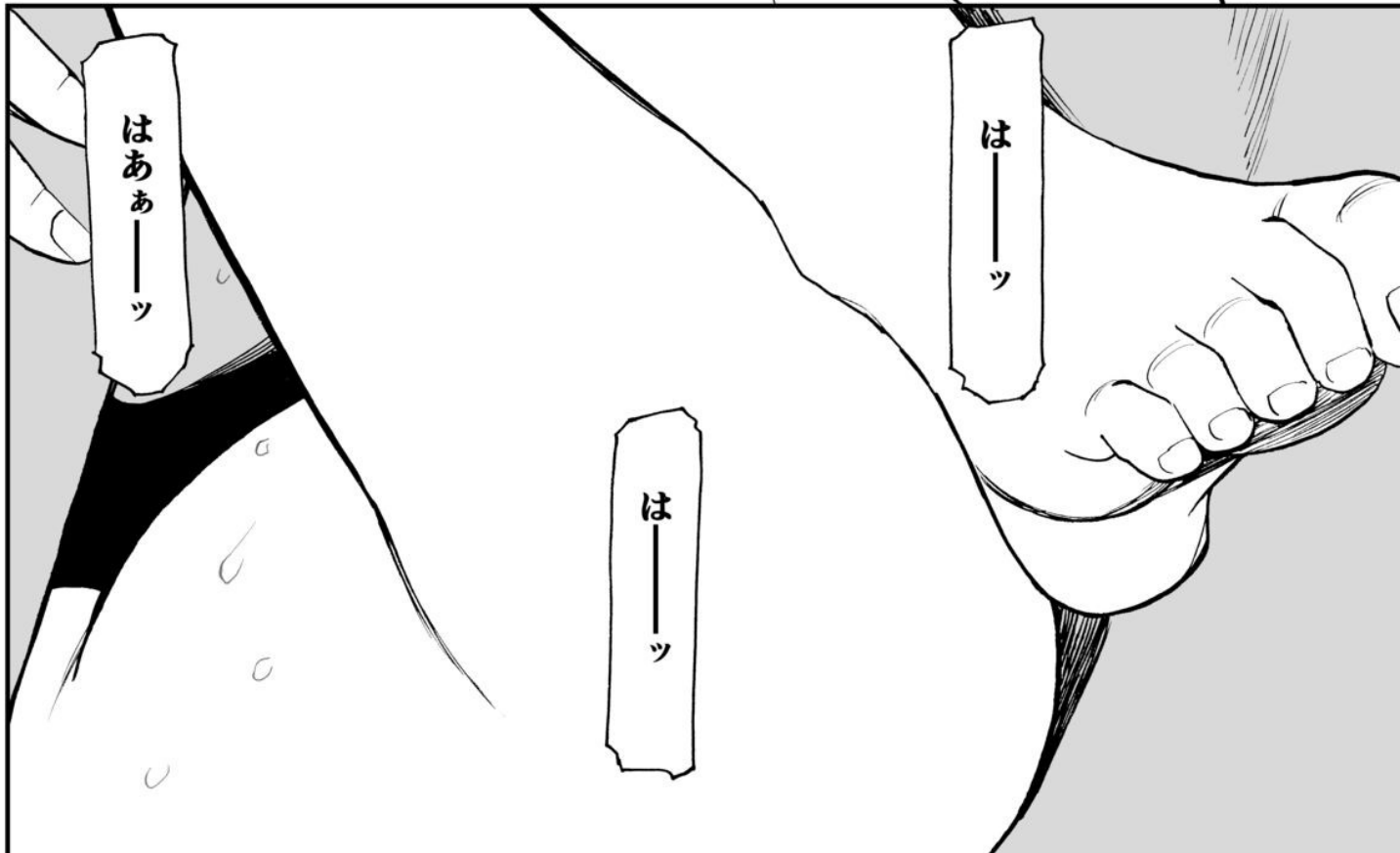
割れ目

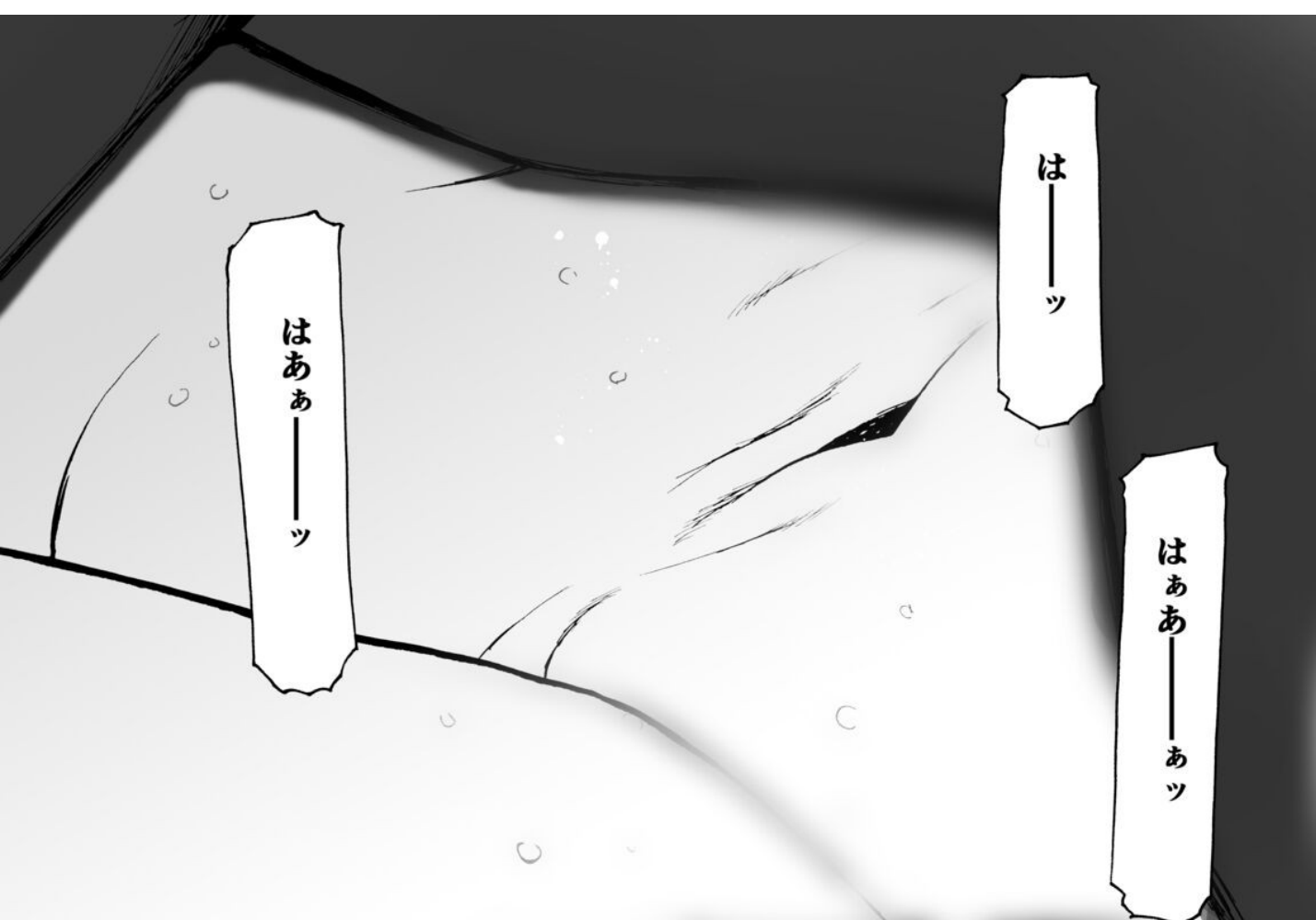


ヌルって…



すごい  
格好に  
させてしまった…





はああ——ッ

は——ッ

はああ——あッ

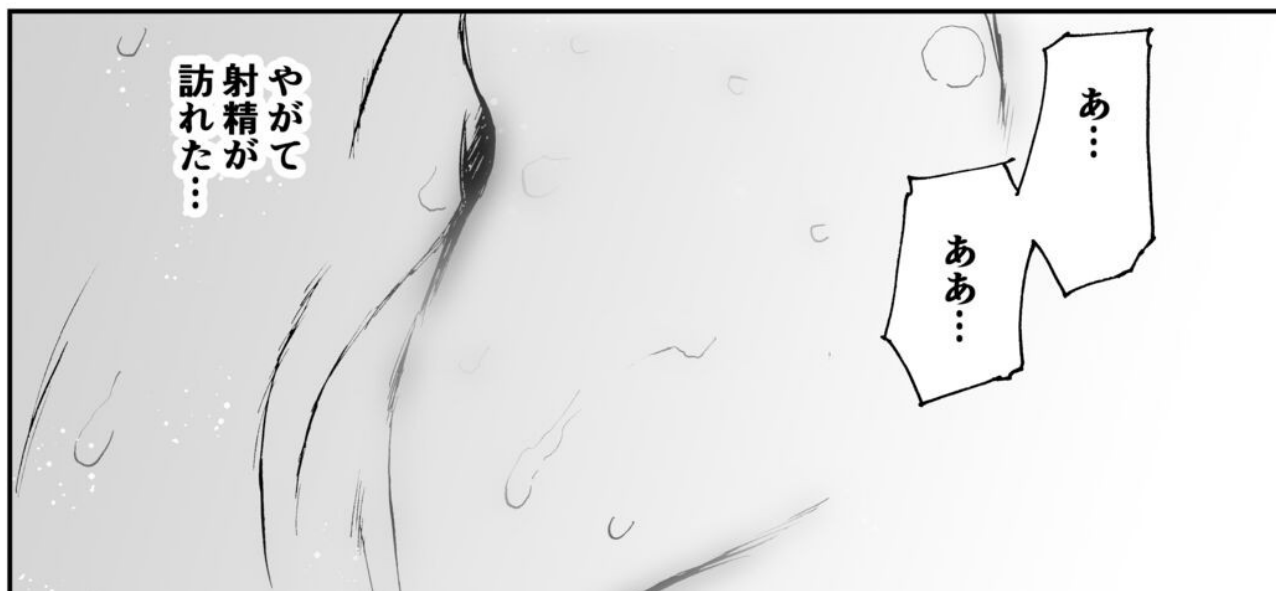


ん……んッ

は……

う……

背中がゾクリとした…



やがて  
射精が  
訪れた…

あ……

ああ……





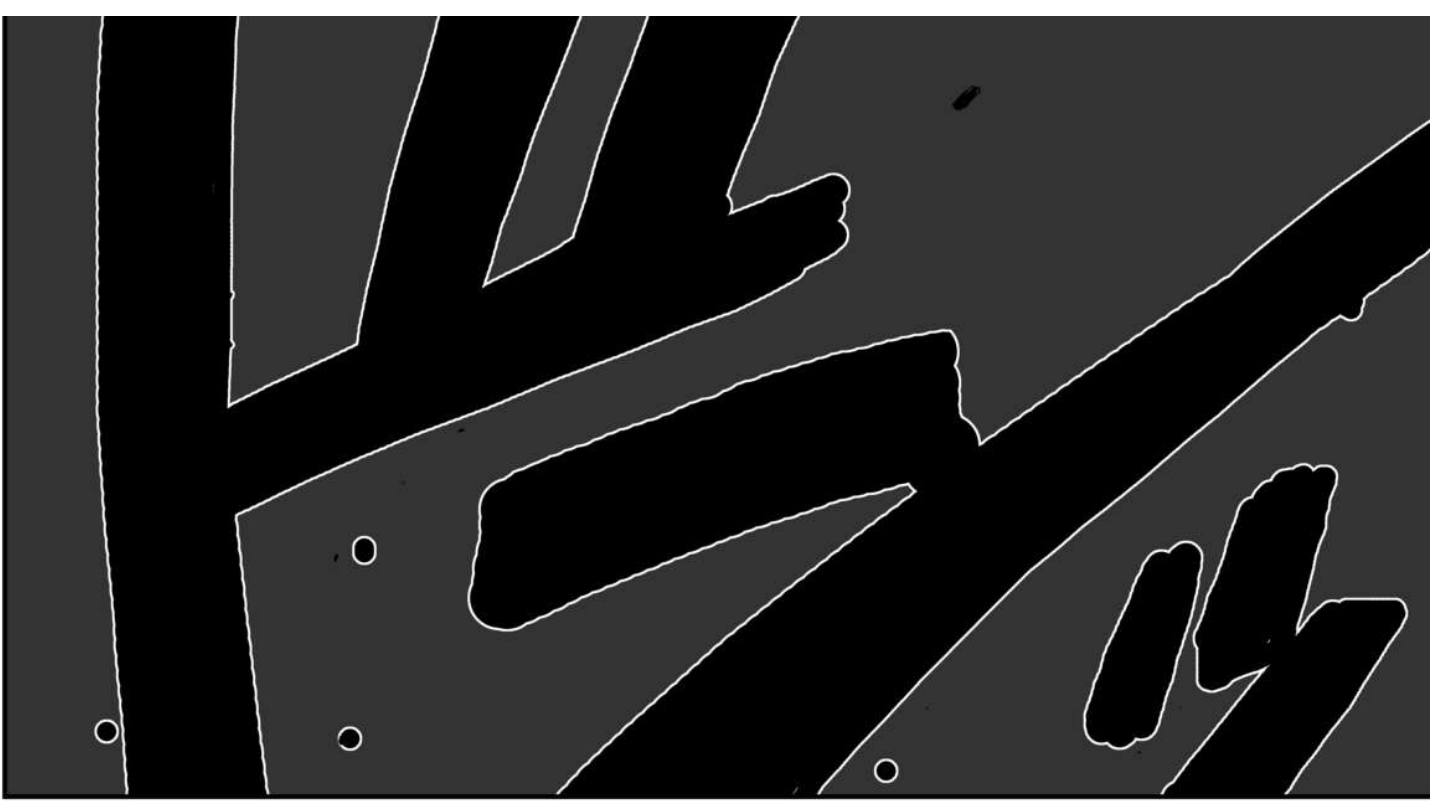
ボクたちセックスをしたんだよね

結ばれたんだよね

ふたりは  
この世界で  
特別な関係に  
なったんだよね

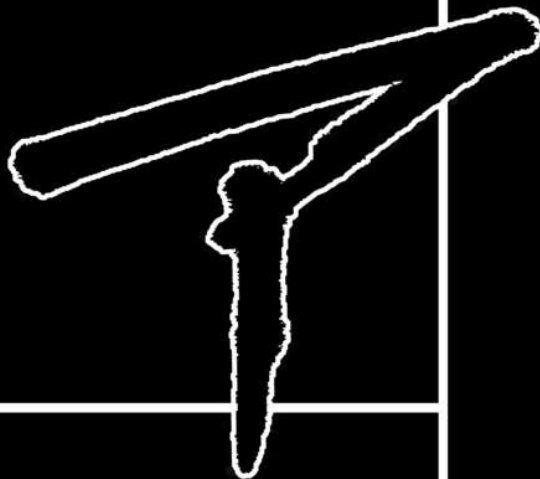
.....  
そうだよ

そうだよ





咲ちゃん!!



どこ?



待機ランプも  
すべて消えた…闇

外の嵐の音が  
迫ってきた





咲ちゃん!!



咲ちゃん!!



咲ちゃん!!



ここに  
いるよ!!



よかった…

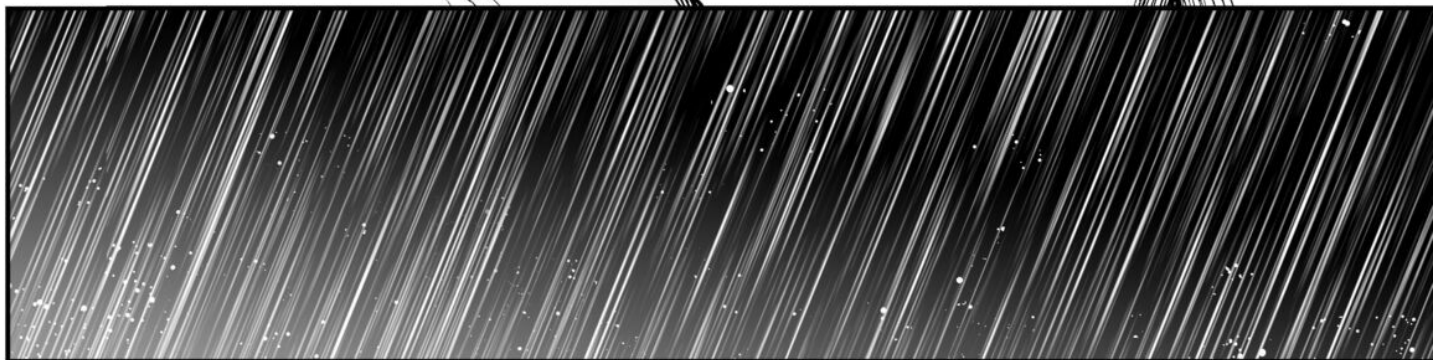
孝也くんだ♡



あったかい…

心臓の音が  
身体に響いてくる…

息がかかる…



大丈夫だ

まちがない!!



愛してるッ!!



おめ  
っ

孝也くん…



好き<sup>しゅ</sup>い♡

あらしのよる

5

センチメートルの

かなた







か…

顔…近いね…



ち  
近づっ…



わずか  
5センチメートルの先に  
かなたの顔があった



いつものように  
バカみたい  
に笑って  
ふざけてた  
だけの  
はずだ  
……



せっかくだから

かなたの息が  
鼻先に  
くすぐったい

何…

何……  
じっと見てるの？

キスでも  
してみる……？



笑うことが  
出来なくなっていた...

そう...  
そう...

.....  
オレたちは

いつもの  
かなた  
らしくないじゃないか

かなたとオレは  
出会った時から  
すごく気が合った



コオラア!!

ボクのパンツ  
見たでしょ

純太郎  
ドスケベ!!

痛ッ!!



見てねーよ!!

かなたの  
パンツなんて  
見ても  
しょーがねーだろ!!

一緒にいるだけで  
楽しくて

同性の友だち  
以上に  
何でも話せて

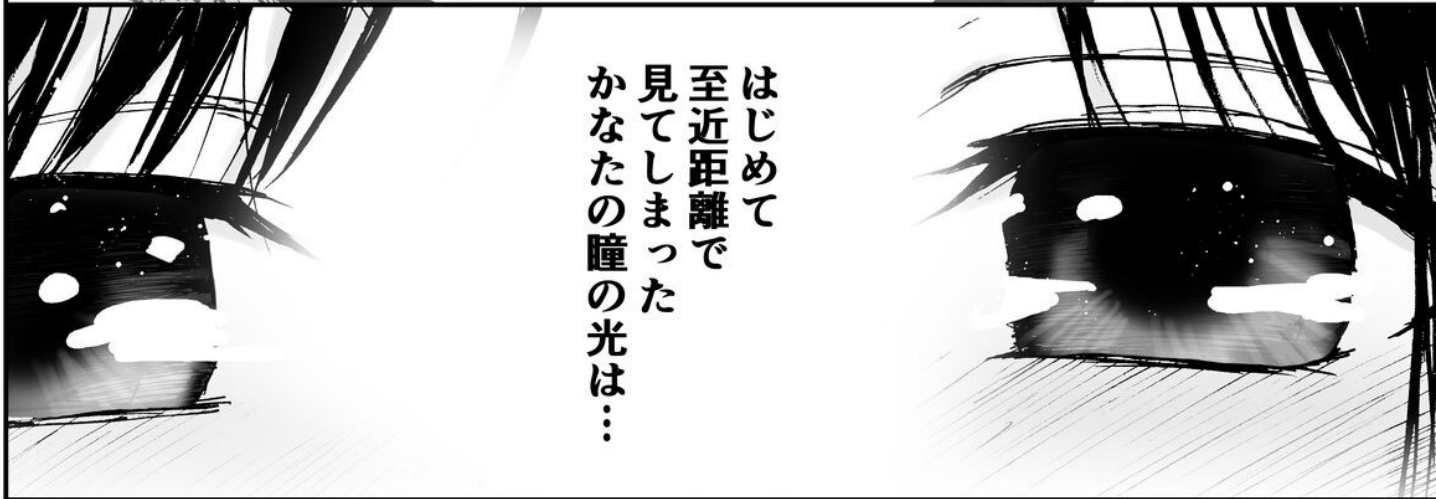
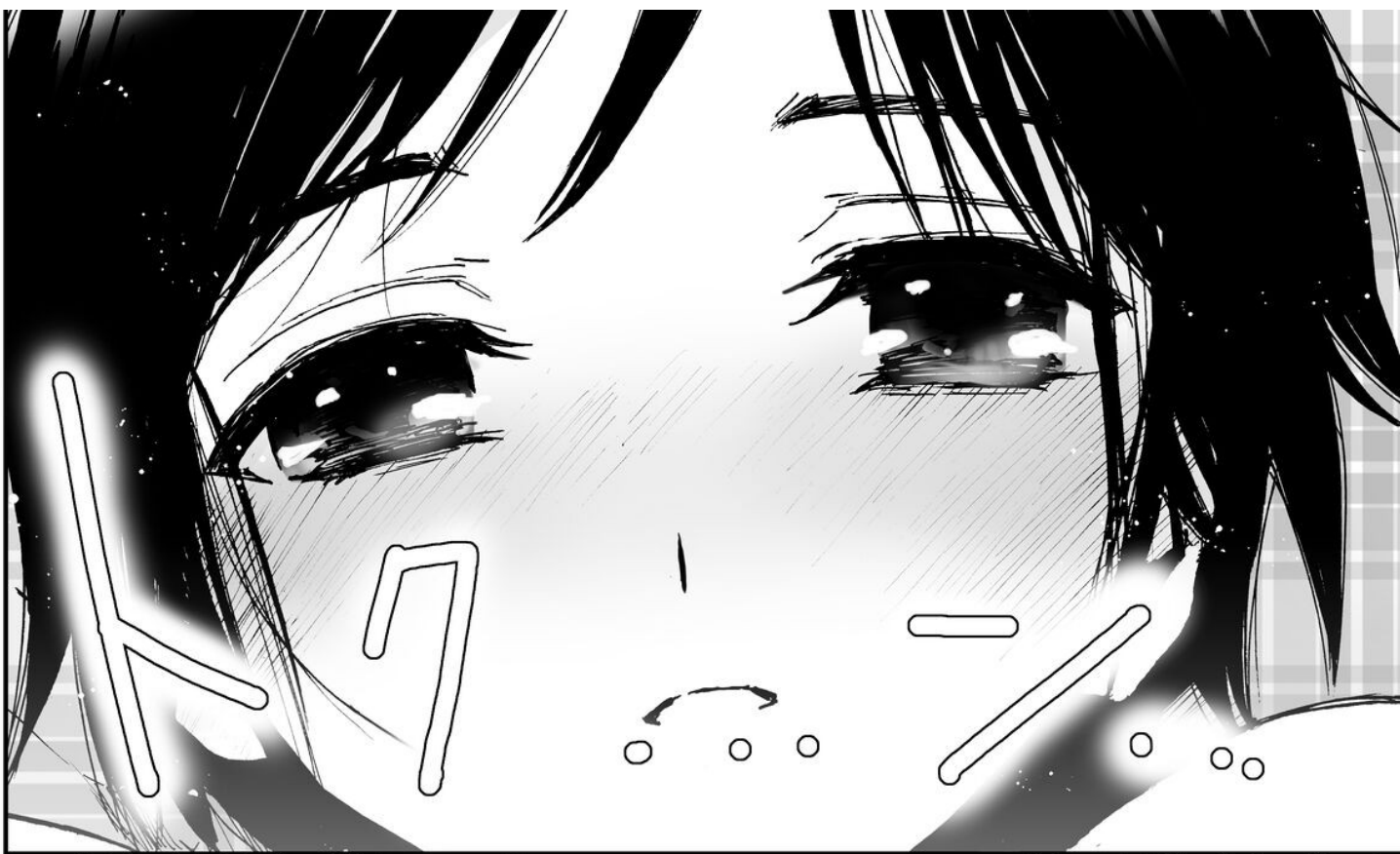
いつも  
笑ってばかり  
いた



なんだとぅー!!

かなたとオレは  
すごく仲いい友だち  
そのはず

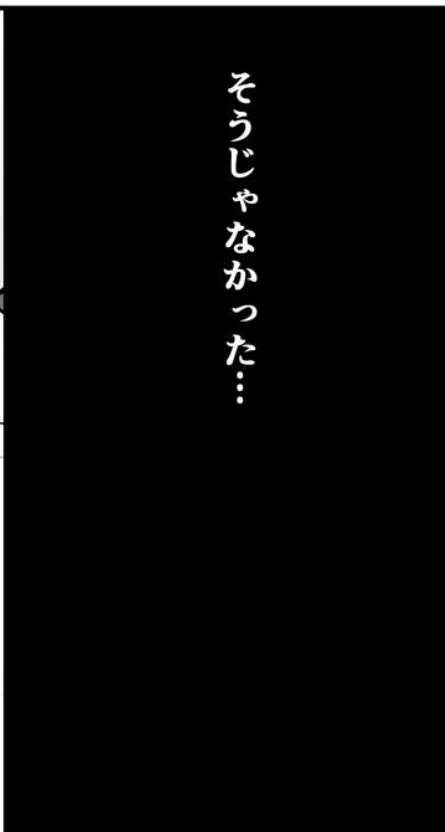
……だけど



はじめて  
至近距離で  
見てしまった  
かなたの瞳の光は…



ねえ…  
純太郎…

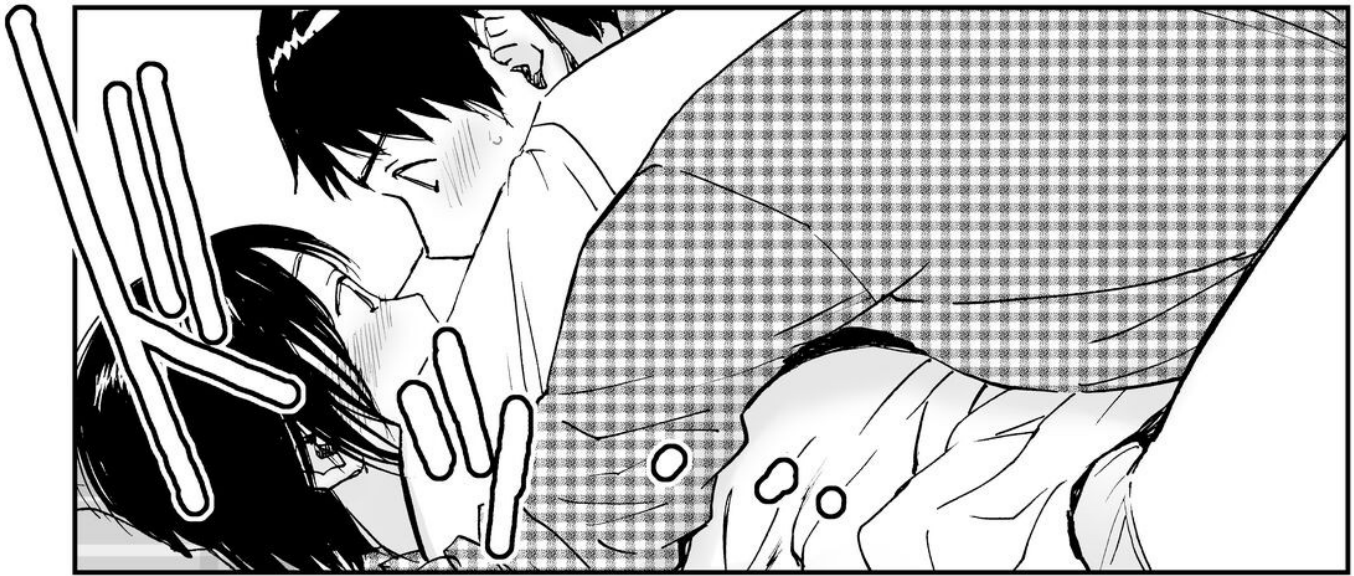


そうじゃなかった…



……  
きれいだね  
……!!

すごく……  
瞳<sup>め</sup>



……  
あれ?

……あれ?



服を通しても  
かなたの身体の  
熱さを感じる  
鼓動を感じる

ふるえているのを感じる……

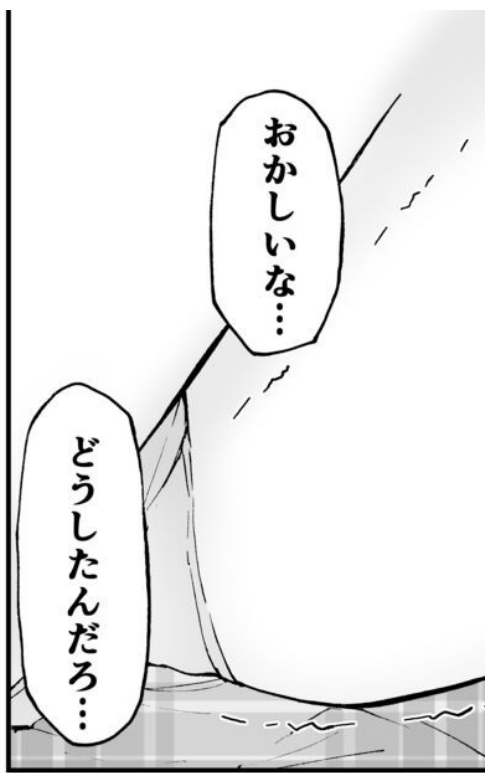
そろそろ

やばいよね



手が

手…



おかしいな…

どうしたんだろ…



離れない…

フキ

フキ



かなた…

オレたちは  
最初から

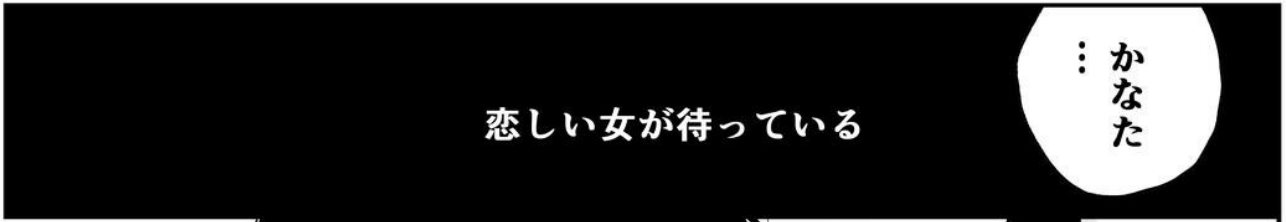
「友だち」じゃ  
なかったんだ



……

ボク……

どうしよう……

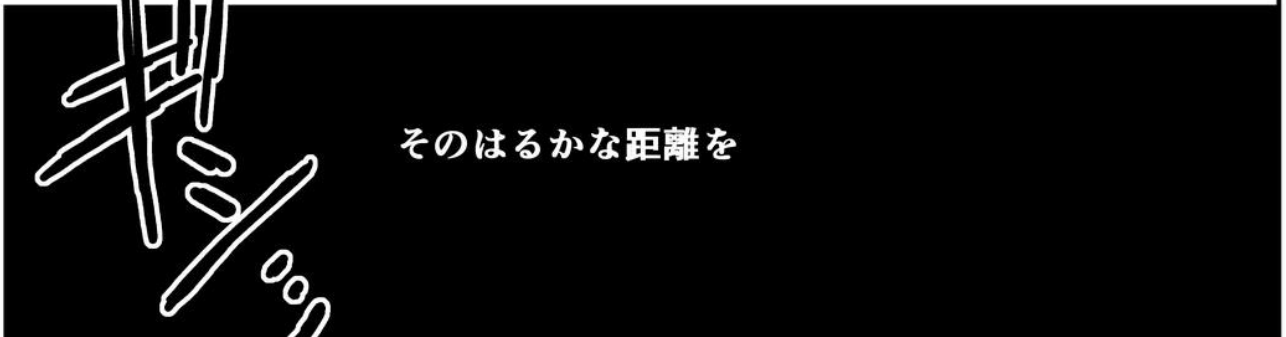


恋しい女が待っている

……  
かなた



残り5センチメートル

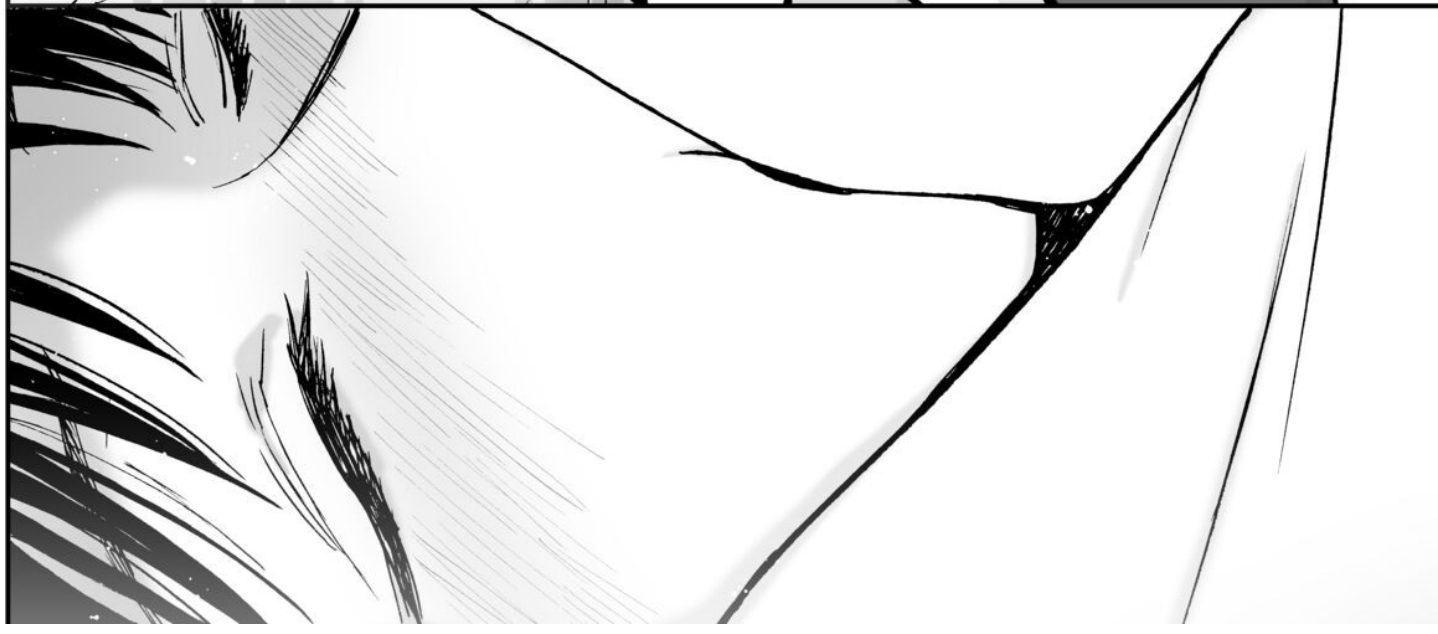


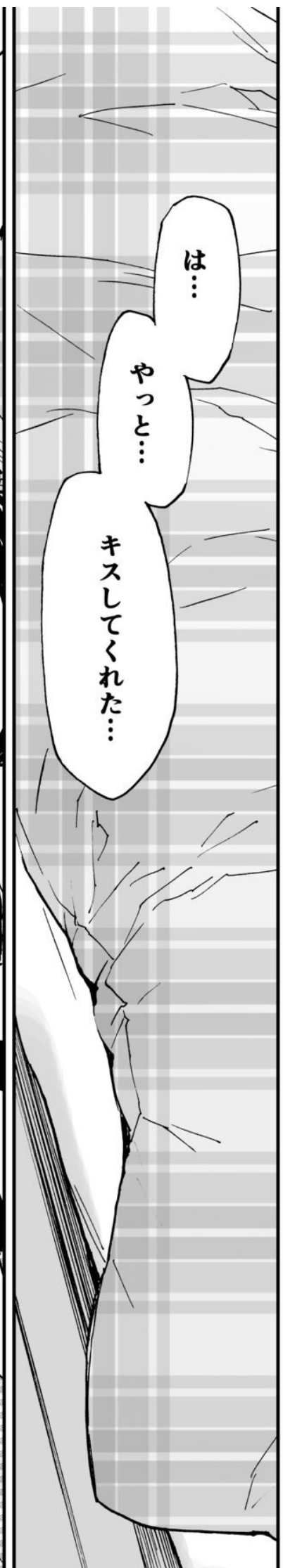
あま

そのはるかな距離を



超えた……





か  
かなた…

緊張してる？  
純太郎…

う、うん  
まあな…

肌  
すべすべ  
なんだ…

ふっ  
くすぐった…

あんま  
じっと見ないでよ

たいした胸じゃ  
ないんだから…



フンだ!!

すごい  
きれい

何よ  
巨乳好きだって  
言ってたじゃん!!

ククク...



まっ白...

バカ...

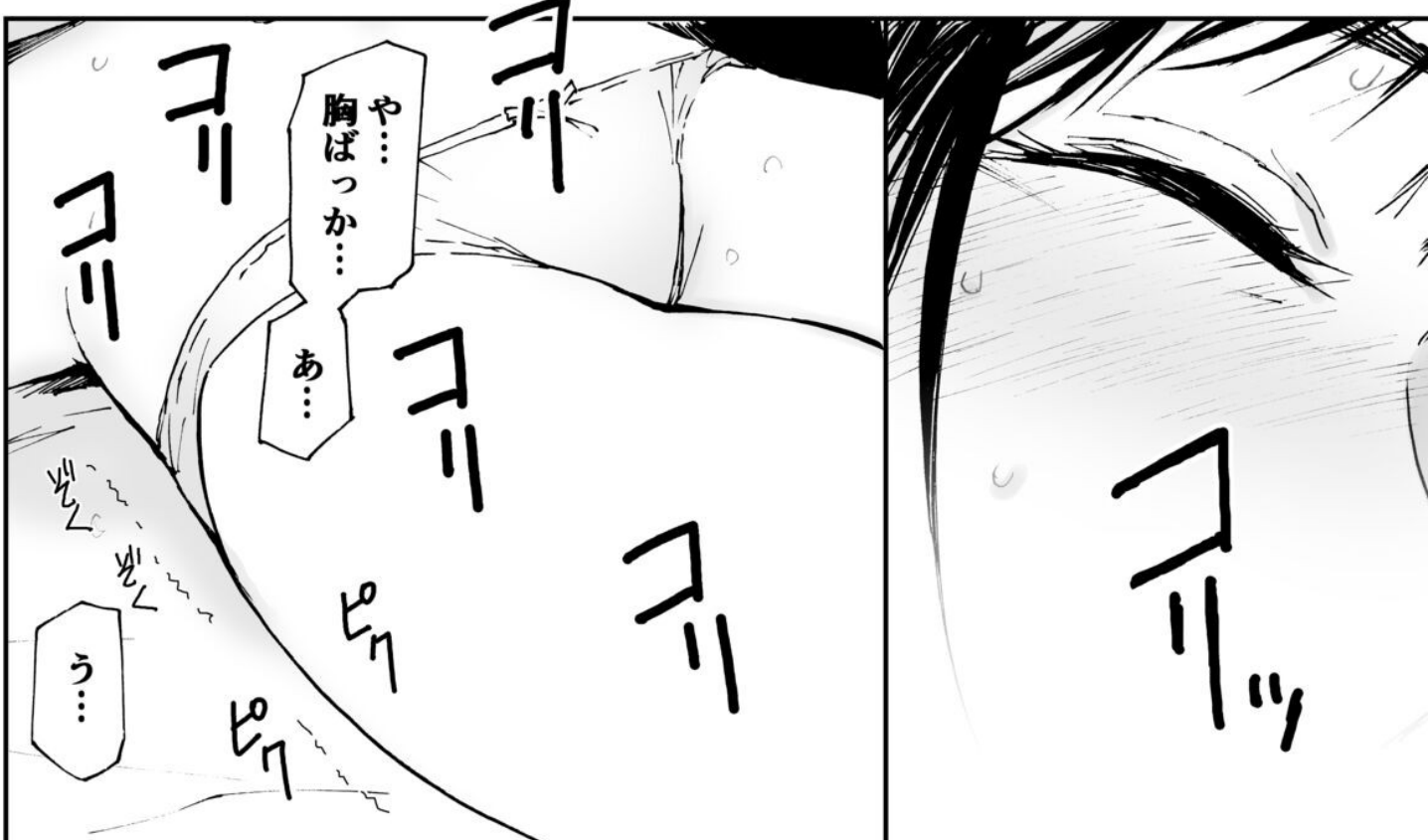
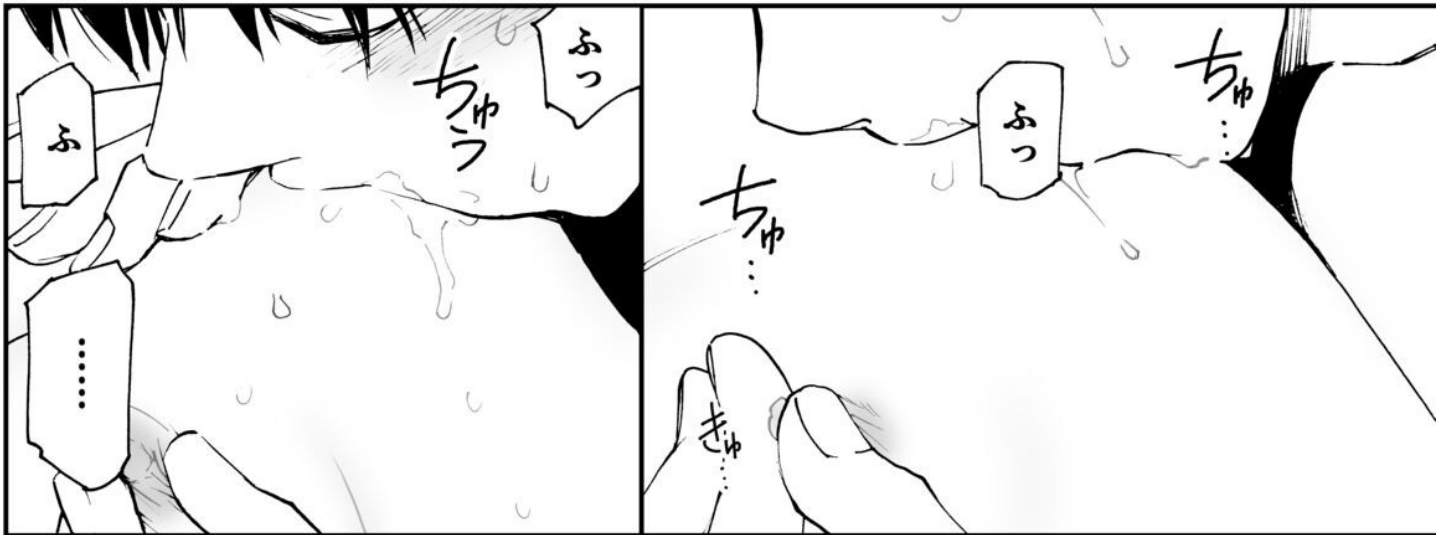
たった今  
転んだ!!

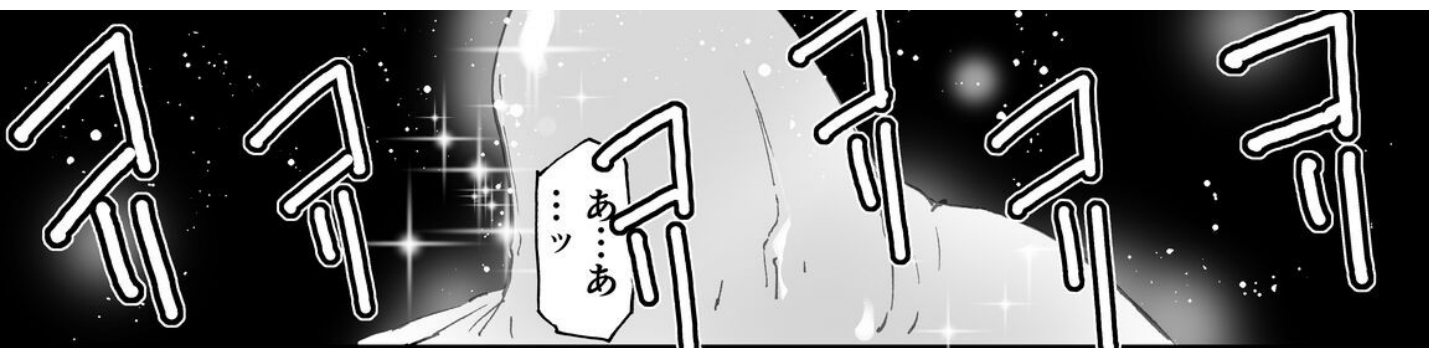
やわらかい...

.....

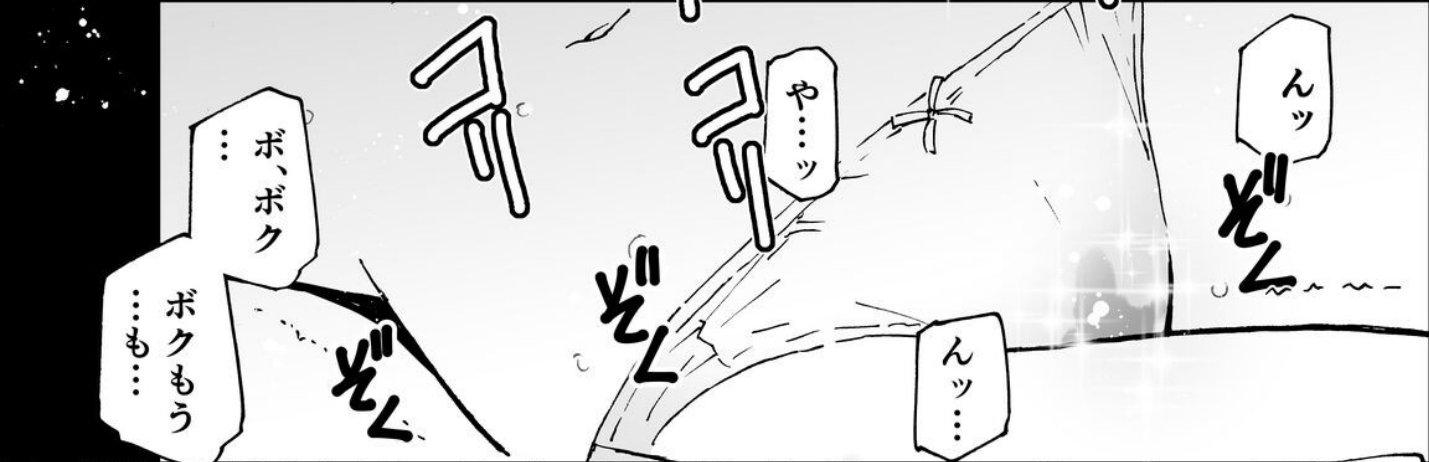
クク...

本気!!





あ...あ  
...ツ



ボ、ボク  
...

ボクもう  
...も...

や...ッ

んッ

んッ...



あ  
あ

あ  
あ

ちゅ  
ら  
ら  
ら



あ…

すごい  
濡れてる…



かなた…

はむ

わは…

はしたない  
格好…

と…



ぐしょぐしょだ…!!



最高です♡

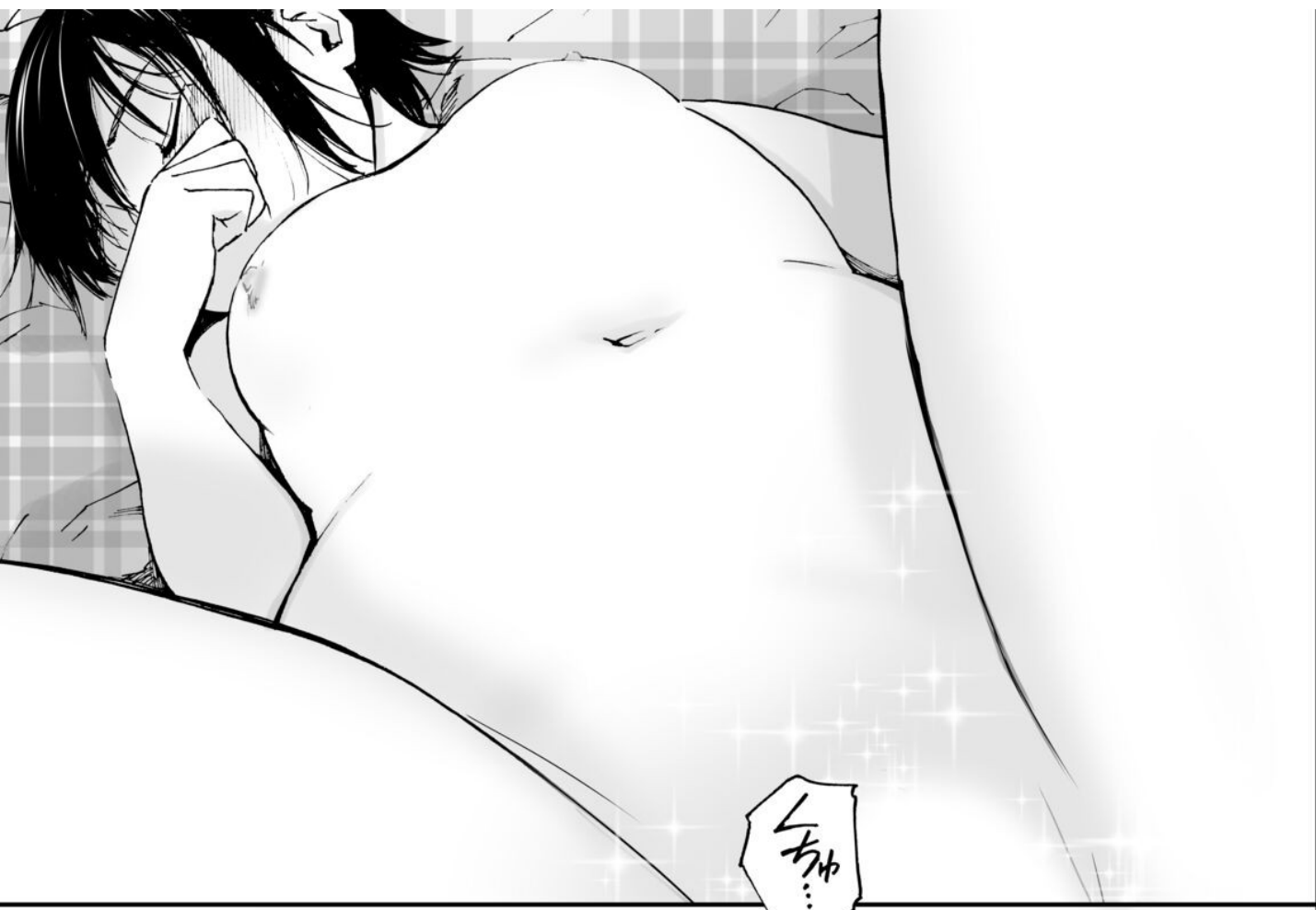
えへへ



エッチなの  
ダメかな？

はあ…

はあ…



くちゅ...

ピンク色ッ...!!



びいんって  
たってる...



かなた...!!

すう...



はッ...

あ

はッ...

いあッ...

はッ

あくあ...!!

距離ゼロ





かなた

かなた

ん...

ん...



かな...

んッ

んッ

か...

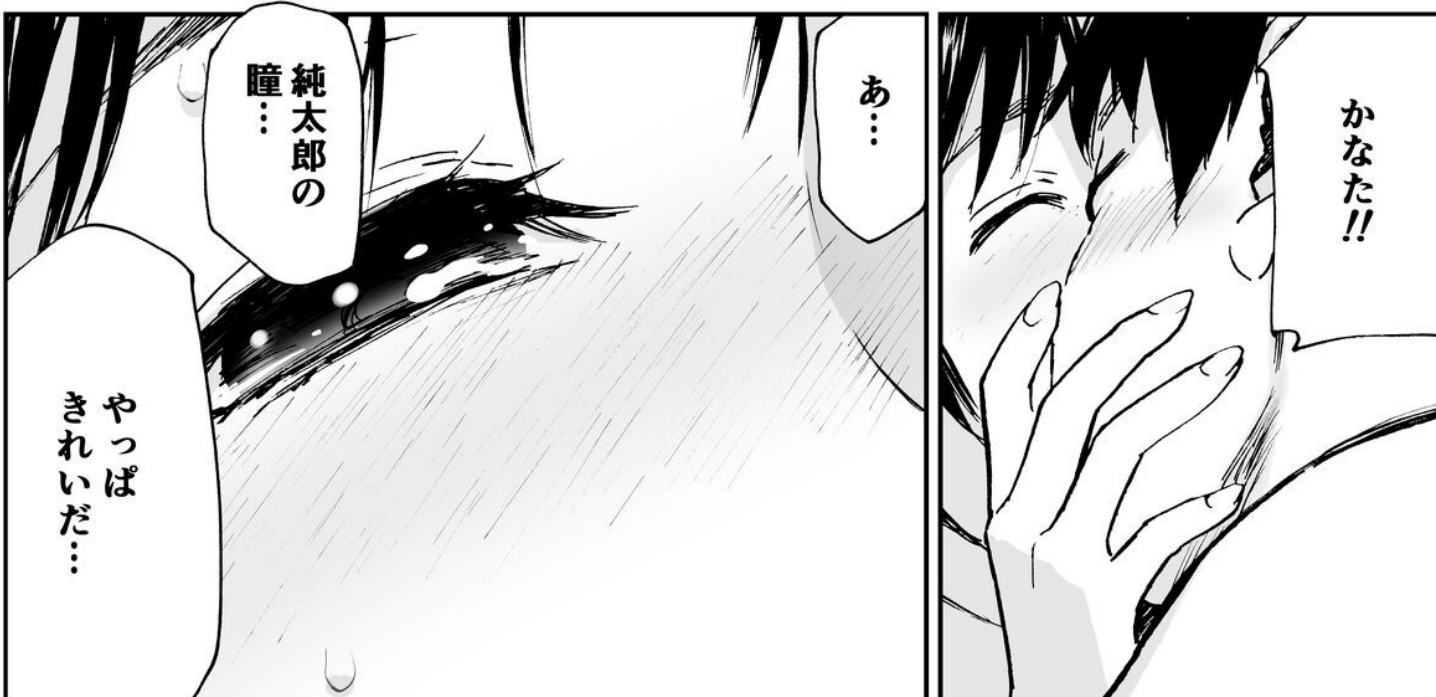


かわいいッ!!

あはあうっ——

んッ

んッ



あ

んあ…  
あ

ヒクッ  
ヒクッ  
ヒクッ

んああ

あ

ああ  
ああ

大好きッ!!

はあああああ♡

ん

大好きいッ!!

ん♡

ん♡

ん♡



11/2/19



んっ♡  
んっ♡  
んっ♡

おっぱい  
おっぱい

ヒッ

ヒッ

ヒッ



はあッ

ずっと...

はあッ

ずっと...

好きだったんだ...!!





うん  
しちゃった

ア  
ア

ア

.....



しちゃったね

あたしたち...



あーあ

シヤアア



あたしたち  
もう  
「友だち」じゃ  
ないんだね...



そして  
眼の前に...

恋人の笑顔が  
あった

バーカ♡



そうだね...

そう言うと  
ちよっと  
さびしいな...

裸のあなたを  
もう一度  
ぎゅっと抱きしめた...

5

センチメートルの

かなた



いじわるな  
キスを  
させてね





え？

じゃ  
脱ぎなさい！！

何…何言ってるんだ？

一日中  
我がまま無理難題で  
振り回した挙句

真由香が  
唐突に  
言い放った

裸になって



約束でしょ

今日は  
何でも  
私の言うことを  
聞いてくれるでしょ

私を  
慰めるために



ね

早く!!



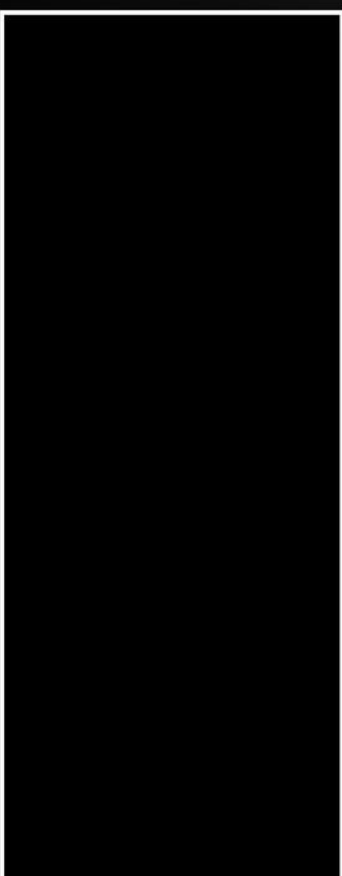
バカじゃ  
ないのか?

何よ!!

えーと  
なんでこんなことにな  
ってしまったん  
だろう……



ボクは失恋  
したんだ……



たしか  
本当は慰められなきや  
ならないのは  
ボクの方だったんじゃないか

失恋……



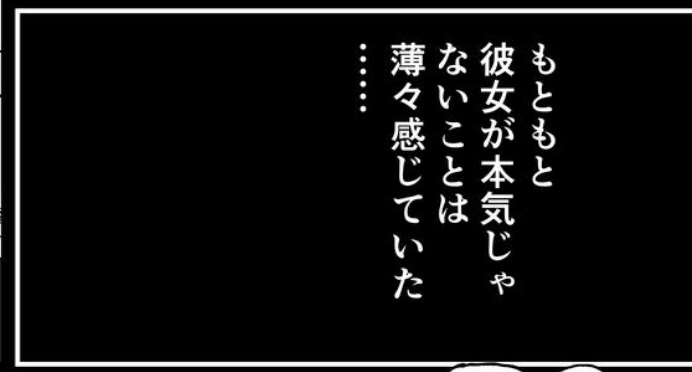
気まぐれに  
与えられた  
はじめての女の  
唇と肌の甘い味……

それを  
一方的に突然  
断たれた……

胸が空っぽに  
なった気がした  
……



もともと  
彼女が本気じゃ  
ないことは  
薄々感じていた  
……



よっ  
慰めが  
要る？

フラれたん  
だって？

ガサツなのが  
来た……

ホラホラ  
いい加減  
元気出なさいよ

しょーがないよ  
無理っぽかったしね  
あの娘には他に  
本命がいるのは  
見え見えだったしね





ふざげんなあッ!!

ふざげんな!!



オイ  
何だ?

どうした?

はッ

ちよッ



え?  
真由香!!

.....

信じられないことが  
起った...

ホロ

ホロ

ホロ



バカ...



舜のくせに  
私を泣かせるなんて!!

ひどいわよ!!

わかってんの?

何であの時  
急に泣いたり  
したんだよ?  
真由香には  
関係ないこと  
だろ

.....

知りたきゃ...

言う通りに  
脱ぎなさい

よーし!!

.....

こうなりゃ

ヤケだ!!



フーフィン



どどーだ

ばーん!!



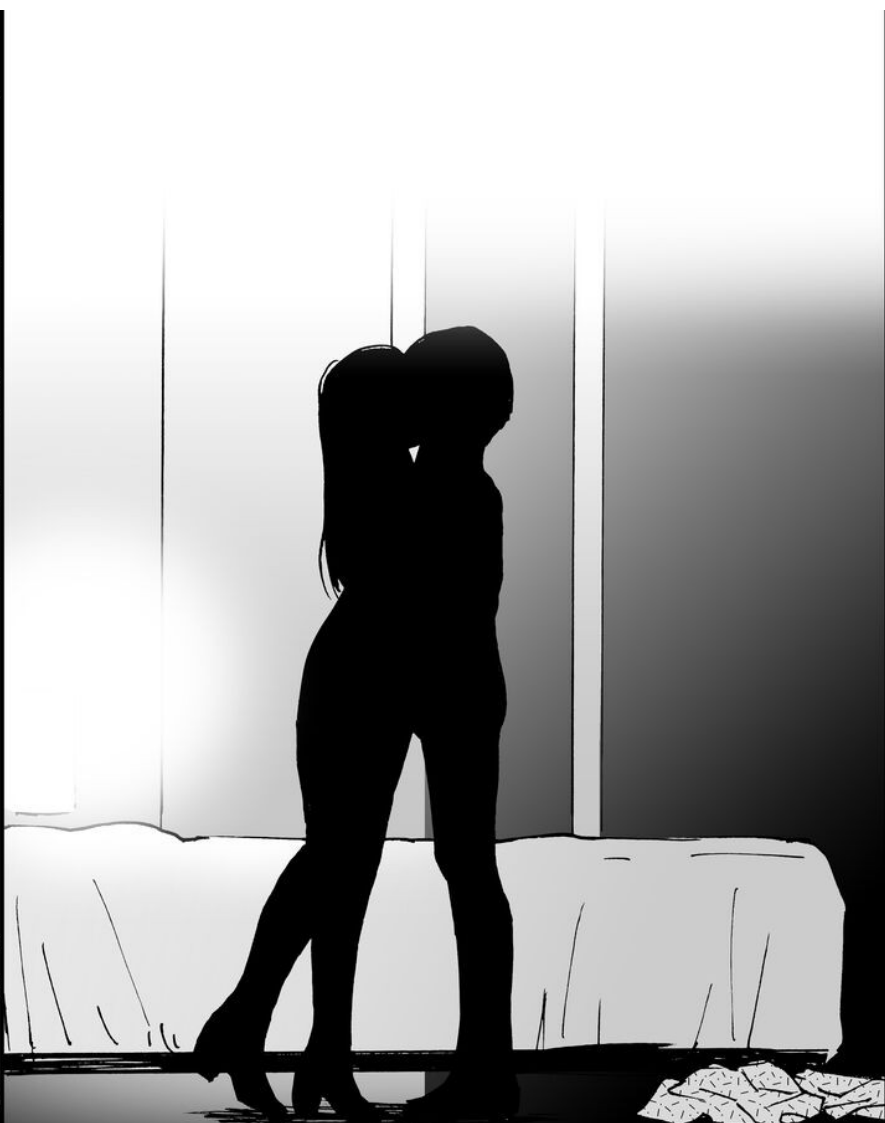
シヤレに  
ならないぞ!!

オ、オイ  
待てっ!!



あんたを  
殺す!!

もういっぺん  
拒否したら





フラれたんでしょ

苦しいんでしょ

だから  
ちよつと

私が慰めて  
あげようかかって



何…  
考えてんだ…？

真由香…!!



フンだ…

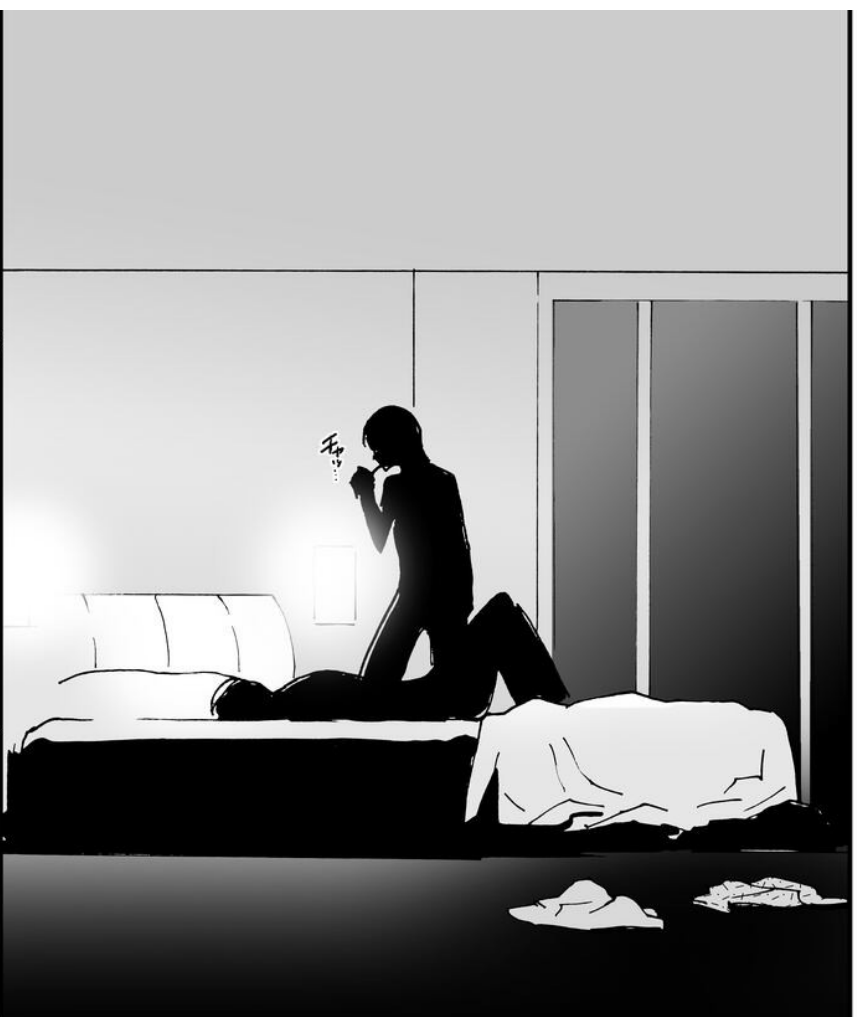
勃ってるくせに…

ホントに…

殺しちゃいそう



バ、バカか!!





真由香…



ん…

は…



真由香の腕…

あったかい…

は…

は……



ん……



ん……

は……

ふたり目に知った  
女の乳房



ふ……

ものめずらしさ  
じゃなく……

ただただ

やさしい!!



ねえ……



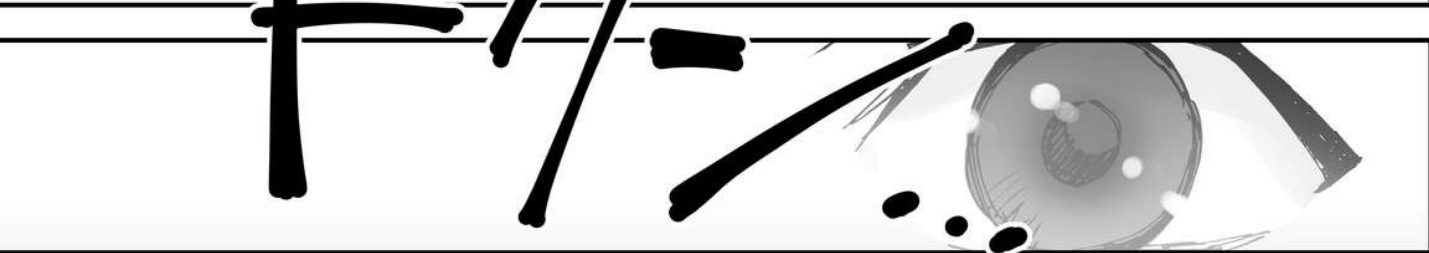


とろとろ

私じゃ  
なかったの？



私のキスじゃ  
だめなの？



トク

恋に

落とされた



ボクは  
きっとはじめて

あこがれや  
興味本位じゃない  
キスをした

自分から  
した

相手の想いに

応えるキス





ありがとう



ありがとう



あ...



バカ...

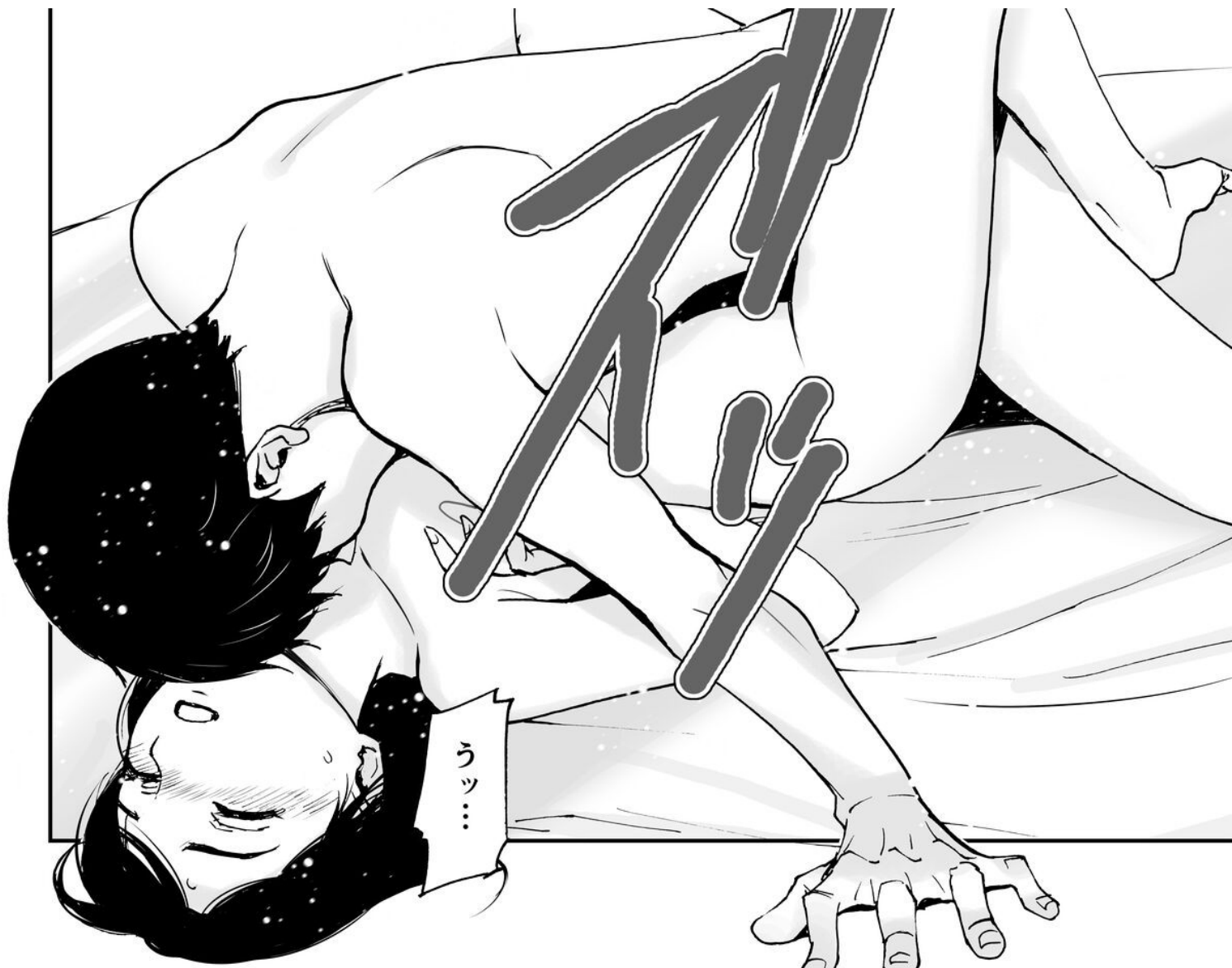


あ...

あ...  
あ...  
あ...



すごい...  
濡れてる...



うっ…

真由香をまた泣かせてしまった



いう…ッ!!

んっ…!!



よかった……



は……



はあ……ッ

は……

ヒクッ

は……

ヒクッ

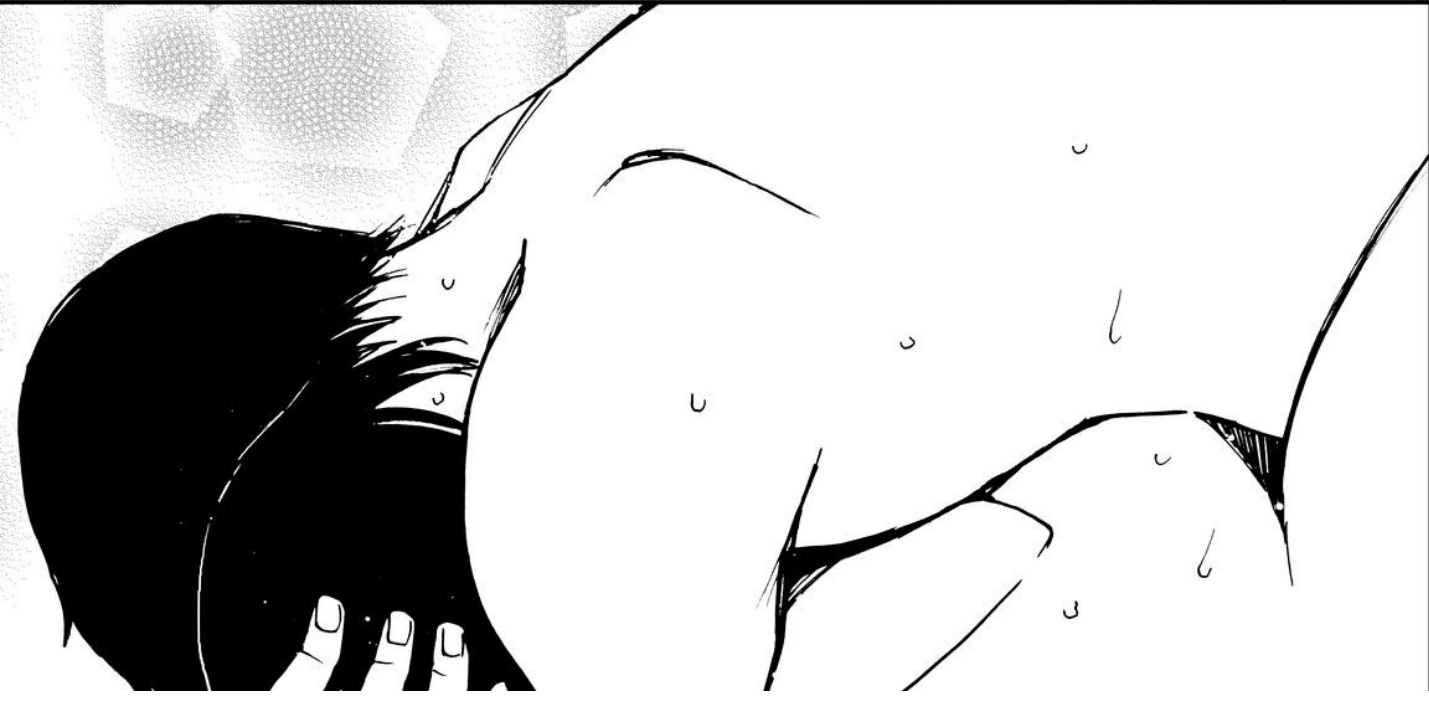
じん

じん



私の  
はじめてを…

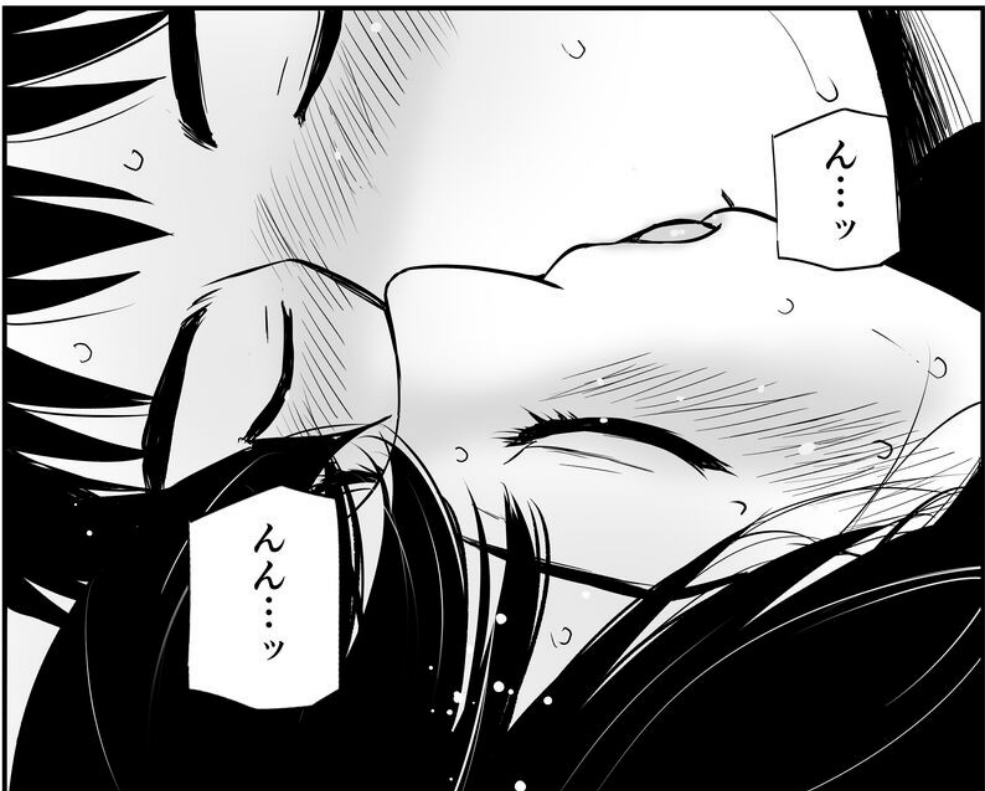
あなたに  
あげられた…





真由...

...香...!!



ん...ッ

んん...ッ



舜...ッ



はッ

はあッ

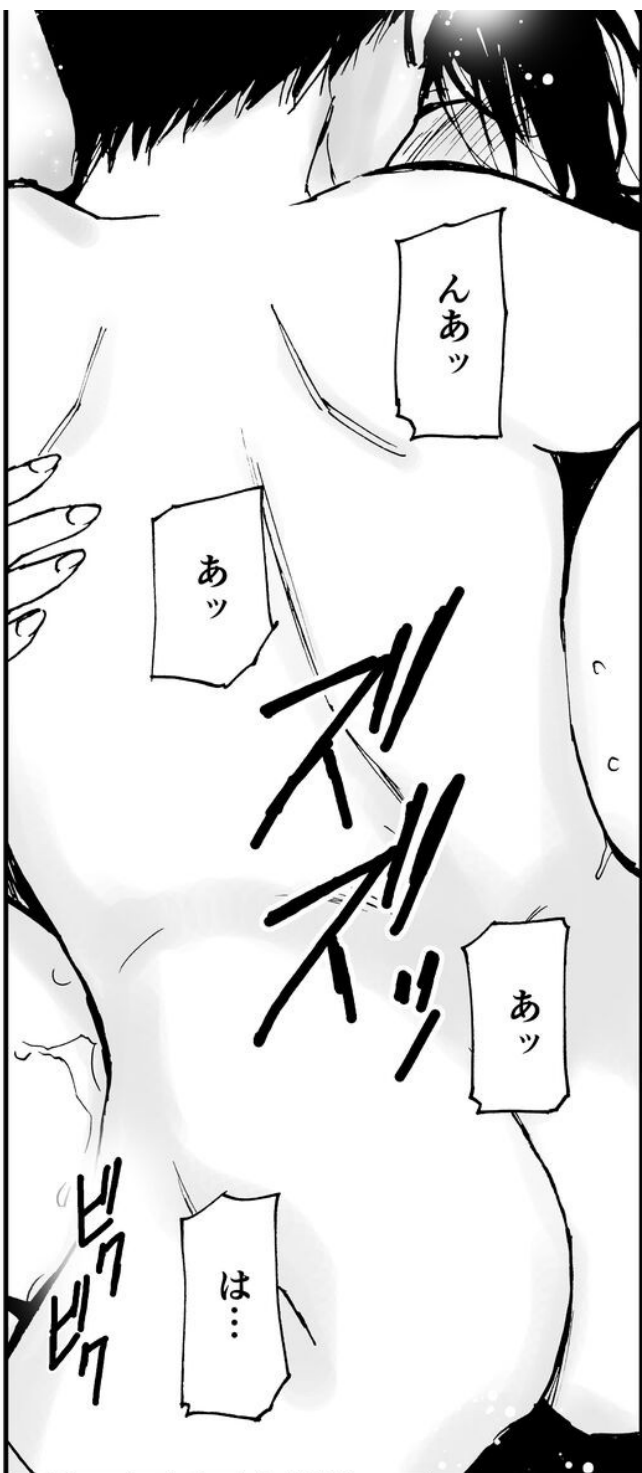
はッ

あ…

はああッ

ああ…

好き…ッ…!!





あああああ  
あああああッ!!



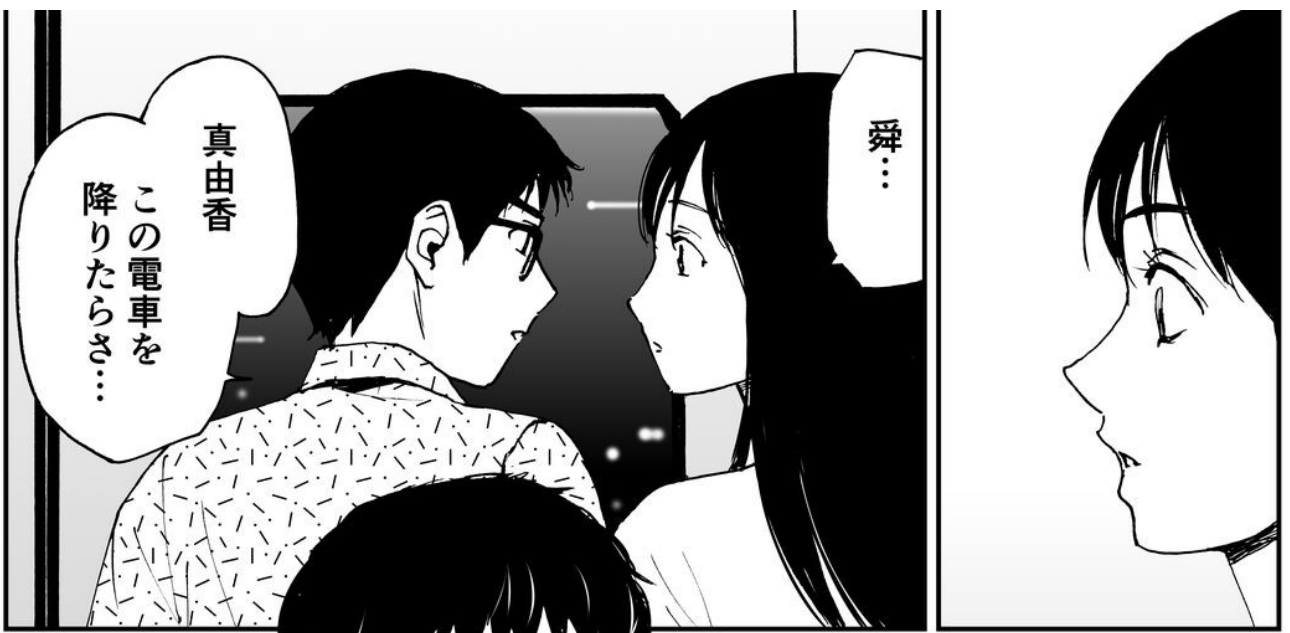


はっ...  
はっ...  
はっ...

はっ...  
はっ...  
はっ...

はっ...  
はっ...  
はっ...





真由香  
この電車を  
降りたらさ…

舜…



していいか？

キス…



しよ

キス  
しよ♡



ボクの手も…  
真由香の手も  
まだ少し…

ふるえていた

いじわるな  
キスを  
させてね

# 八月の無邪気





ボクとナコは  
幼なじみ

いくつもの  
一緒の夏を  
すごして  
……

…大人になった

ホーラ

さっさと  
脱いじゃいなさいよ!!

ハッ  
ハッ

ホラ  
ジロちゃん!!



何  
恥ずかしがってんの!!

おフロにだって  
いっしょに  
入ってたじゃない!!

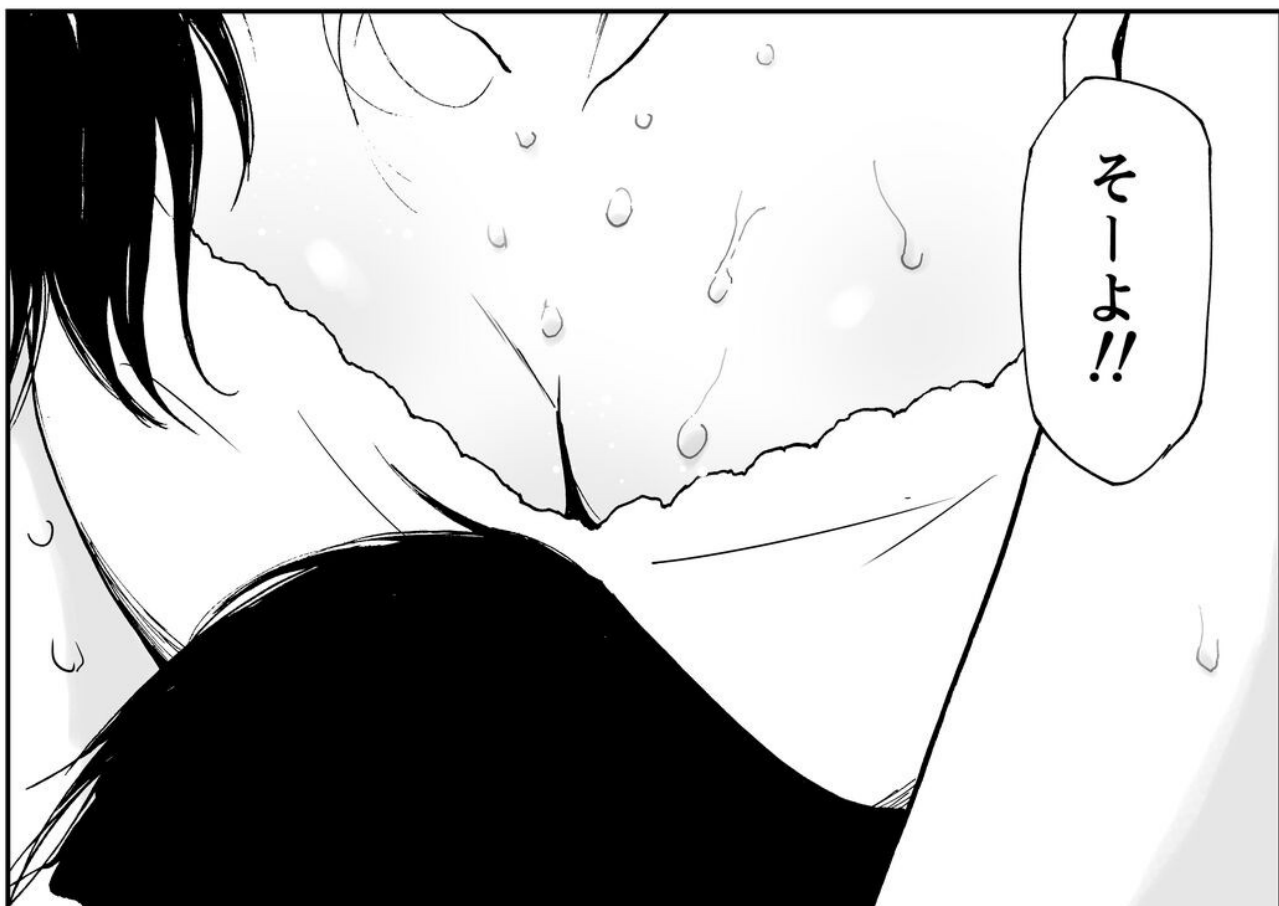


コラ  
やめろよ!!

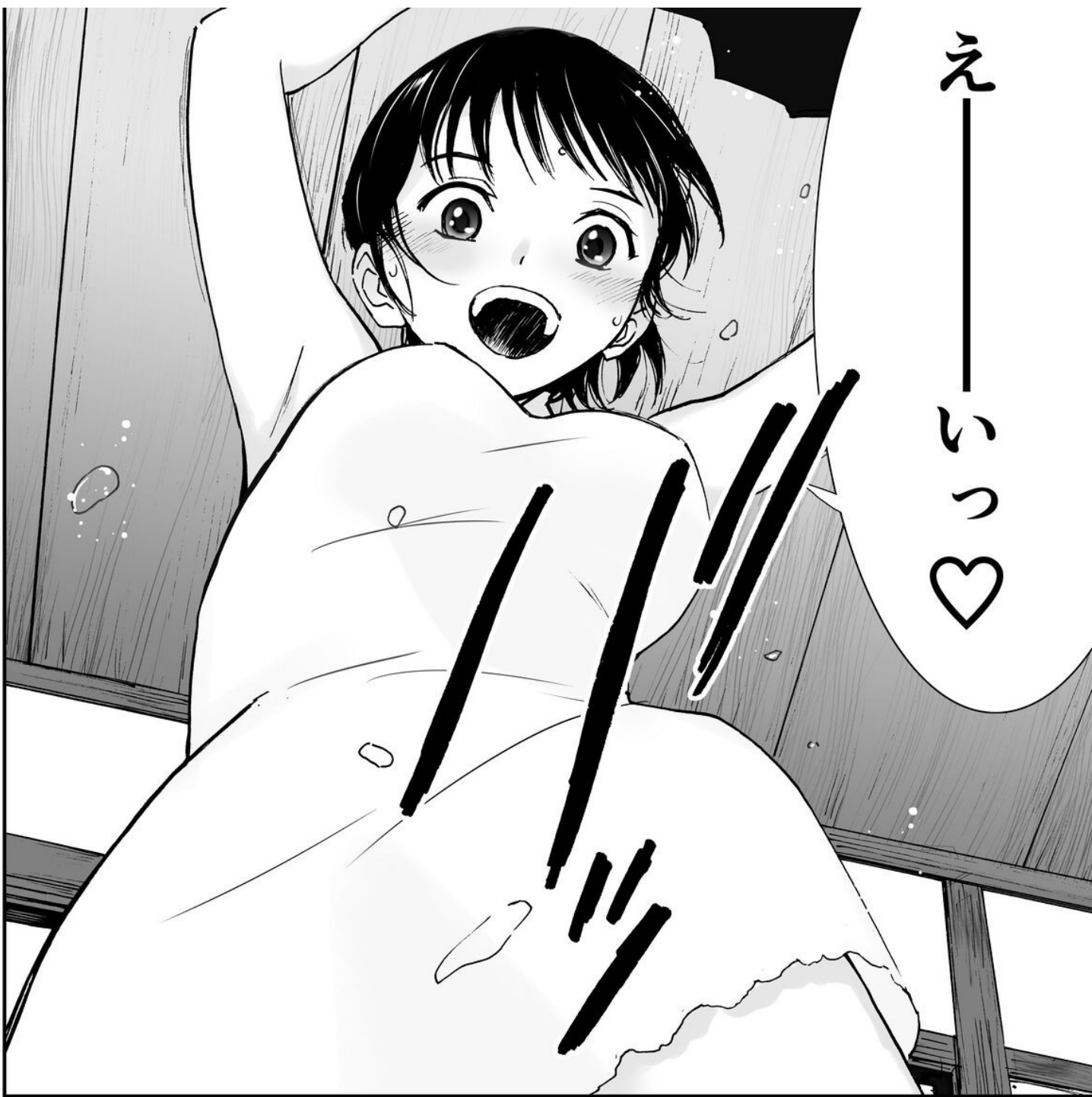
もー  
シャツ  
汗でべしよべしよ  
じゃない!!

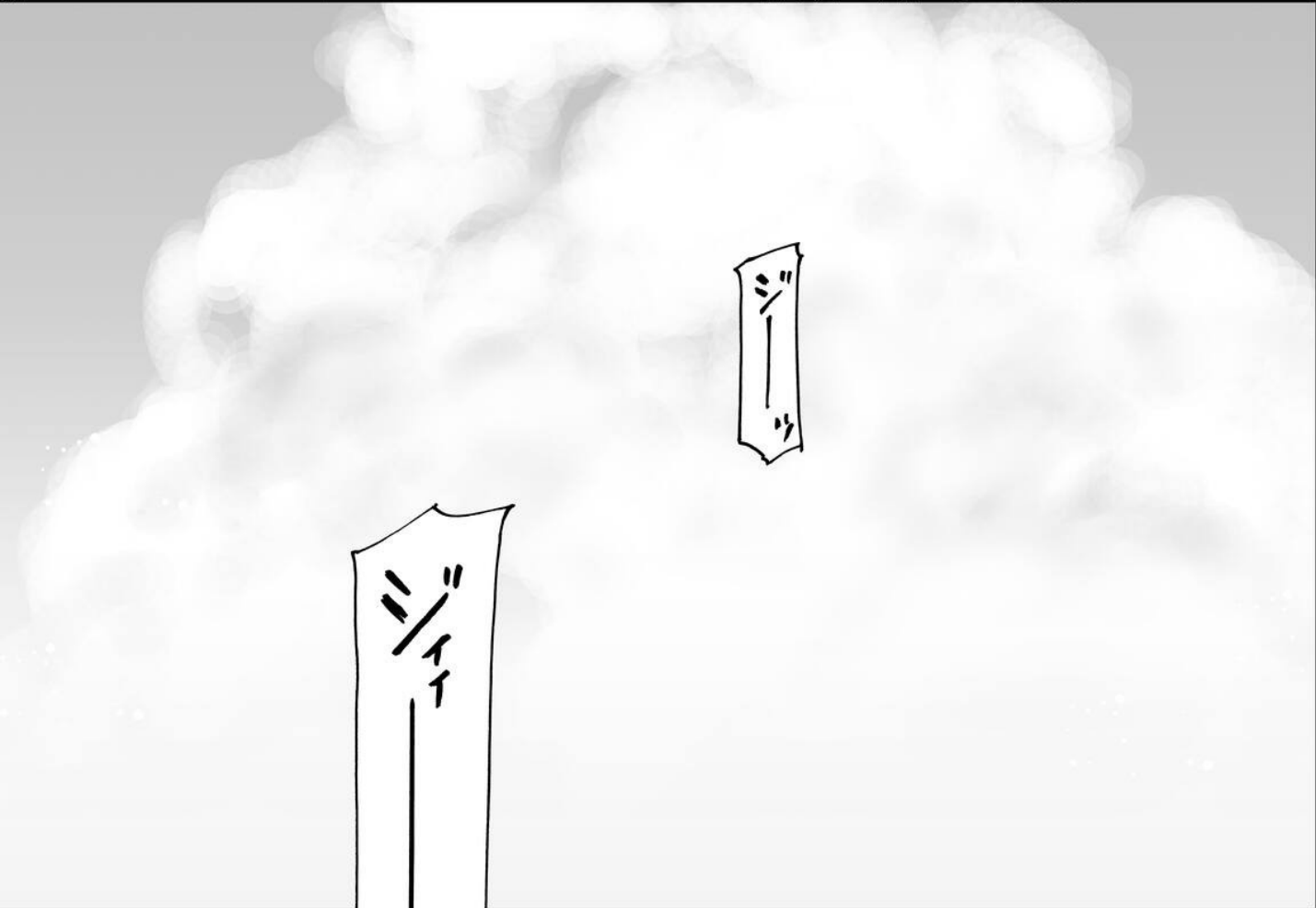


うんと  
子どものころの  
話だろ!!



そーよ!!







……  
ナコ  
大丈夫か？

うん  
大丈夫  
大丈夫……  
ナイスキャッチ



なんで  
そーなるんだよ？  
こんなマヌケな  
格好になってるのに  
……

え……  
だってさ……



ジロちゃんは  
やっぱりわたしの  
騎士だね……  
子どものころから  
ずっと……



あ…



暑い…ね…

ジロちゃん  
また  
汗…



くすぐったい  
よ…

おもしろ…

いーじゃない  
…

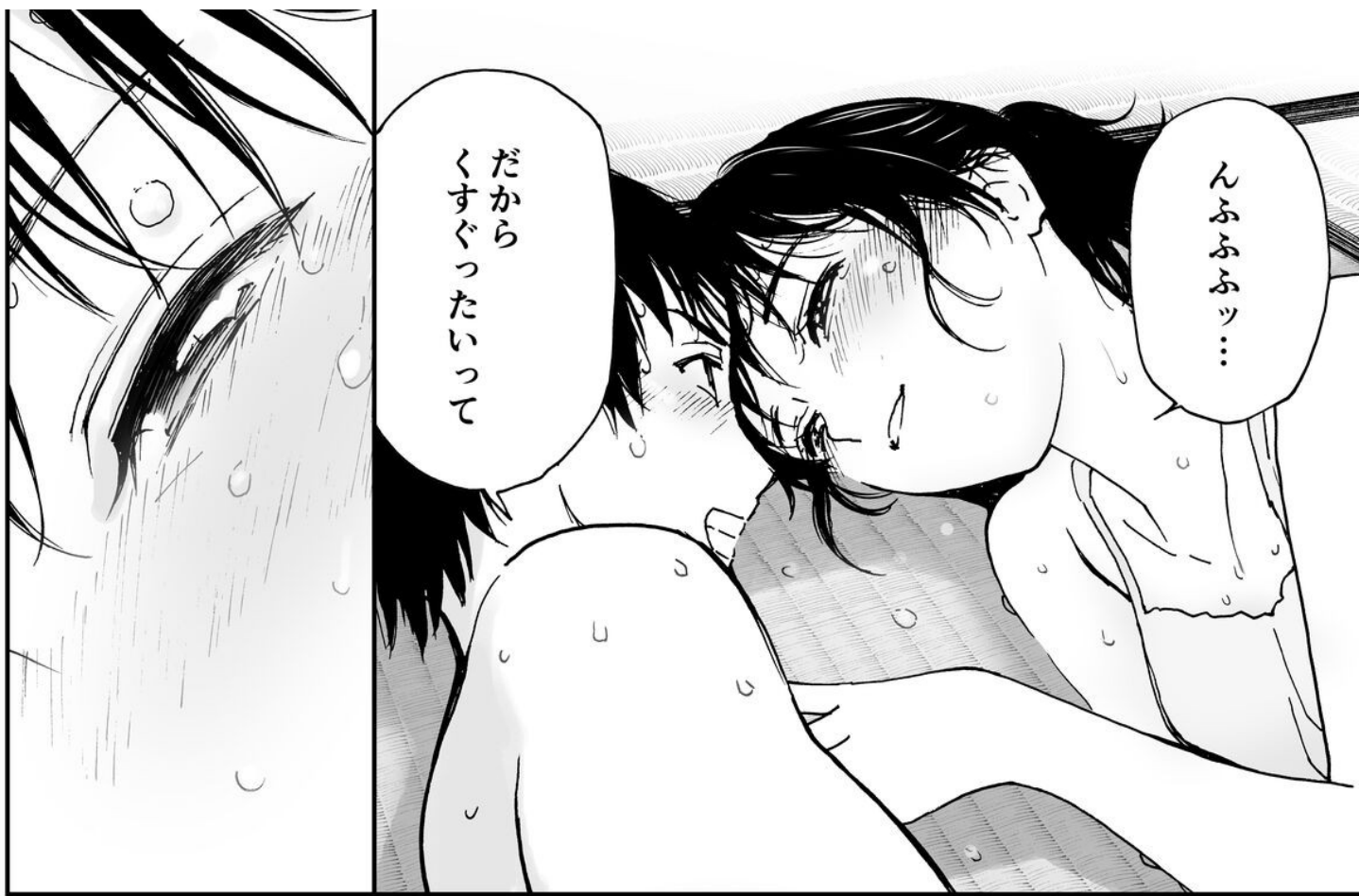


さっさと



ホラ

どんどん  
噴き出して  
きてるよ



だからくすぐったいって

んふふふッ...



きゃっ...



.....

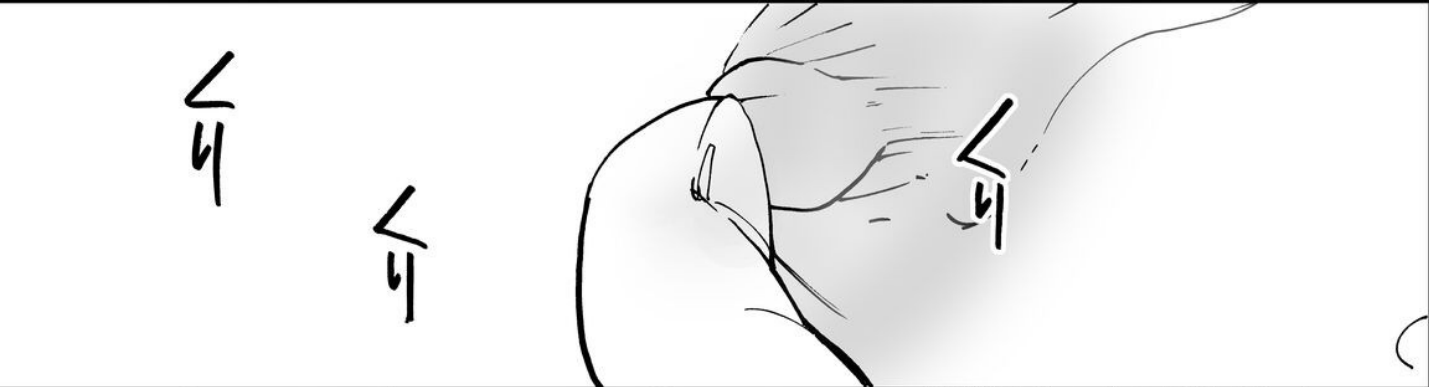
どんどん 触ってんだよ.....

ドゥ

ドゥ



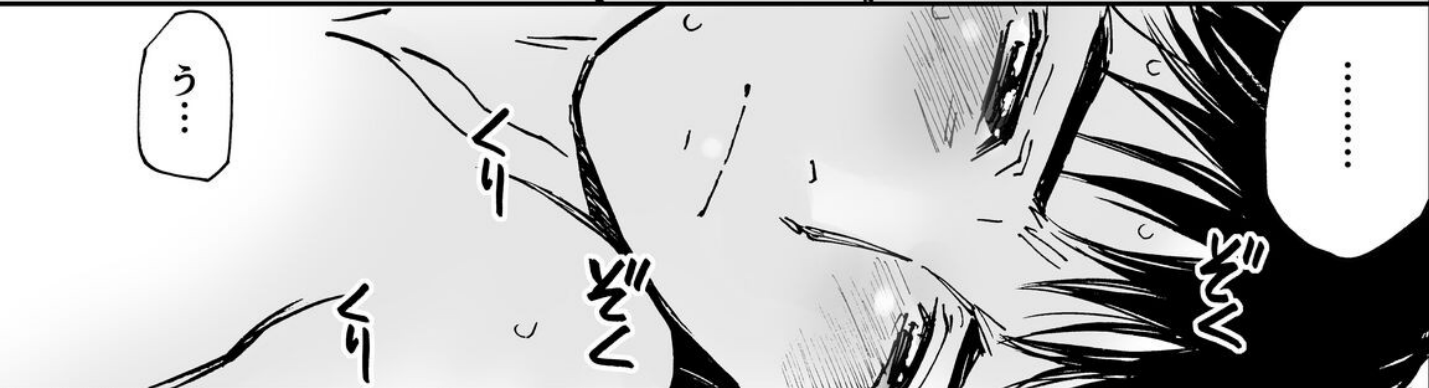
ジロちゃんの  
乳首♡



く  
り

く  
り

く  
り



う…

……

く  
り

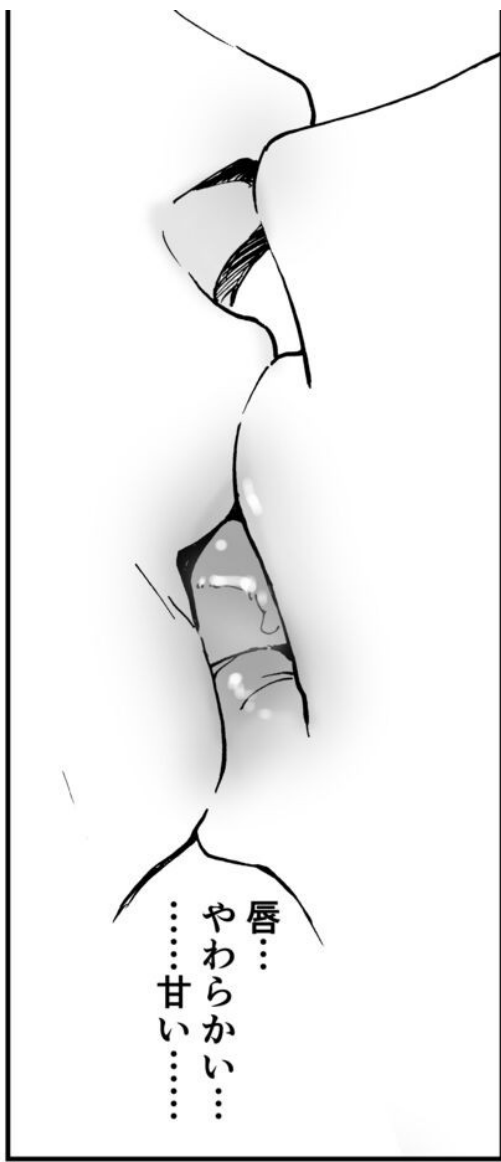
ぞく  
ぞく

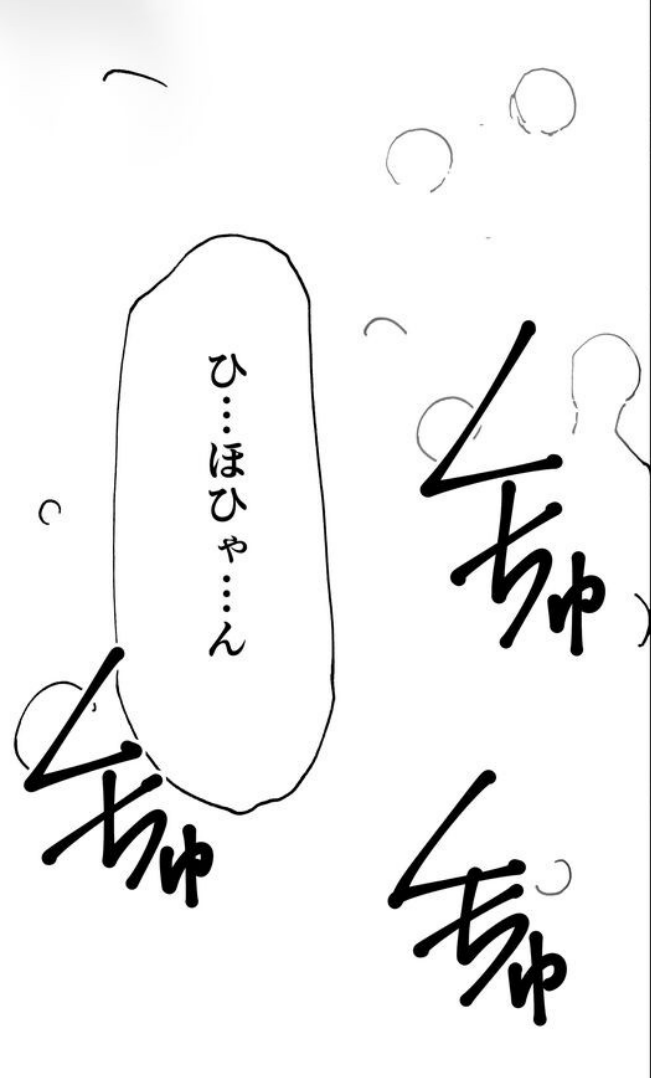
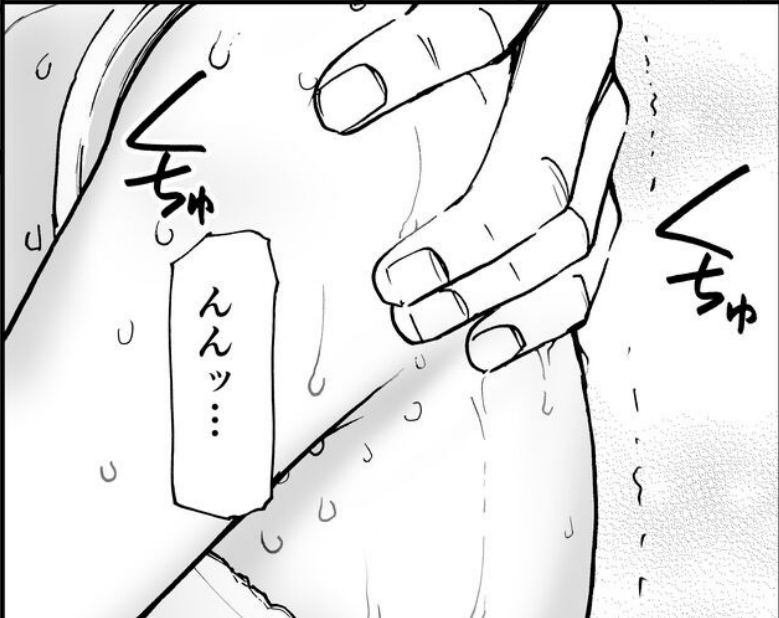
ぞく  
ぞく



男の人のも  
固くなるんだね…

ふーん





ズ  
ー  
ッ

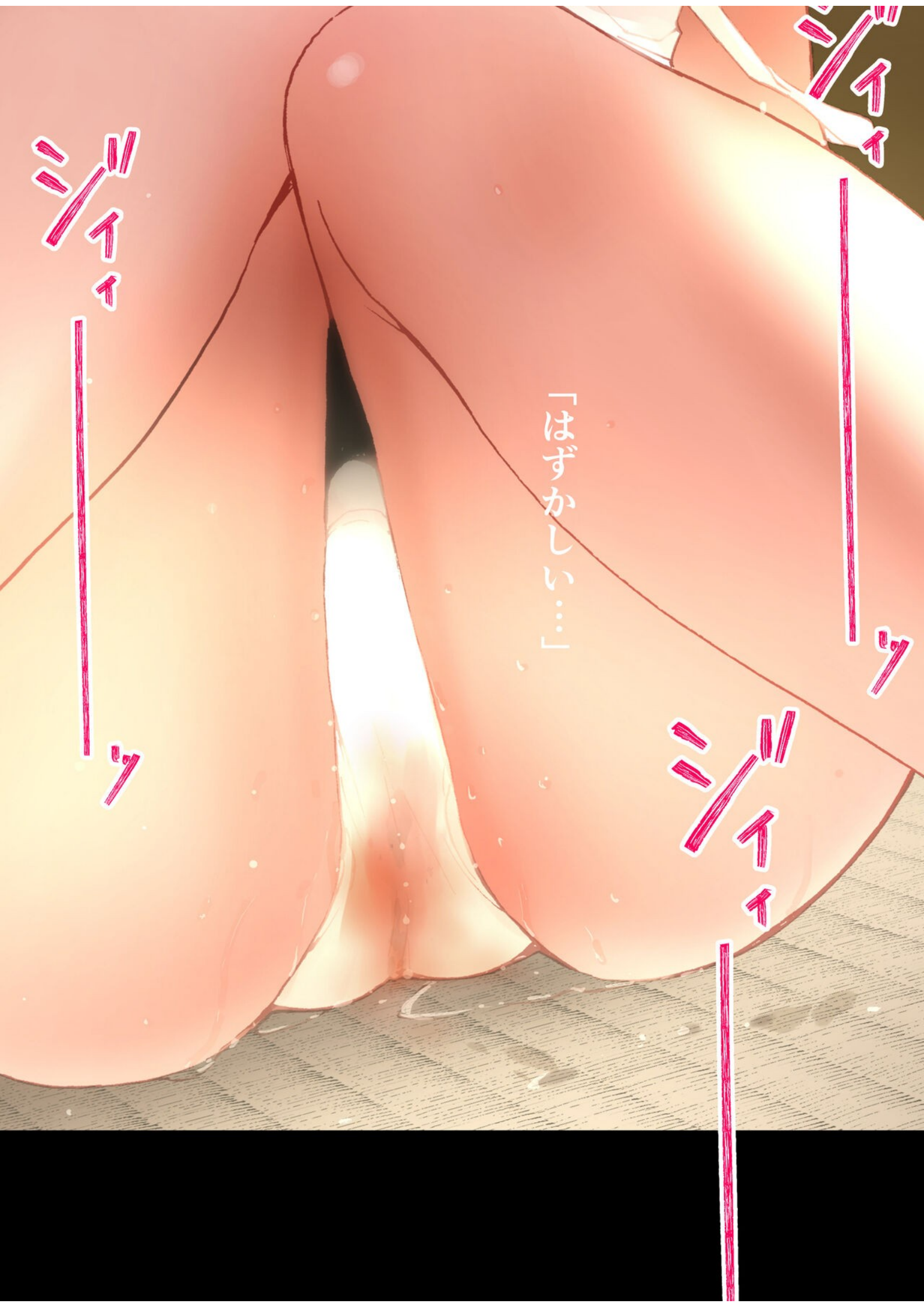
……はずかしい……

き……

きれいだよ  
ナコ……







「はずかしい…」

ニ  
イ  
イ

ニ  
イ  
イ

ツ

ニ  
イ  
イ

ツ

ツ



ナコって…

こんなに胸  
大きかったんだ  
な……



ナコ……

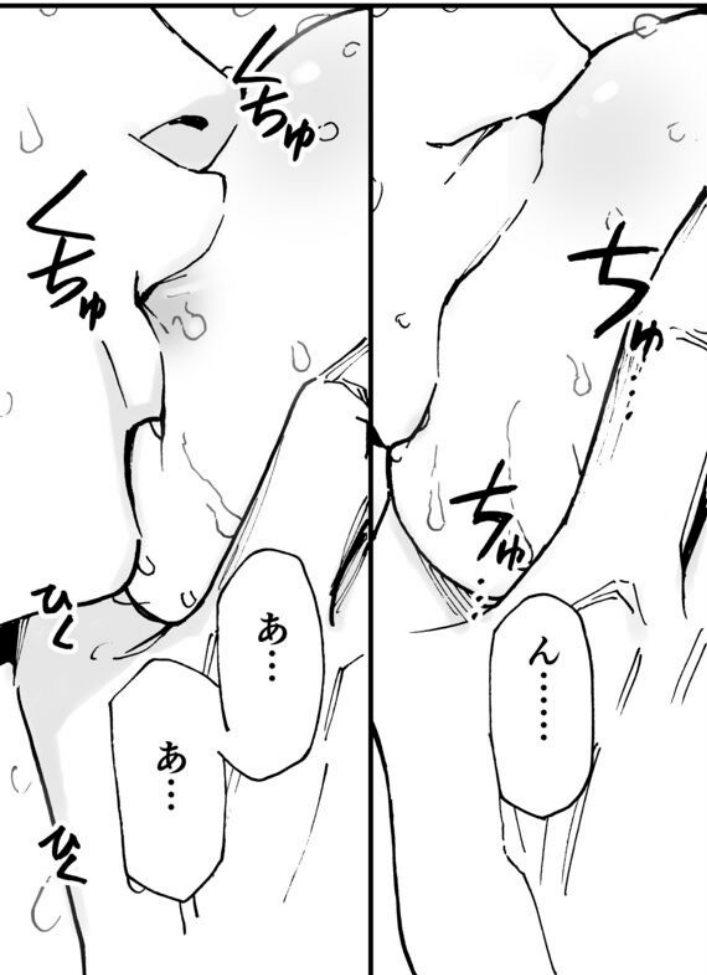
あ…



そーよ  
気づかなかった？

うん

気づかなかった  
……



あ…

あ…

ん……



ジロちゃん

どんかん

ドキ  
ドキ



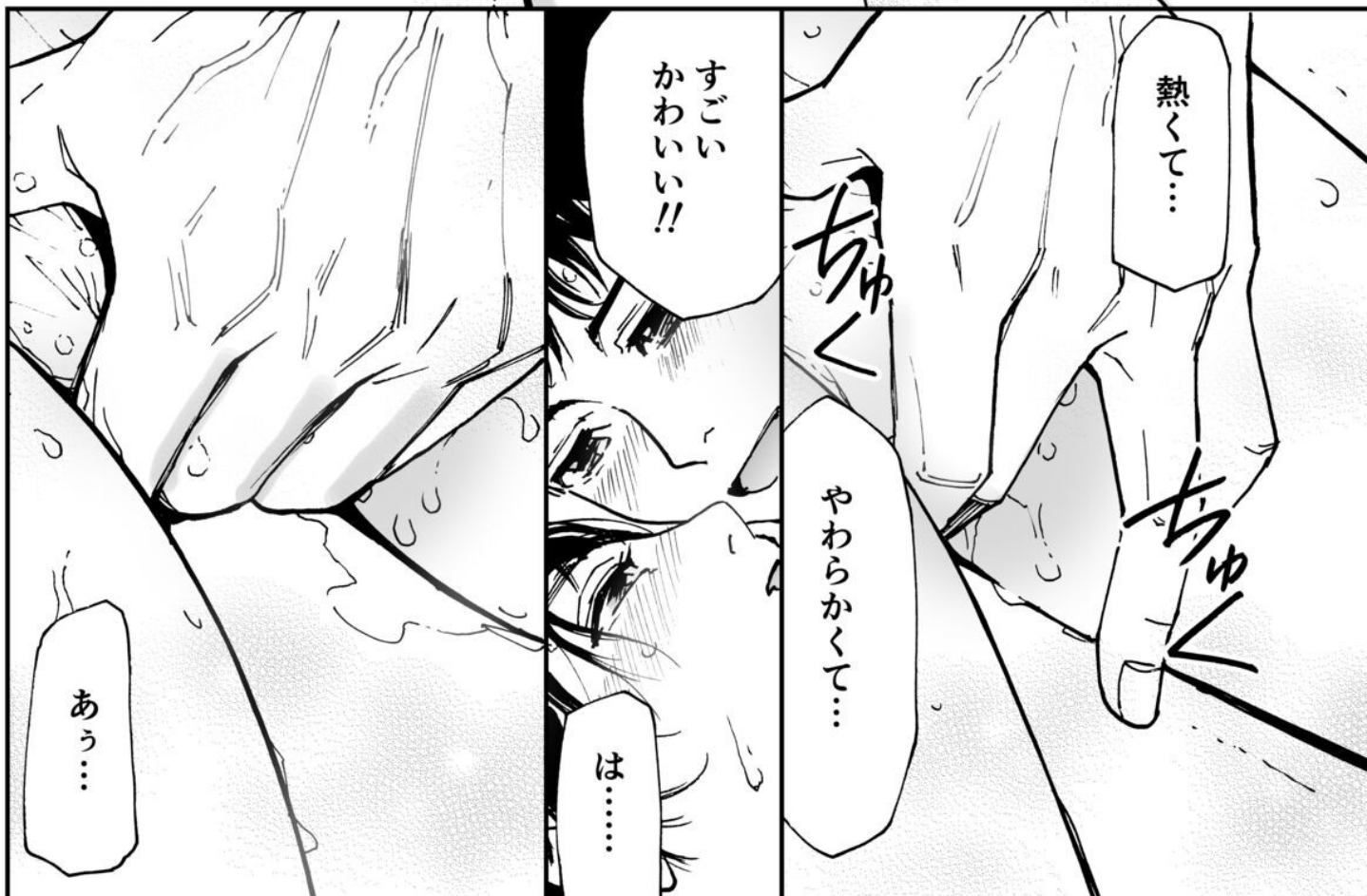
ふう…

ふう…

ふう…

身体  
濡れてる…

いっばい  
あふれてくる…



熱くて…

ちゅく

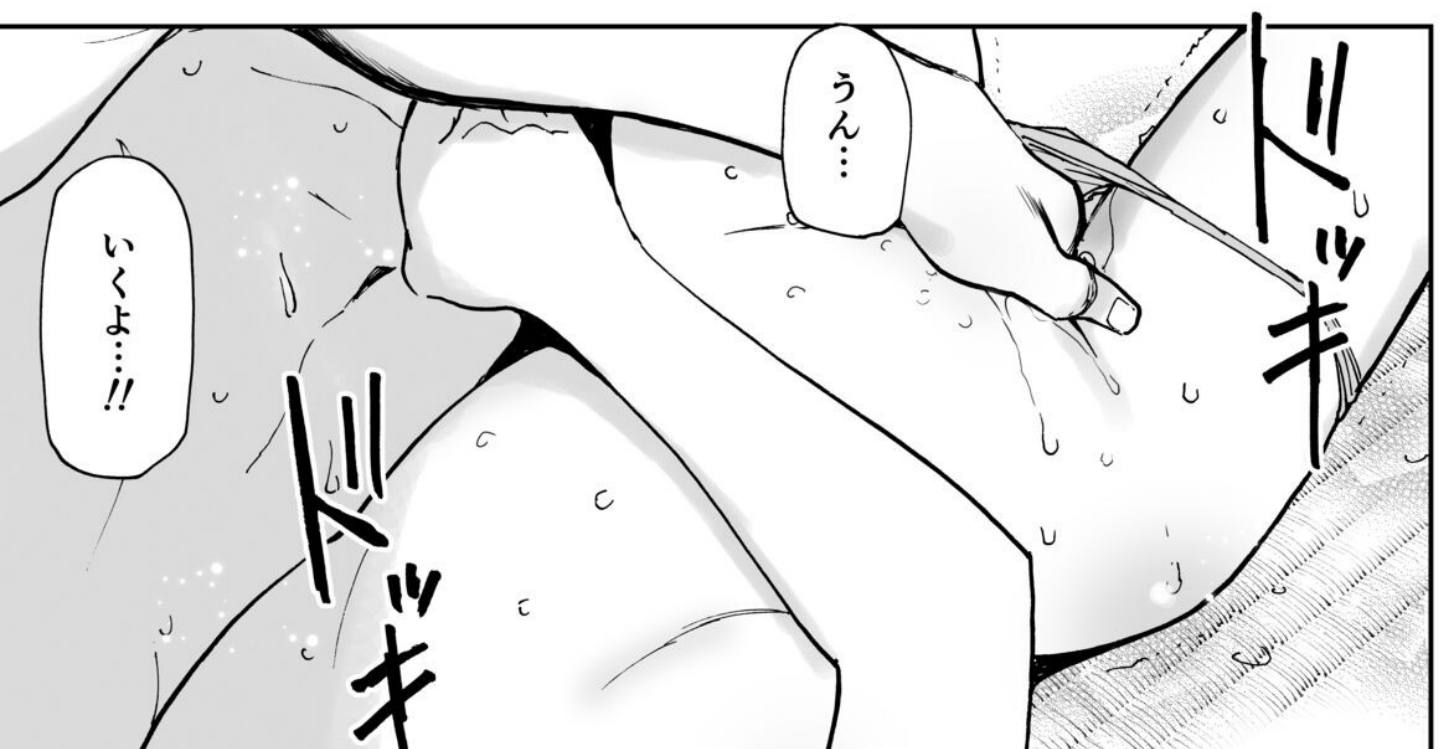
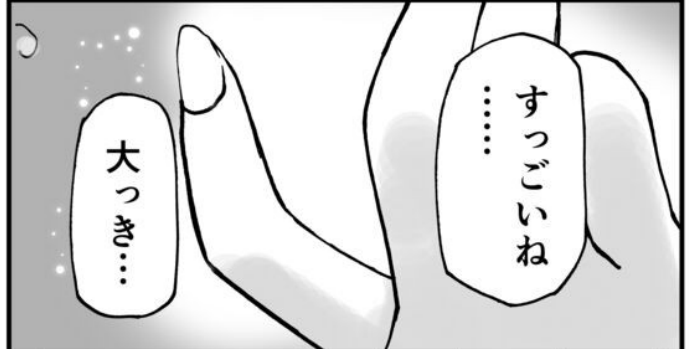
ちゅく

やわらかくて…

すごい  
かわいい!!

は…

あう…







は...

は...

は...



ナコ...

ひとつに  
なってるよ...



やっと  
なれたよ!!



俺たち  
やっと...



うん!!

うんツ!!



ジロちゃん…!!

はじめて  
入った  
ナコの内は…

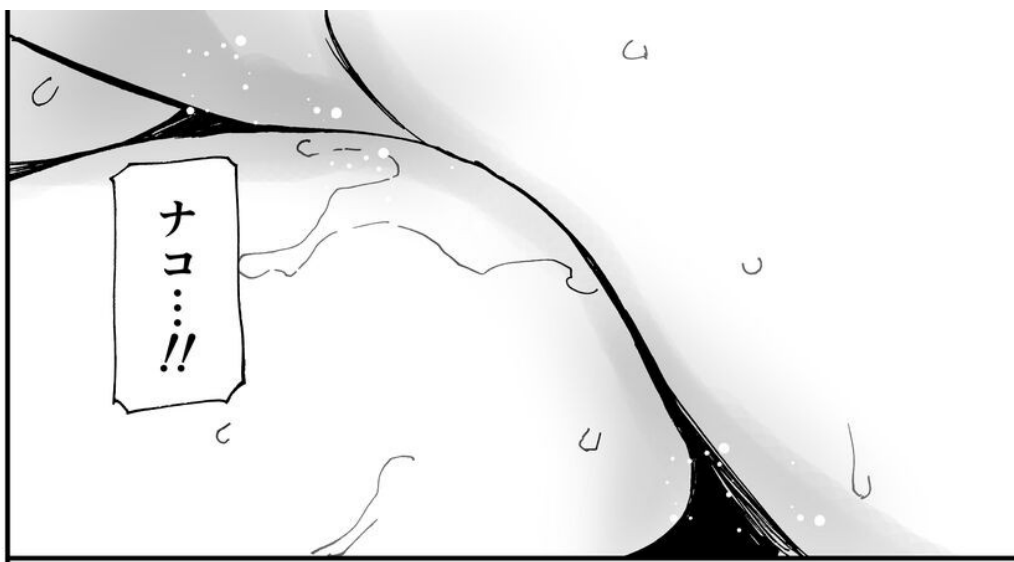
すごく  
なつかしい感触…

だって  
ずっと…

ボクたちは  
ずっと…



好き!!



ナコ…!!



ナコ!!



ふああ!!



あッ!!

あッ!!

深い……!!



あッ!!

あッ!!

ひあッ!!



ジロひゃん...

ひほ...ひゃ...ん



ひゅひ

ひゅひい...

あ!!  
すご...!!

ぬる

ぬる

はッ

あああ…

ああ…

ナユ!!

ああああ…

ナユ!!

はああ

好きだ…!!

ナユ!!

好きだ!!



んあああッ!!

大好きだ!!





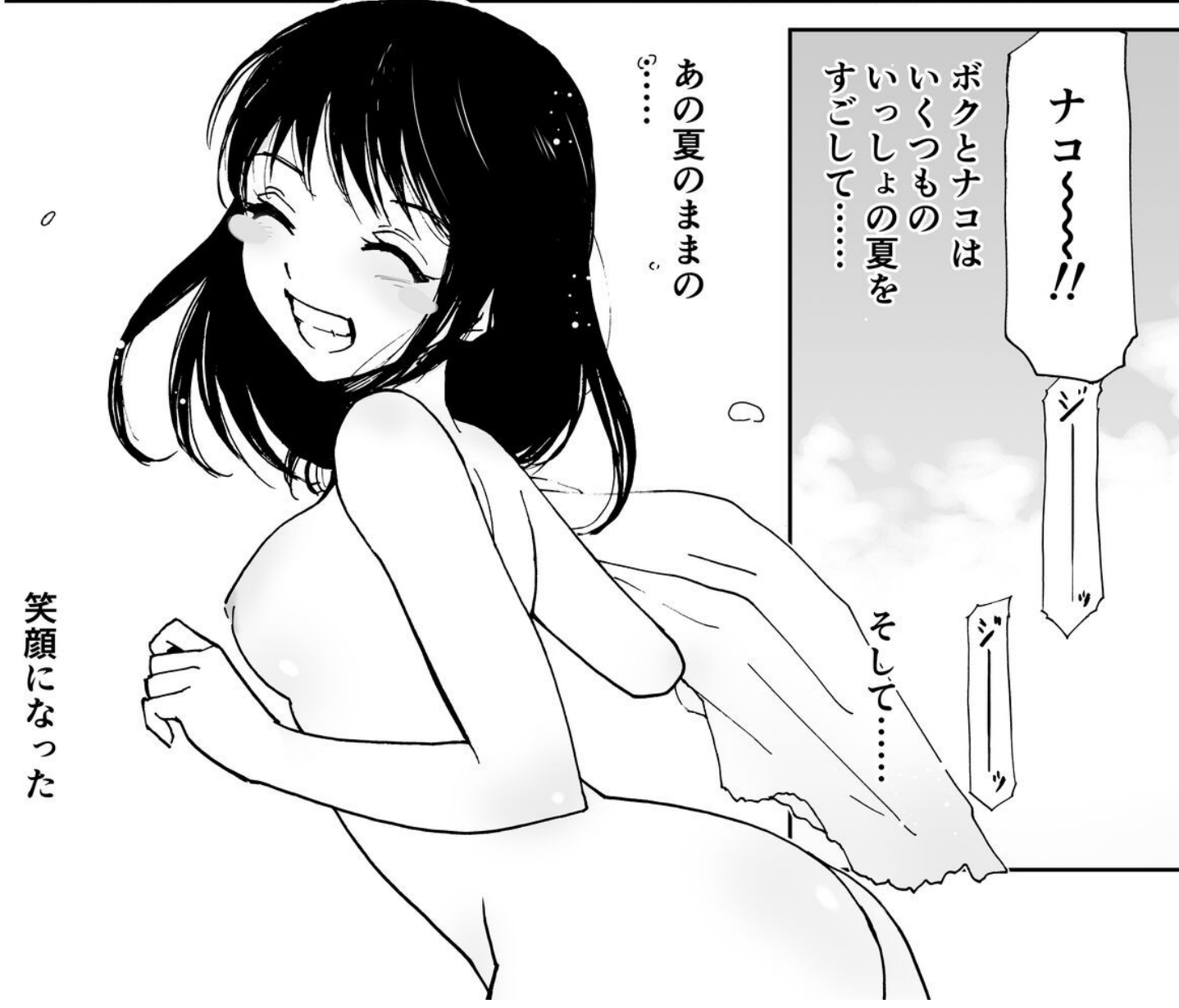
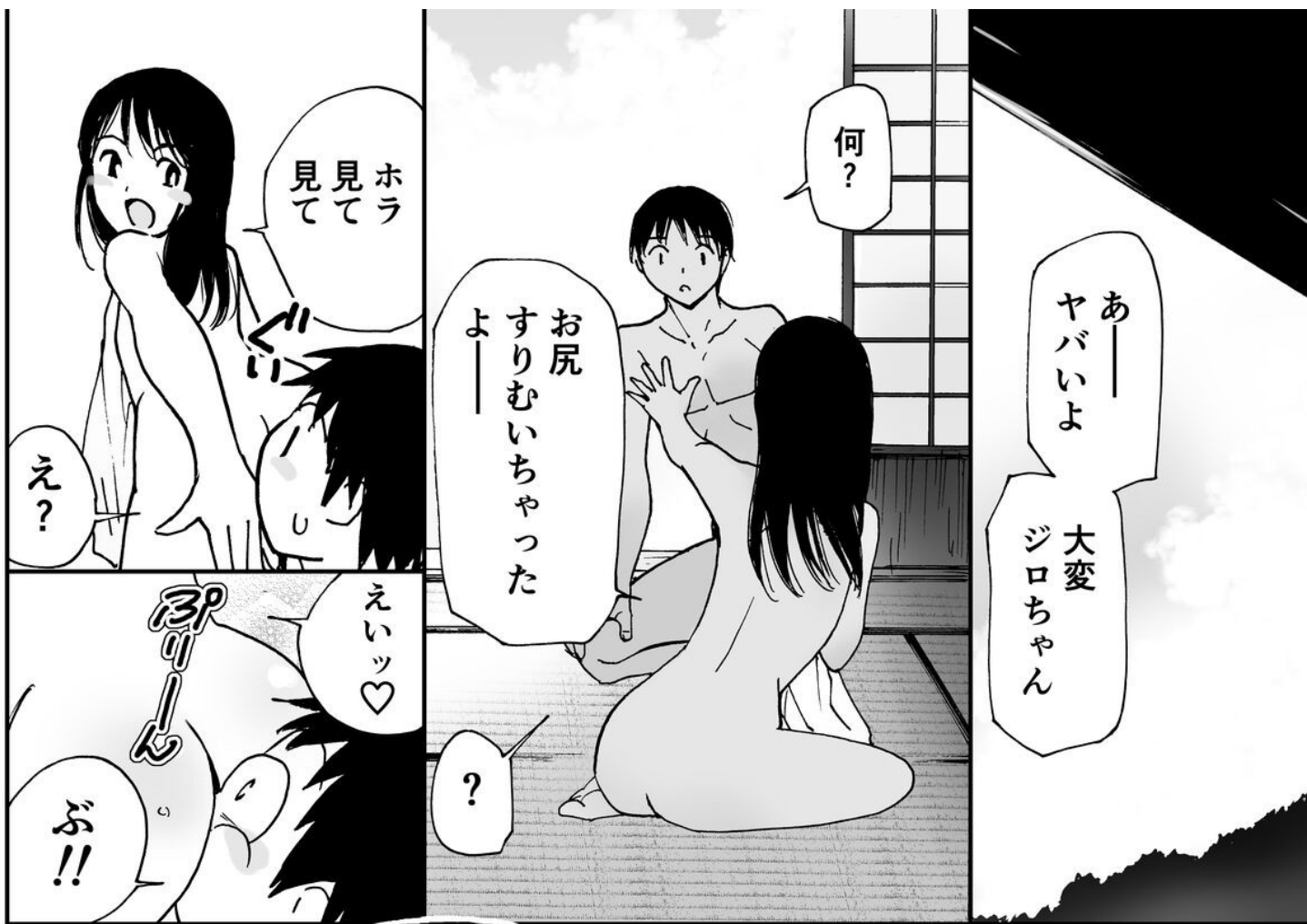
は...

は...

は...

は...

は...



ナコ〜〜〜!!

ボクとナコは  
いくつもの  
いっしょの夏を  
すごして……

あ……  
あの夏のままの

そして……

笑顔になった

八月  
の  
無  
邪  
気



いい体験



あ…ダメだ…

ふう  
風は…

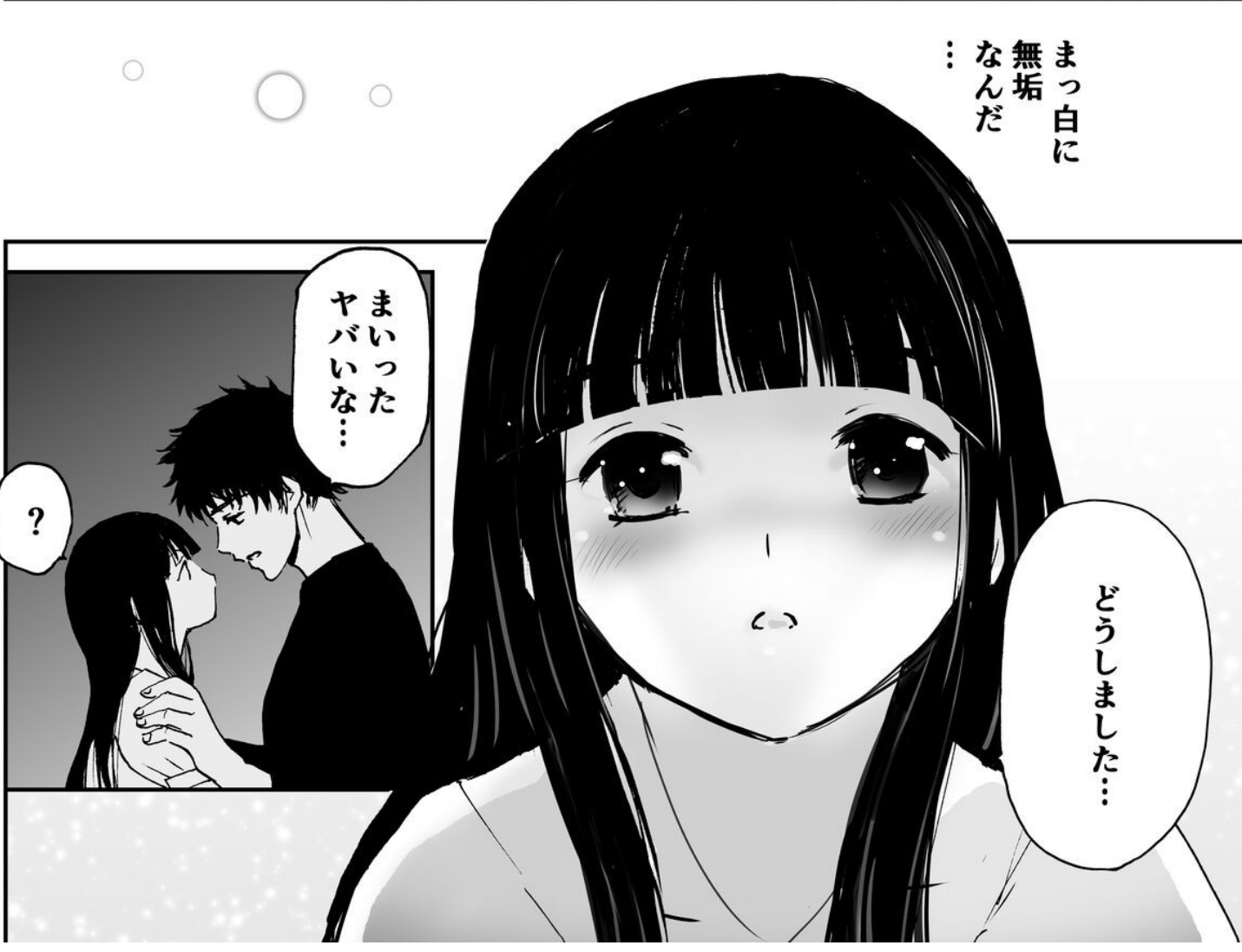
やっぱり  
まっ白なんだ…

まっ白に  
無垢  
なんだ

どうしました…

まいった  
ヤバいな…

?





いくと  
郁兎さんの方が  
怖がって  
どうするのですか？



急に  
ビビってきた...

はい？



何か  
怖くなってきた

正直に  
言った

だって...



汚して  
しまいそう  
だから.....



はい？

あ…  
いや…

わたくしは  
いまから  
汚されてしまうの  
ですか？

そんな  
ひどいです



怒りますよ

……

3%

郁兎さんは  
わたくしを  
汚す気なのですか？





どわッ!!

何?!

何?!

風!!



ホラ  
わたくしの胸  
こんなにドキドキ  
していますわ

……



ビビリの郁兎さんを  
誘惑してるんです



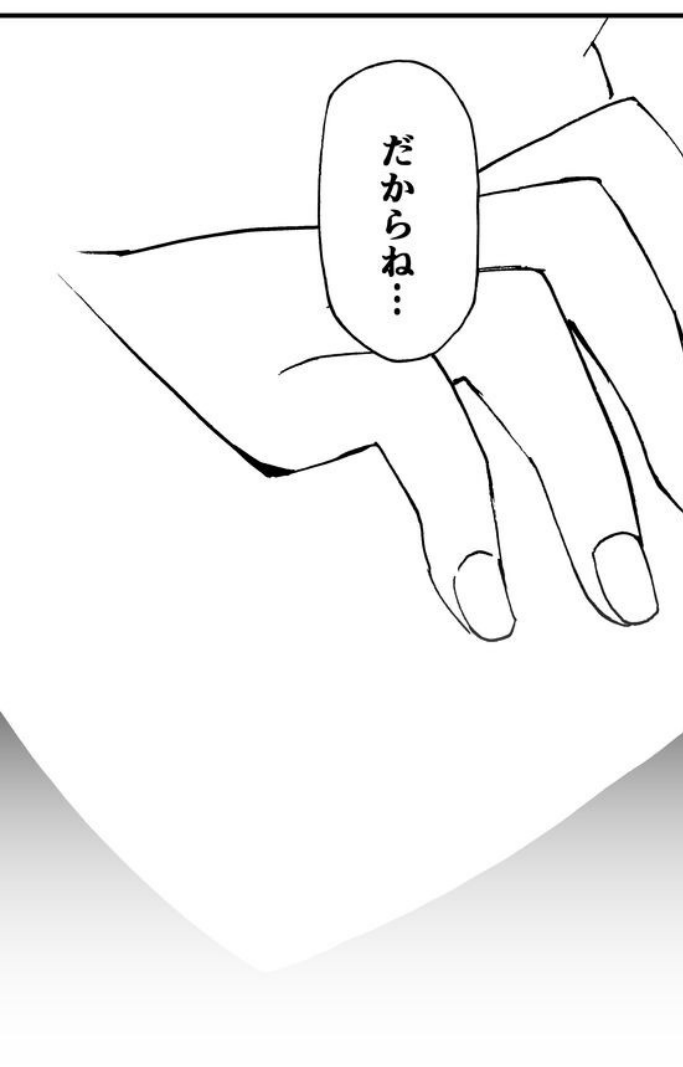
今日から  
ふたりは  
対等な  
恋人になろうって  
……

約束  
しました



わたくしも  
真剣です  
……

真剣  
ですよね……



だからね……



郁兔さん……



お子様め……  
だから  
怖いんだろ……

汚して

ささやかすよ。





大丈夫…

ですよ

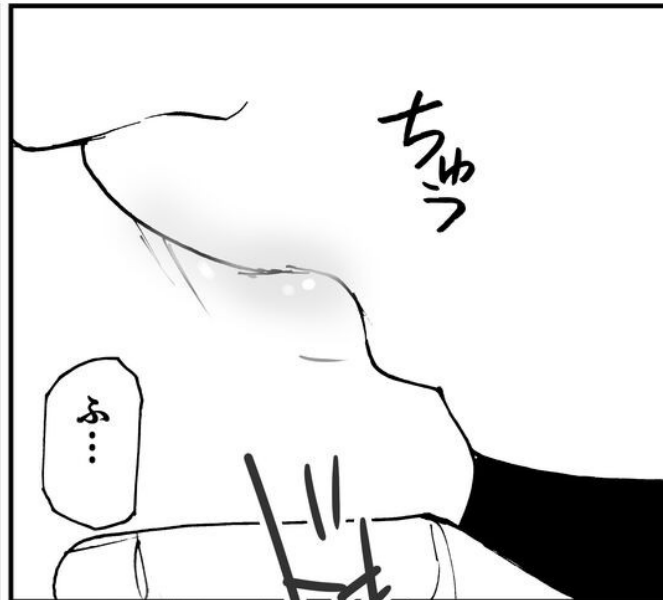
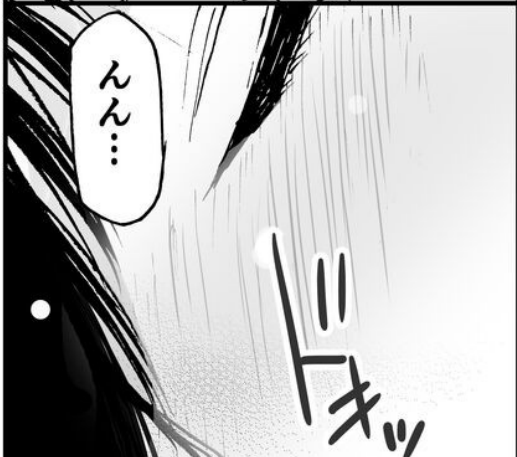
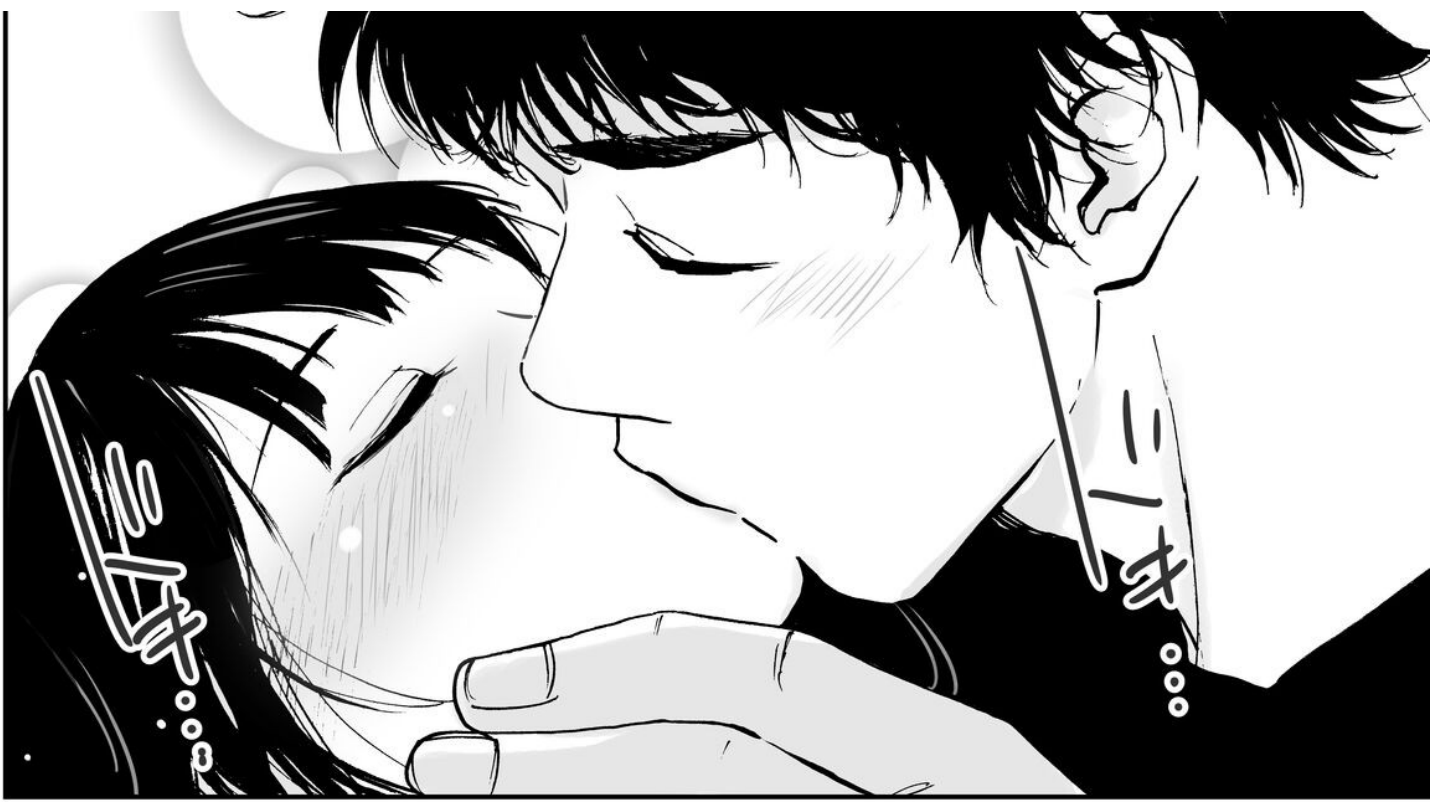


風…

郁兔さん…



大丈夫  
ですよ…







恥ずかしい...  
ですね...

胸  
まっ白だね...



きれいだよ

ズに...

あ...



は...

す...



す...

てのひらの中に  
すっぽり  
包まれてしま  
いました...

きゅん...

都兎さんの手  
大きい...





あ…

裸に  
なろう

すっ

あ…



風…

おねがい…

……

……



触って...

.....

ヒキ

ヒキ

風のもの  
だよ...



よく  
見て...



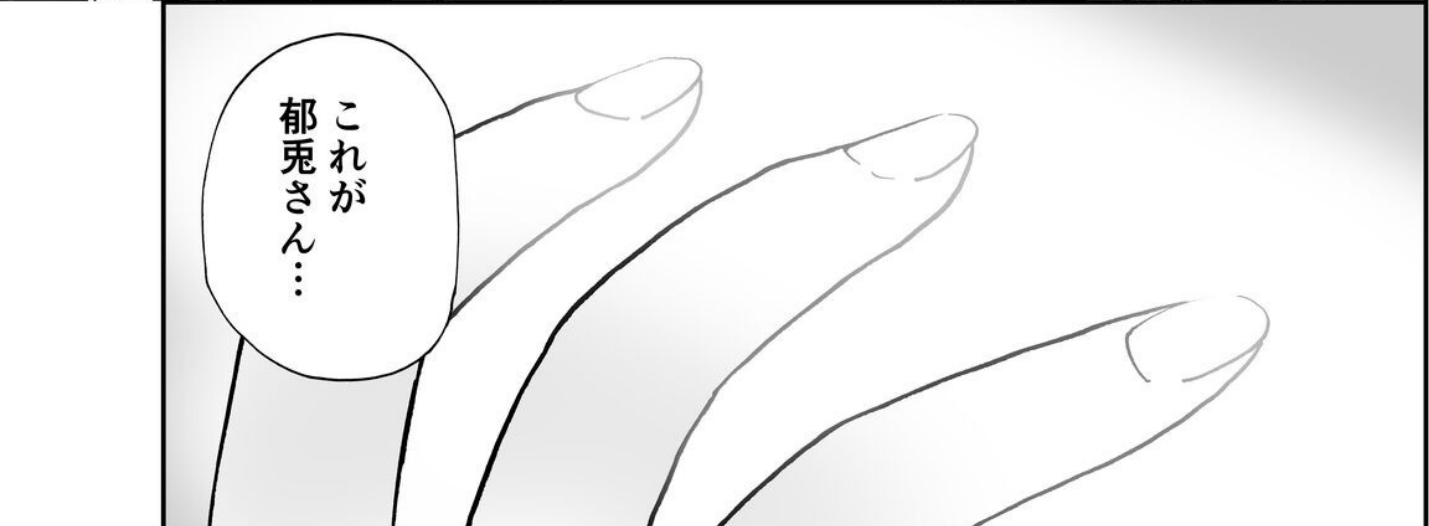
ヒキ



...あ

ヒキ

ヒキ



これが  
郁兔さん...



んふふっ



俺身体は  
正直なんだよ…



すごい…

ドキドキして  
いますね…



あ…

指先に触れた  
風の性器は  
もう……

くちゅ…

潤って…

あふれて…

開いていた……





あ…



力抜いて…

そう…  
ヒザを曲げて…

はい…



郁兔さんの手

ふるえています…



あ…



風…

いくよ…



やっぱり  
怖いのですか？



うれしくて!!

ううん

ちがうよ



んくう...ツ!!

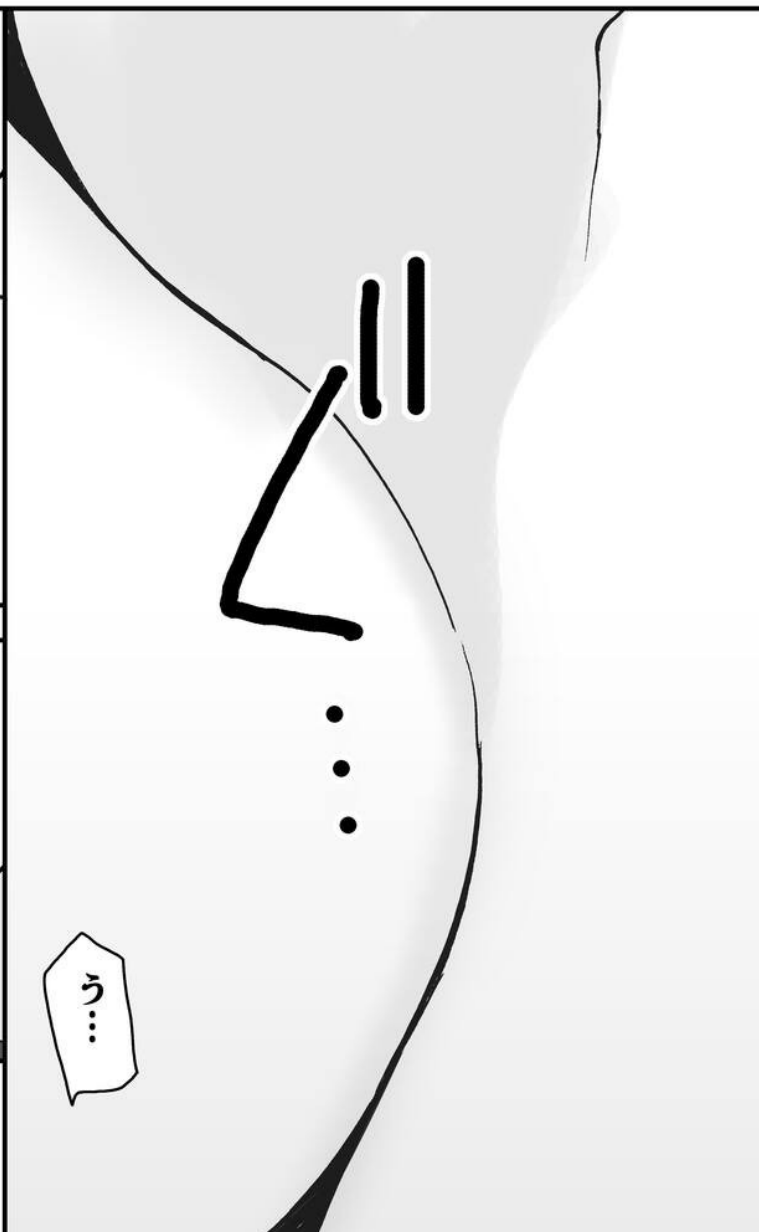
.....ツ



ごめん...

痛いよね...

う...





ちがい…

…好き…

うれしくて!!







わたくし

あなたで

いっぱいです♡



奥ッ…

ひあ

奥まで…

はッ

は…

あああ

ああ

きてます

はああ



は…  
はちきれ  
そうだッ!!

はッ

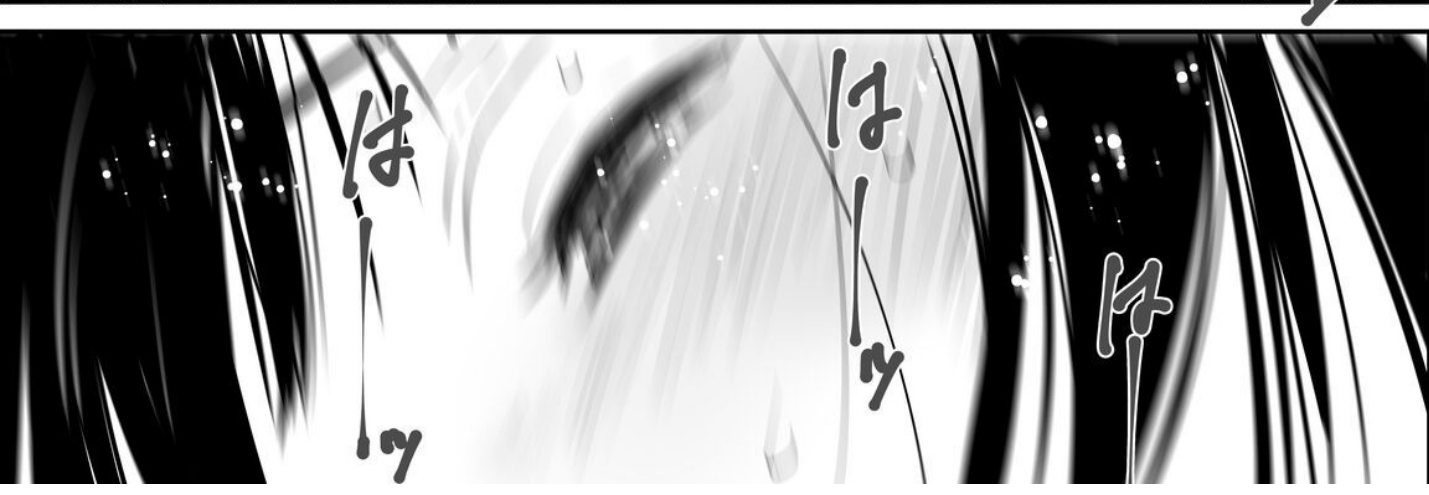
んあッ

あ

は…

おまえの中に…

ぶちまけるぞ!!



ہی ہی ہی ہی ہی ہی ہی ہی  
ہی ہی ہی ہی ہی ہی ہی ہی





んああ  
ああ  
!!



あゝ...

どうぞ

きてえ...



はあ  
あああ...

あ...

ああ...





ああ…

あああ…♡

もともと…

彼女を  
汚すことなんて  
出来るはずもないこと  
だったんだと

郁兔さん

素敵  
でしたね…

思い知る

目の前には

素敵  
でしたね!!

まっ白な

恋人がいた——

いっ—ぱい

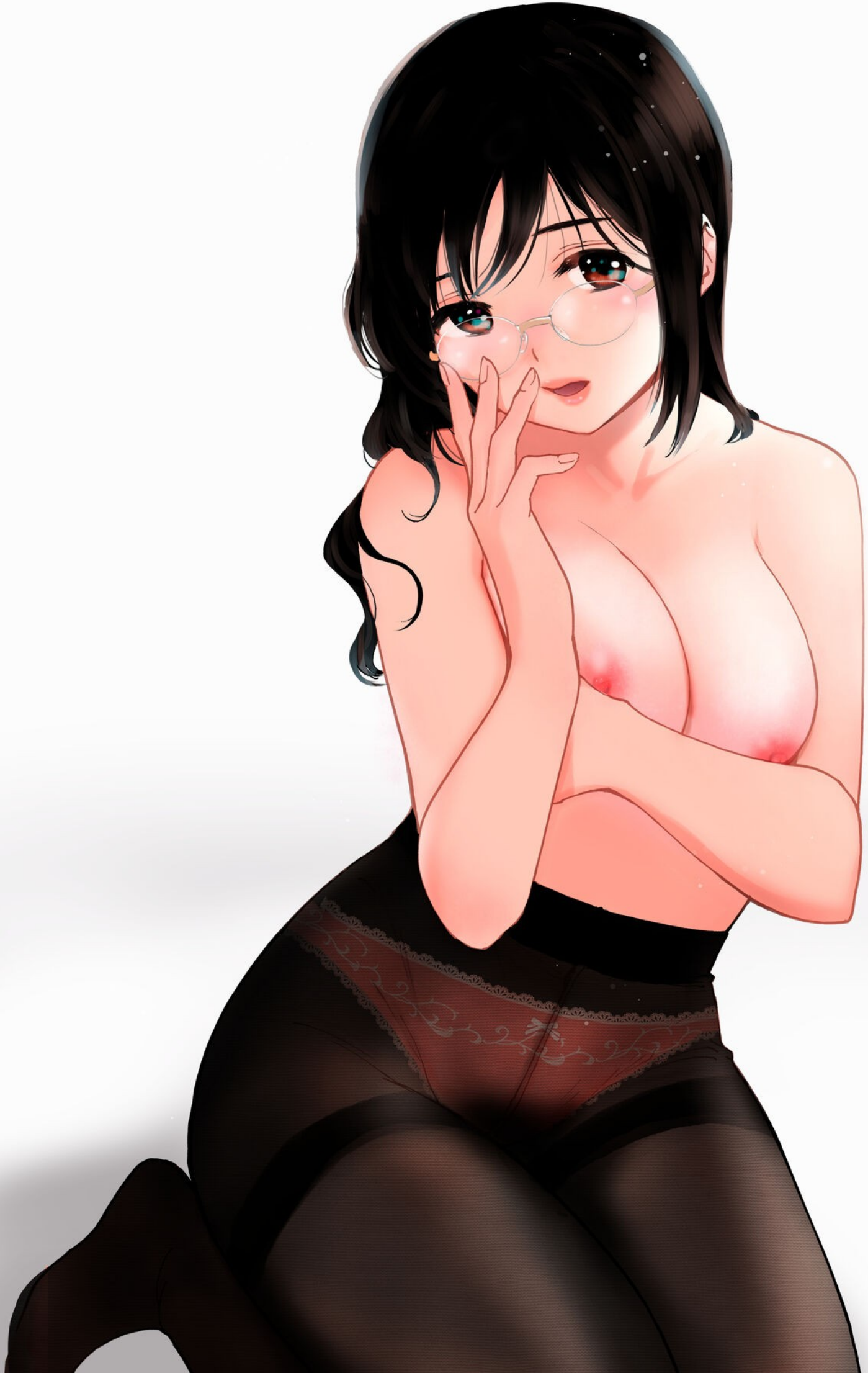
愛し合っちやい  
ましたね♡



# 白い体験

ありふれた  
ロマンス

A Commonplace Romance



オレが入社した時はもう  
彼女の名前は  
「カタブツさん」だった

あ  
カタブツさん

おはよー  
ございます

おはよう  
ございます

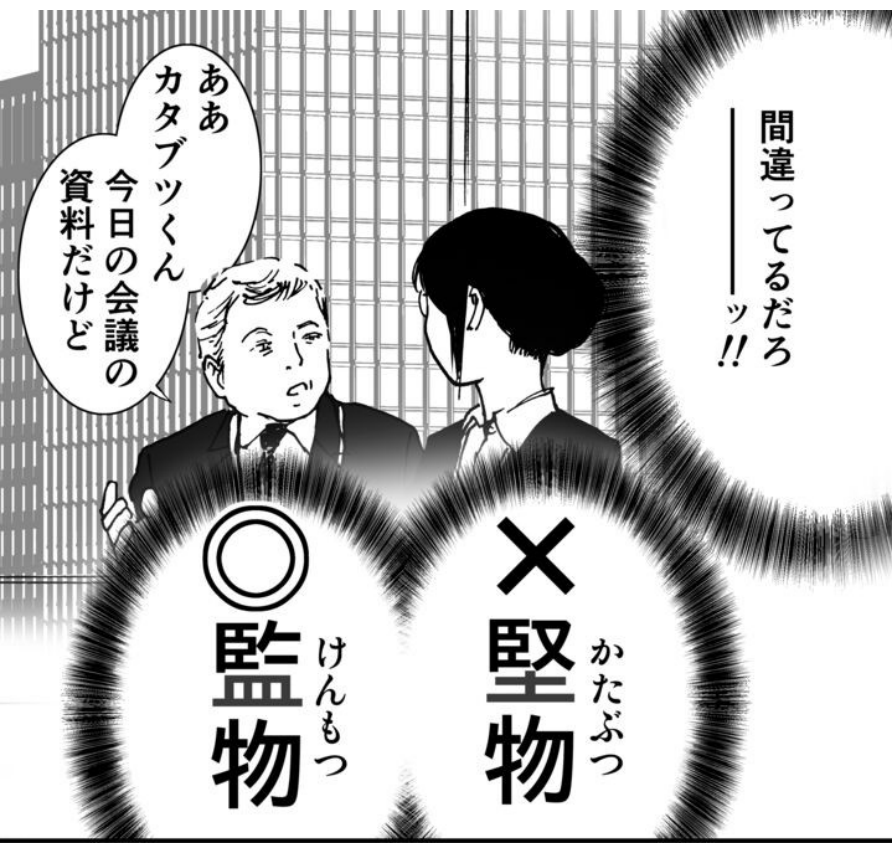
カタブツ

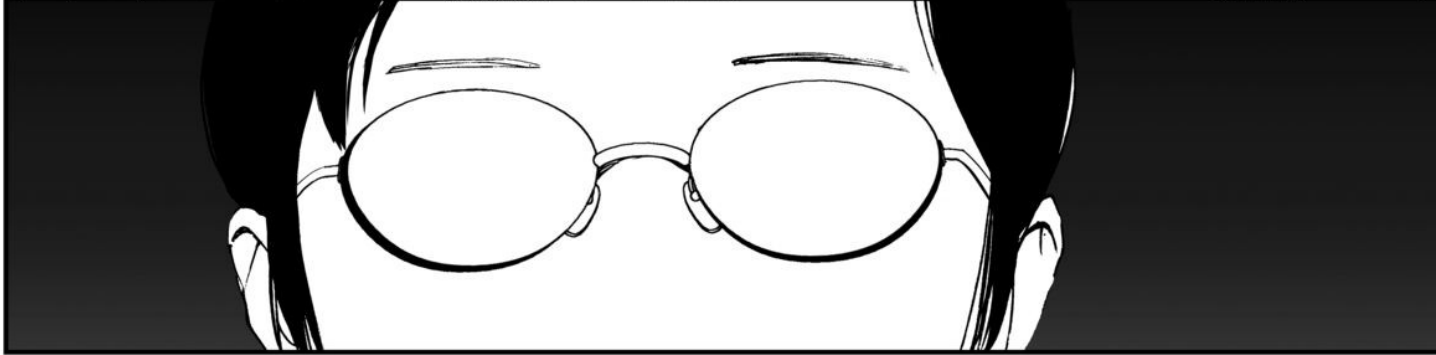
かわった名字  
なんだな……

おはよう  
カタブツくん

はい  
おはよう  
ございます

カタブツ





楽しかった

…です

榎村くんと  
いて…

とつても…

楽しかったです

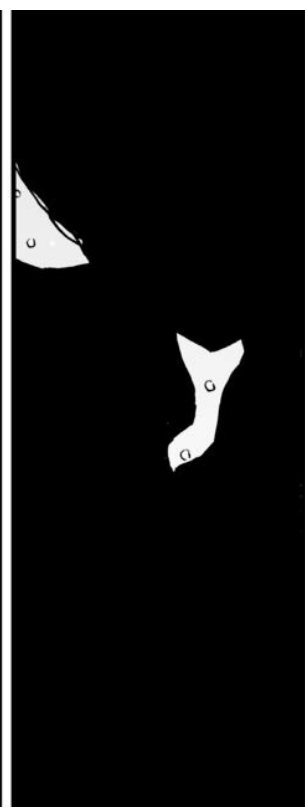
け…

監物さん

また  
誘ってくださったら

うれしいです

あの…  
ですから…





サツちゃんの  
キスは

#  
シ...

とっても

くちゅ

くちゅ...

熱かった!!

くちゅ...







やわらかい…ッ

んふッ…



ん…

ん…

普通ですッ

意外と  
巨乳  
だったんですね



やわらかいです!!

すっごい

あ…





サツちゃん

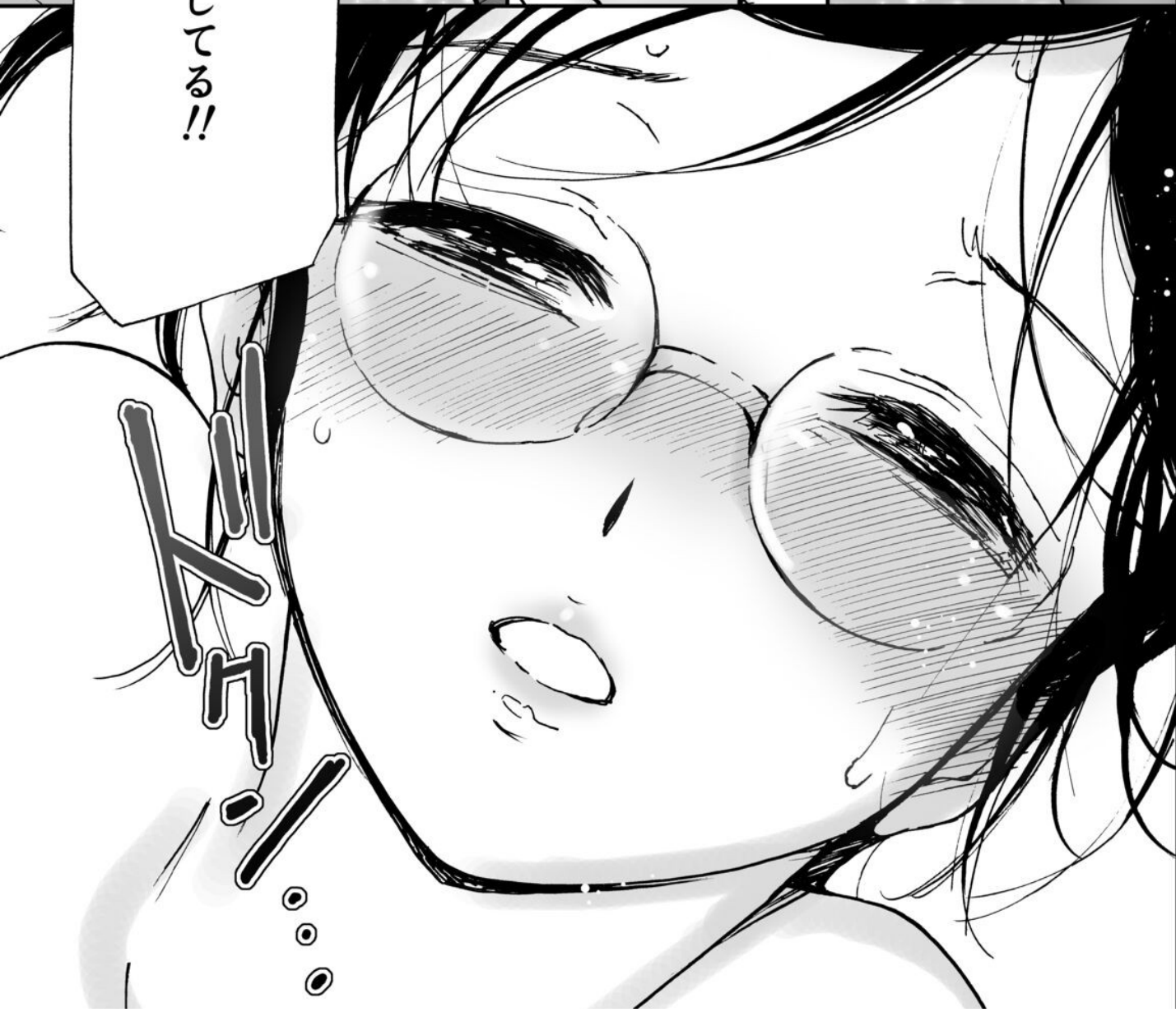
オレ  
うれしいです!!

あ!!  
これ!!

サッ...

クッ...

感じてる!!



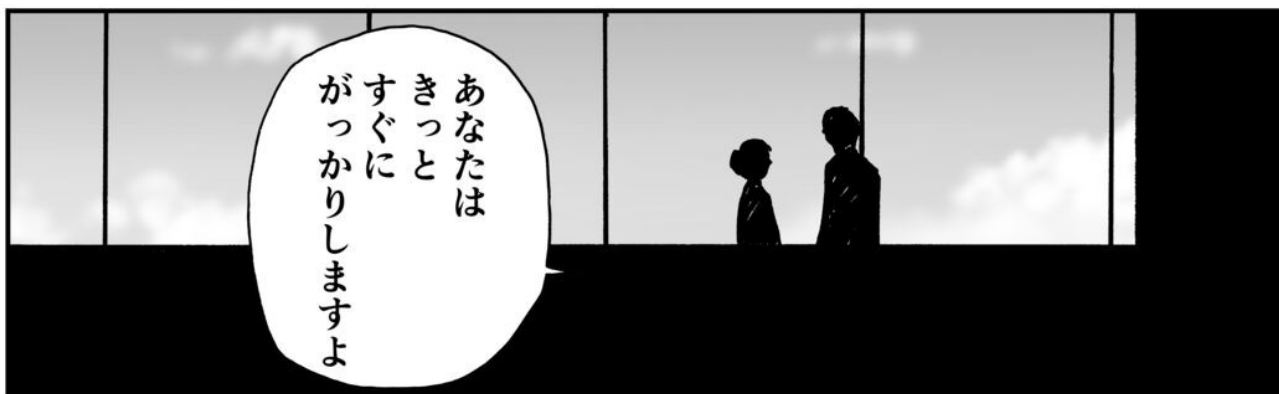
クッ...



最初に  
言っておきますよ

榎村くん

おつき合いしても  
いいですけど



あなたは  
きつと  
すぐに  
がっかりしますよ



こわいし  
.....

人に好かれたり  
人を好きになったり  
することが  
下手なんです

どうしていいか  
わかりませんし



どうして  
...です？

見て  
わかりませんか？



わたしは  
人から  
愛されるのが  
上手に出来ないん  
です



...あの



わたし...



可愛くなれないと 思いますが

.....いいですか?

サツちゃん!!

あ…

あ…

ゴク  
ゴク

くちゅ

くちゅ

くちゅ

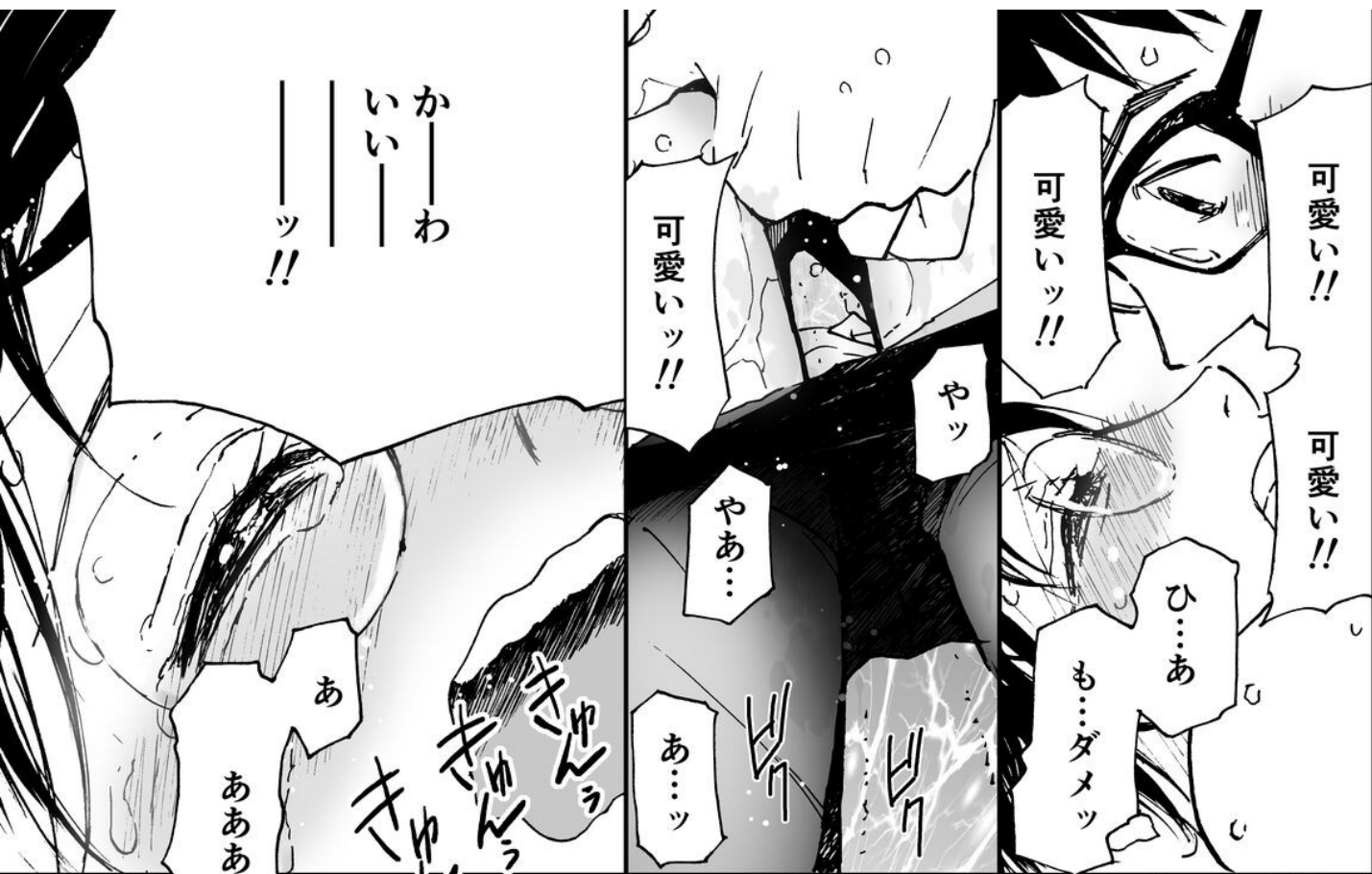
サツちゃんは  
いま

ああ…

最高に  
愛されてるよ!!

くちゅ

くちゅ



可愛い!!

可愛い!!

可愛いッ!!

やッ

やあ...

あ...ッ

ひ...あ

も...ダメッ

かーわ  
いいー

ッ!!

あ

ああああ...あ

ギョウラ  
ギョウラ  
ギョウラ  
ギョウラ  
ギョウラ

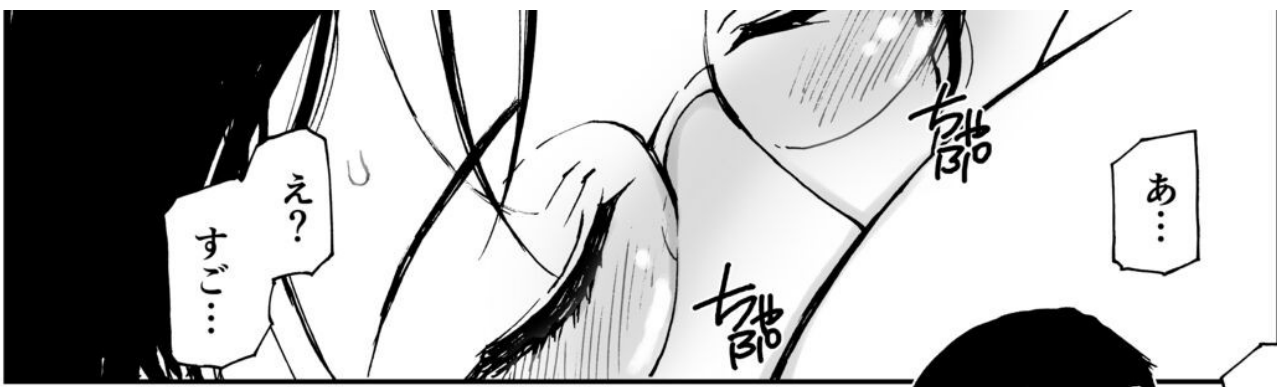


んああ



あ  
あああんッ!!

ギョウラ  
ギョウラ  
ギョウラ  
ギョウラ





愛し合  
たいで  
す

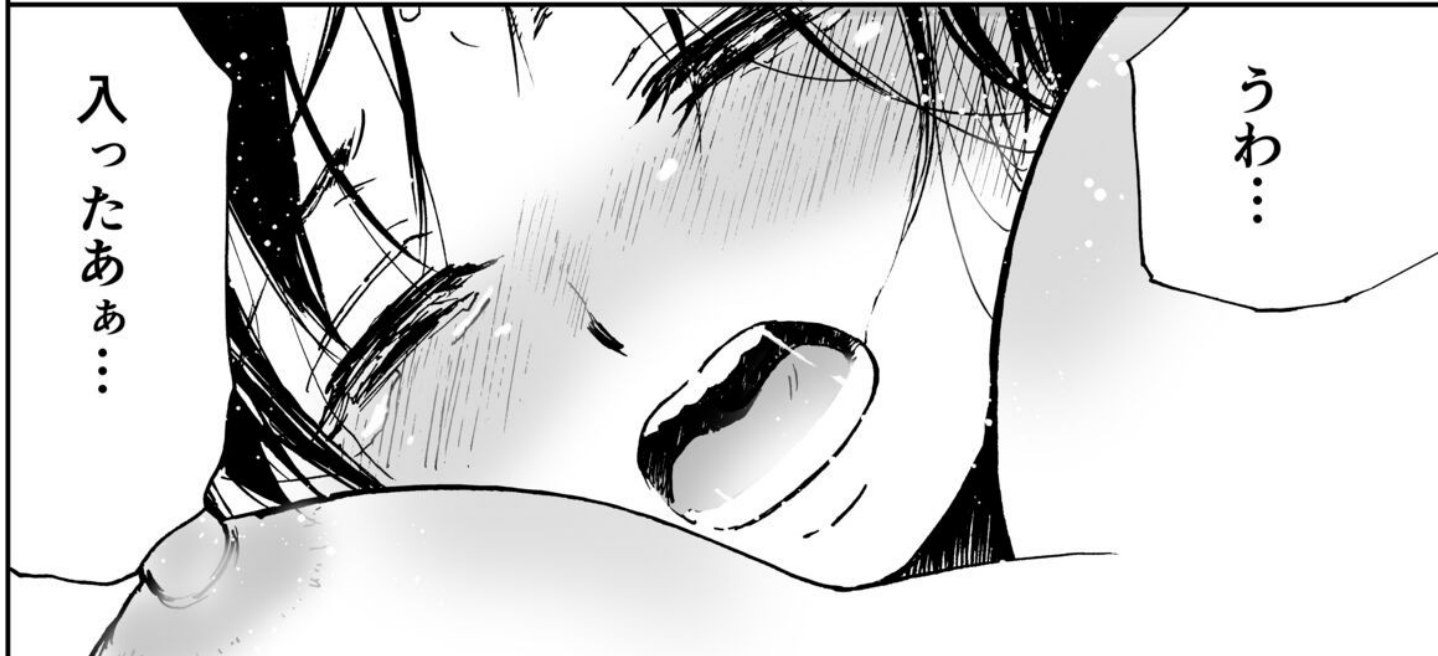


あああ!!

あ

あ

あ



入ったああ...

うわ...



サッちゃん!!

大っき...

はあああ...

あったかあい  
.....



サッちゃんの中!!

すごく  
熱くて...!!

やさしい!!

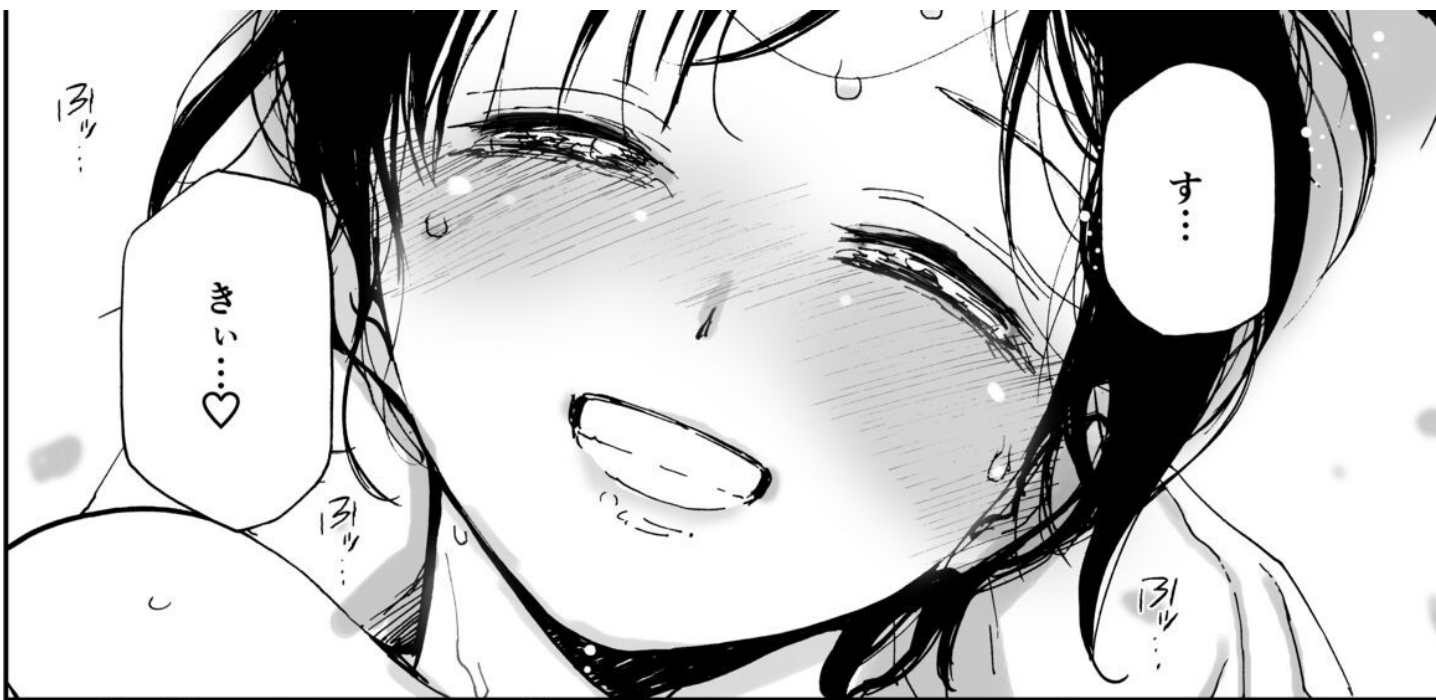
オレ

とけちゃいますッ!!

ふッ

はッ

ふふッ



ズッ...

あ...♡

ズッ...

ズッ...

す...



ふうう—ッ

ズッ  
ズッ

ふ—ッ

ふ—ッ

ズッ  
ズッ



~~~~~  
イツちゃう  
~~~~~  
ッ!!

ズッ  
ズッ  
ズッ

サ...  
サツちゃん...

ズッ  
ズッ  
ズッ

あッ

ズッ  
ズッ  
ズッ

あんッ

あああああ...

ああ

あッ

あ

は—ッ

あああ...ッ

は—ッ

は—ッ

あああ

ああああ♡



ねえ  
どうしてですか？

どうして  
「カタブツさん」の  
わたしなんか  
告白してきたんですか？

はい？

それも  
出会った初日に

そう言われても  
オレにも  
わからないん  
ですけど…

だけど  
ひと目で  
ビビっときたって  
いうか…

ビビッと？

えっと  
つまり  
ですね…

ひと目見ただけで  
なぜか勝手に  
チンポがガチガチに  
勃っちゃったんです

へッ!!

これって  
運命の出会いって  
やつですよね!!

サツちゃんが

オレが  
本気で  
そう言う

笑った

バカ♡

ありふれた

ロマンス



ふたりの

♡今更  
ド





んッ...

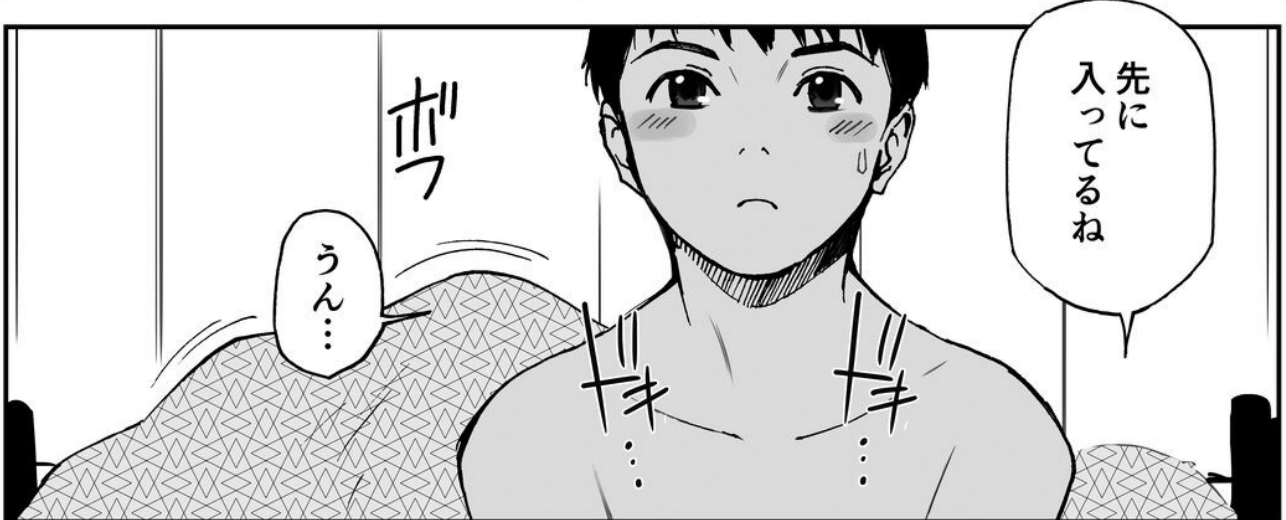


あっち  
向いててって!!

めッ!!



え?  
何?



ボクのベッドが  
小さく  
「キシッ」と  
鳴った...



コラ  
何臭い  
かいでんだ

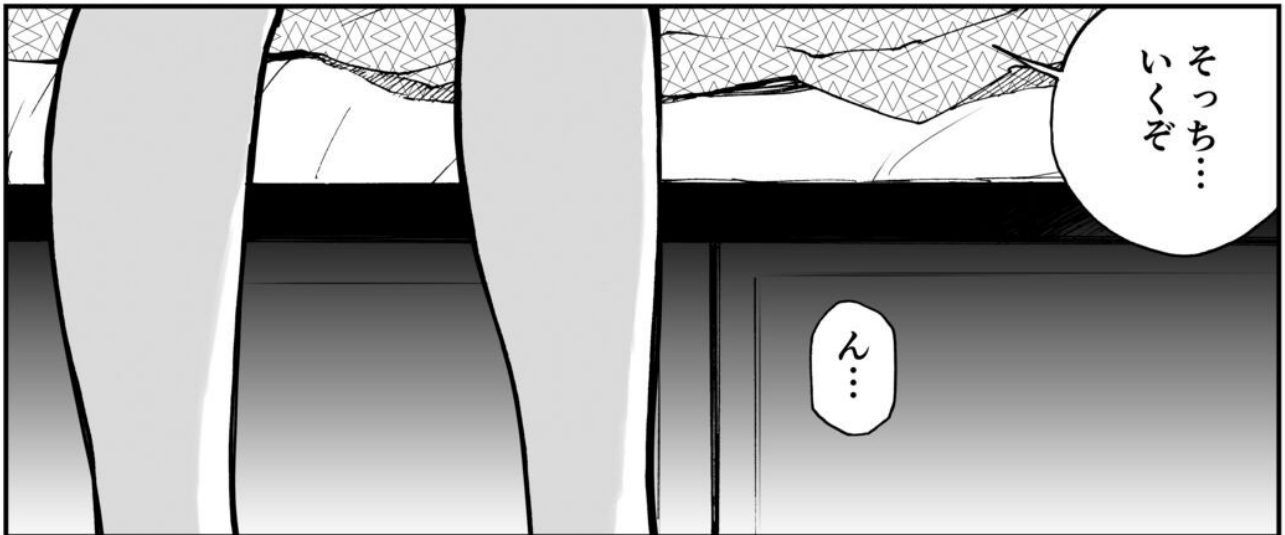


おおー  
これが  
稔ちゃんが  
毎晩寝ている  
ベッドかー

スンスン



えへへ  
けっこう  
いい臭い  
だよ



そっち…  
いくぞ

ん…



もうちよい  
奥へ詰めてよ

ん…



ガン見  
すんな  
スケベ



へー  
そーゆー  
パンツ  
はいてんだ♡

ベッドが  
もう一度  
「キシッ」と  
鳴った…



全部  
脱いだの？

ううん  
わたしも  
まだ  
パンツは  
はいてる



やっぱり  
せまいな

稔ちゃん  
落っこちたり  
しないでね

ゴソ…

しないよ

ボクと由花<sup>ゆか</sup>は  
恋人というより  
気のおけない  
友だちみたいな  
感じだった…

だけど

あんまり  
エロい雰囲気  
にならないもんだね

やっぱり  
映画やマンガとは  
違うんだね  
実際は……

うん  
けっこう  
日常の続き  
みたいだ

さつき  
服を脱いでたのも  
なんかおフロに  
行くみたいだったし

お、おフロ  
だと~~~~

トクッ

このベッドの上で  
今から  
ボクと由花は  
「男と女」に  
なる



やっぱり  
キスからが  
いいな...

クワッ...



キス...





やば...  
こんな  
ハードなキス  
はじめてだね...

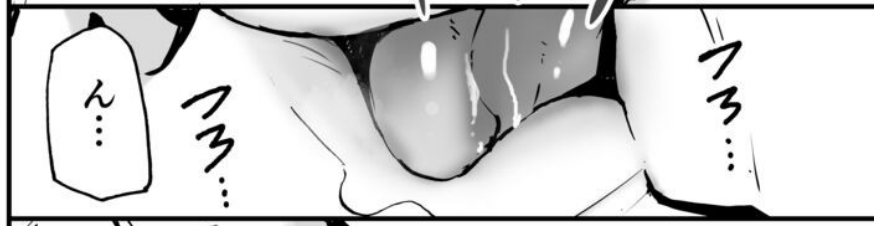
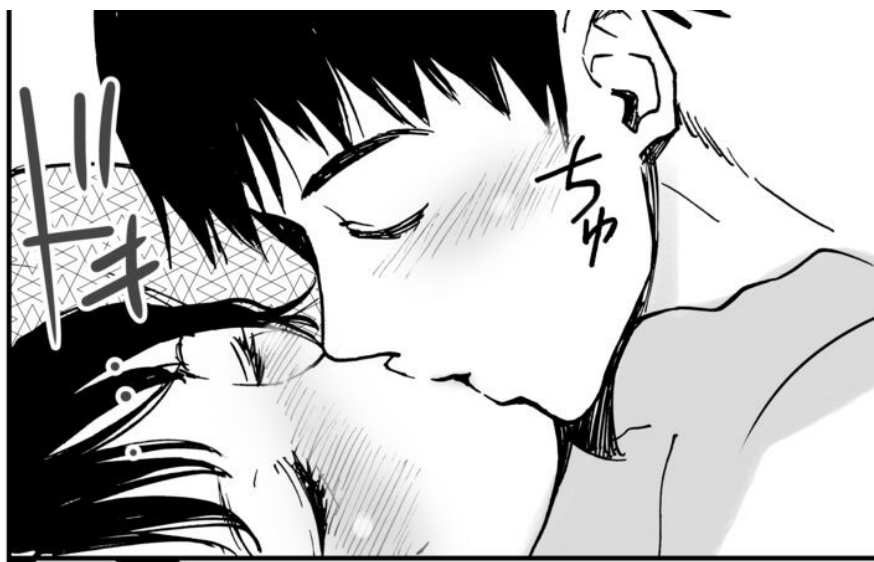
トキ...  
トキ...



穂ちゃん  
こんなにキス  
上手だったんだ...

今日のために  
練習をしたの？  
してないよ

トキ...  
トキ...



トキ...

ちゅ

れろ...

ん...

ちゅ

トキ...

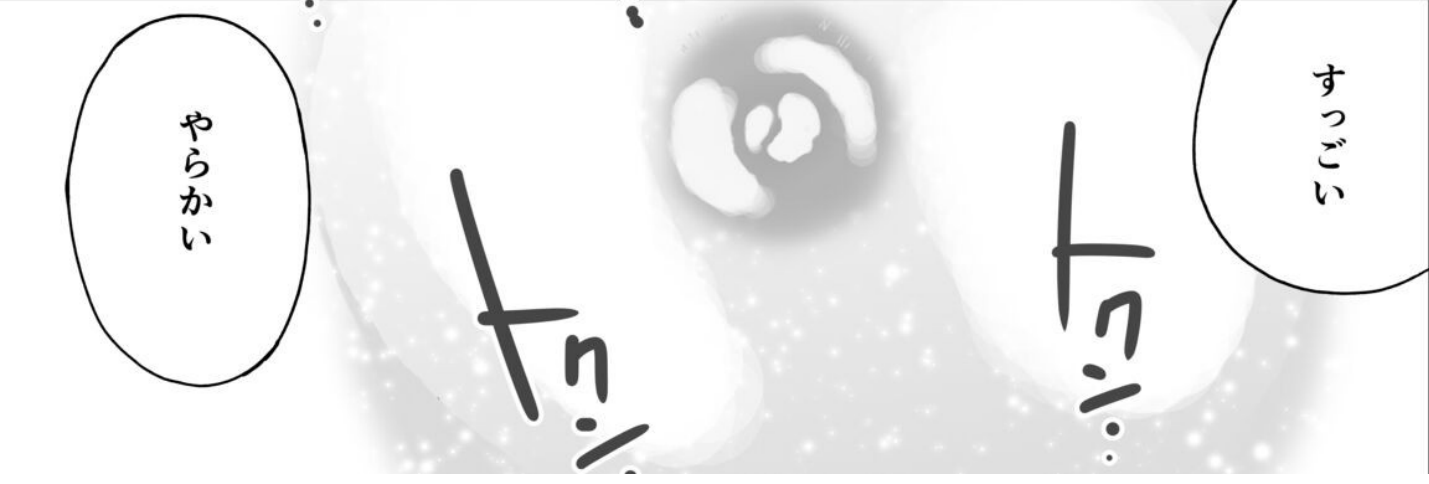
ん...

フ...

フ...

んんッ...

トキ...





わあ♡

バ…

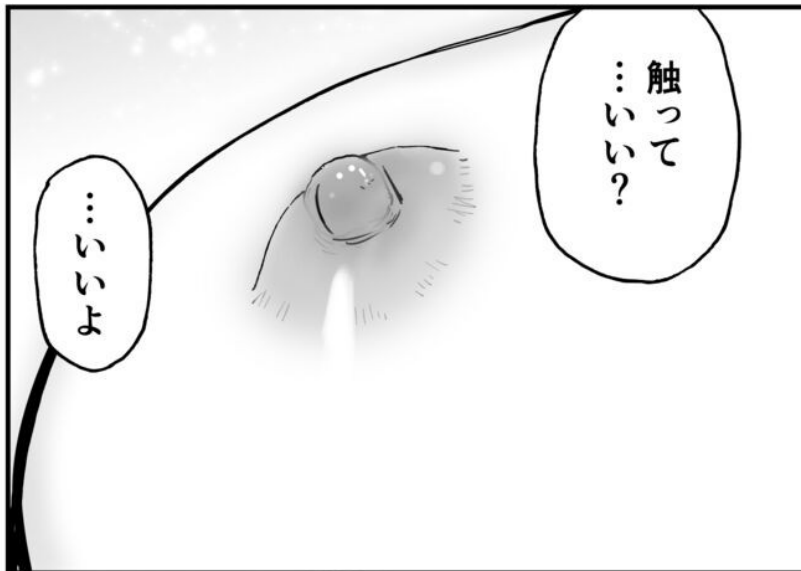
おっばいで  
そんなに  
よろこぶな

ズーン



っっていうか  
触ってほしく  
なってる…

あんなに  
キス  
しちゃったから



触って  
…いじり？

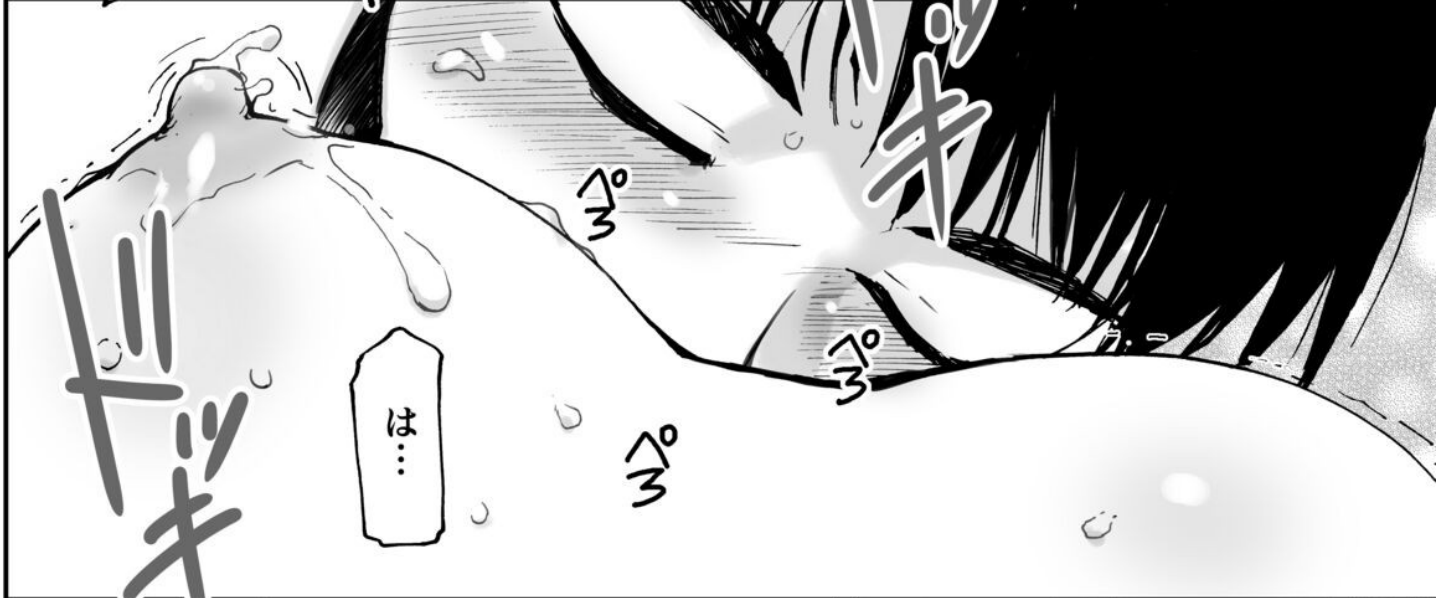
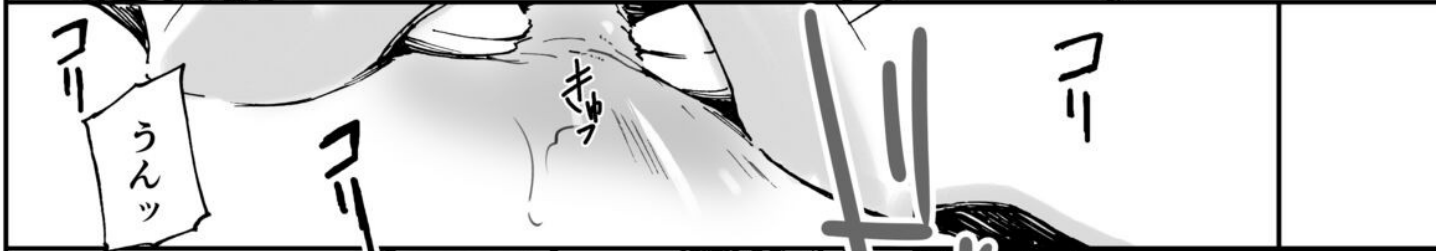
…いじりよ



お…おお!!

ズーン…



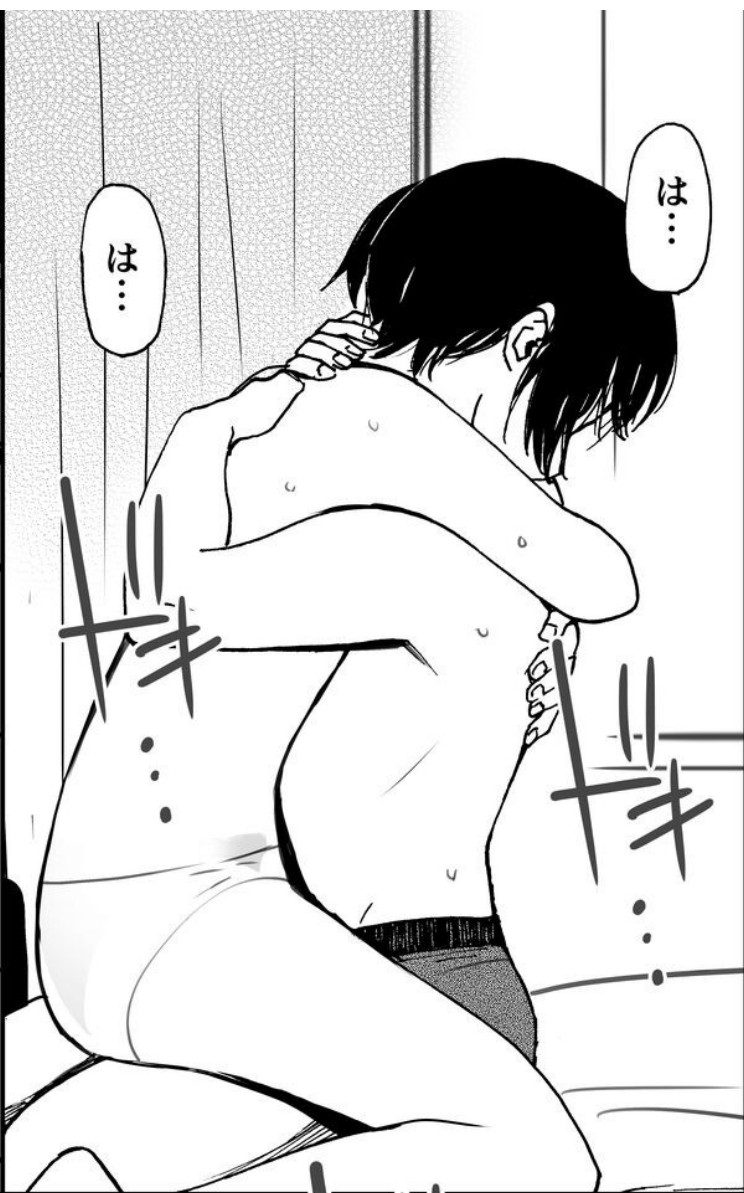








稔ちゃん…



は…

は…



稔ちゃんの  
身体  
熱い…

くっついてるとこが  
じゅんって  
なる…



裸になろう

もう早く  
脱いじゃお



由花の  
身体も

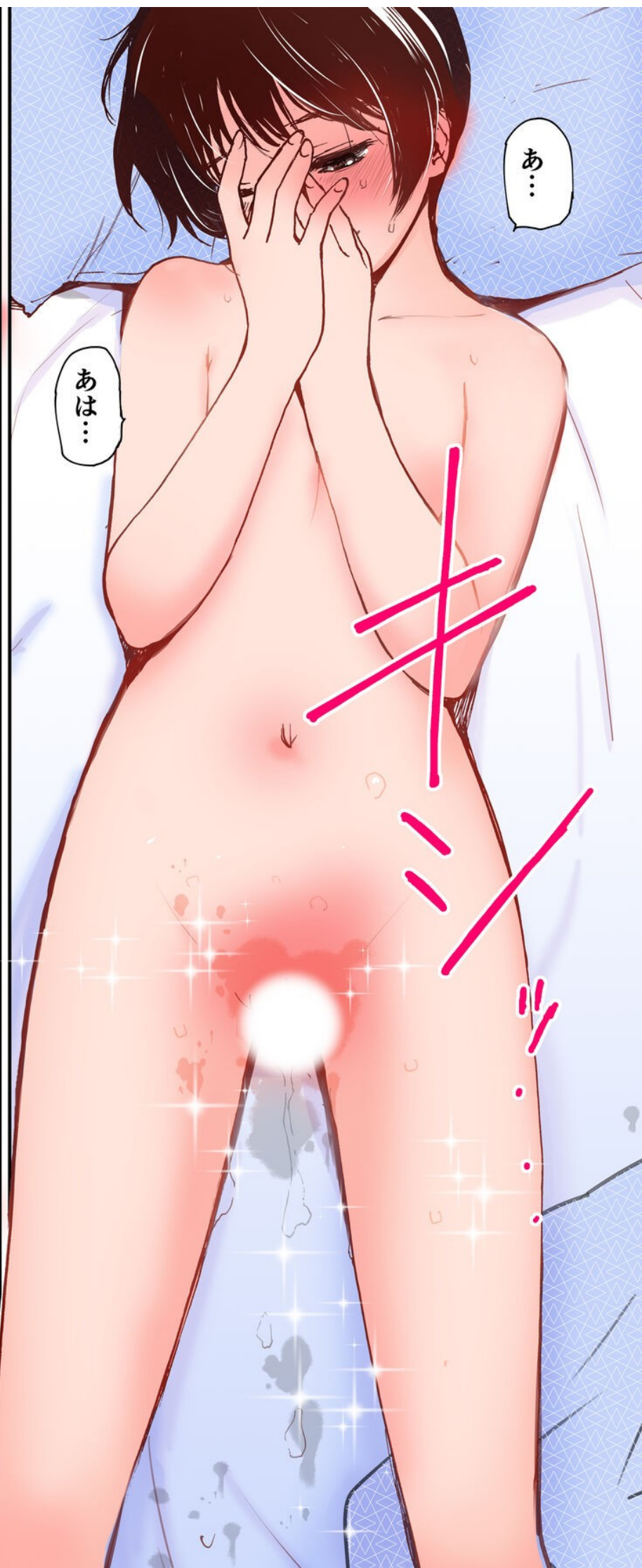
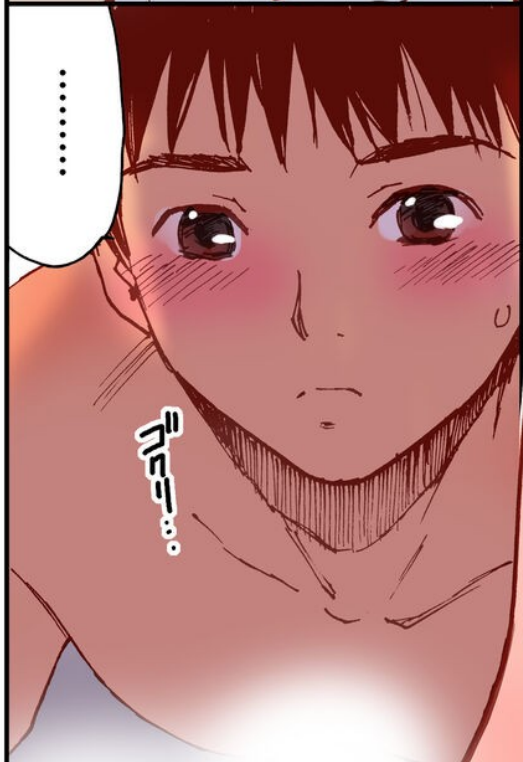
すごい  
熱いじゃん…



ズ

ズ

ズ





そっと  
触った…

いっぱい  
濡れてた  
…



こんなに  
感じてくれて

すごい  
うれしい

フフフ…

由花  
ありがとう

…バカ

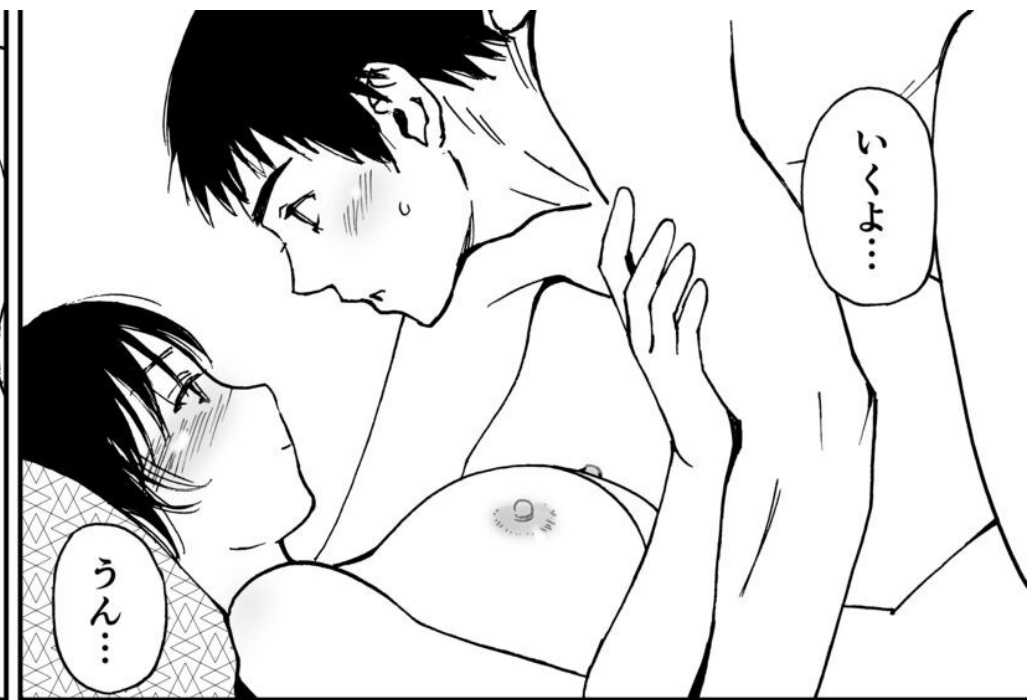
これは

こわれやすい  
ものだと  
感じた

大切に  
してあげなきゃ  
いけないものだ  
と  
感じた



ボクの  
「男」の心が  
そう感じた











……  
大丈夫

かなり  
キツイけど……  
イヤな感じじゃ  
ない……



大丈夫か？

すごく  
痛いって  
聞くけど……

じん  
じん



ふう……

ふう……




きゅ

ああ……



おちんちんって  
あったかいんだね



えっちするって  
こういうこと  
だったんだね

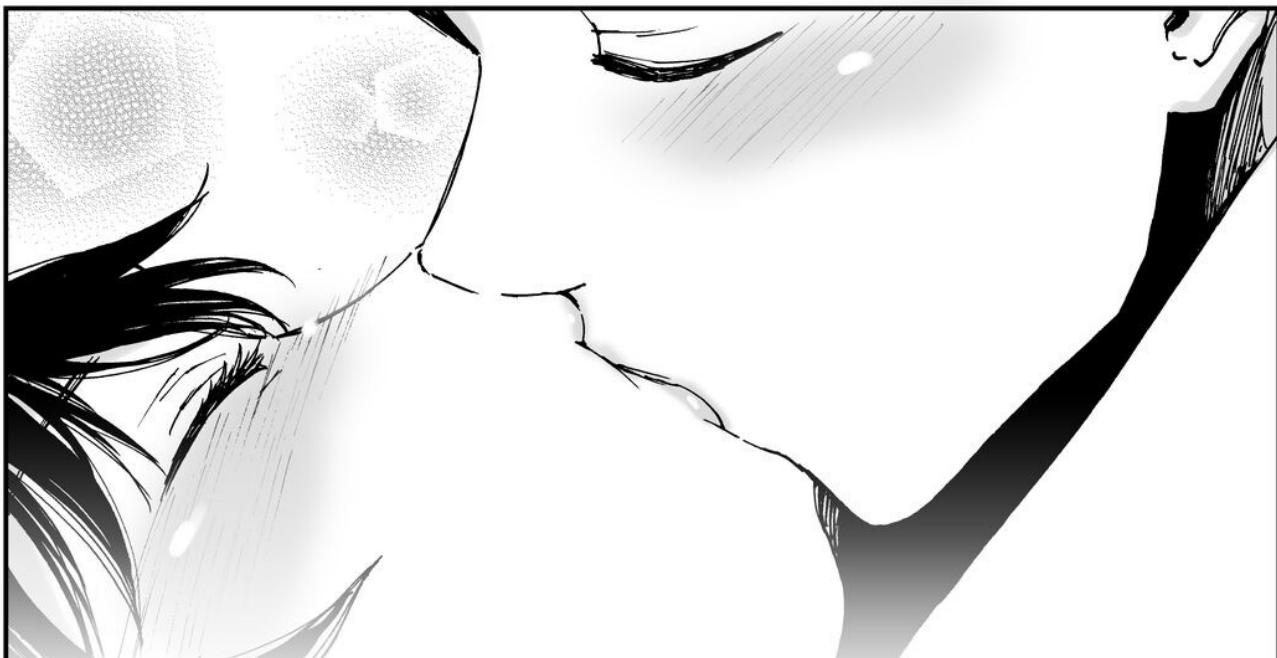
たまらなく

愛しく  
なっちゃう



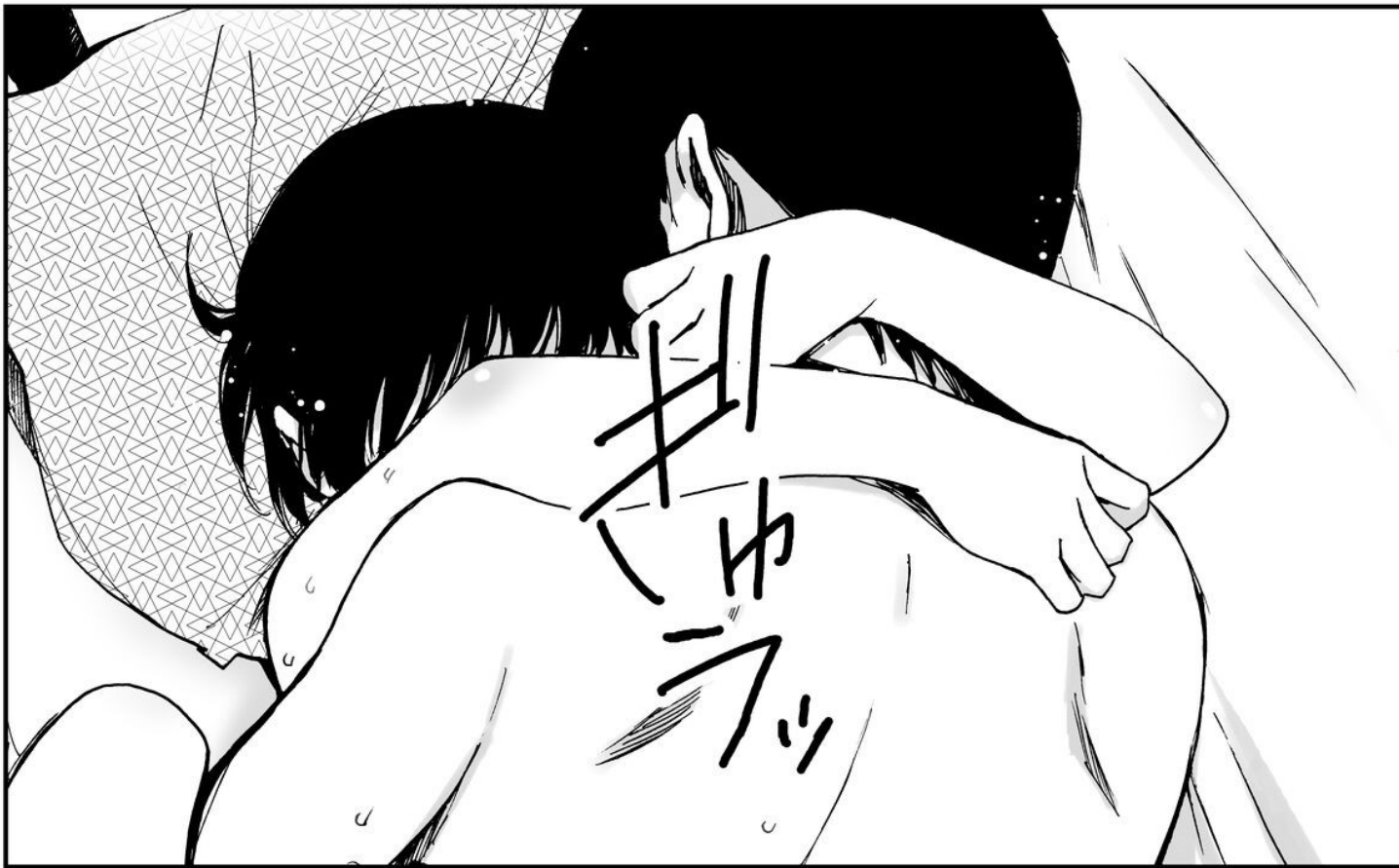
由花…

稔ちゃん…





腰をゆするように  
少しづつ 少しづつ  
動かしていく...



由花の息が  
恐いくらいに  
荒くなった

すごい力

んッ...

んッ...

ふうッ

ふうッ

ふうッ



大切な…  
大切な…

特別な身体に  
なっていく…

特別ないのちに  
なっていく…

愛しい  
…ツッ!!



オレの

あ…

あ…

「女」だ!!

あッ

あああ…ツ

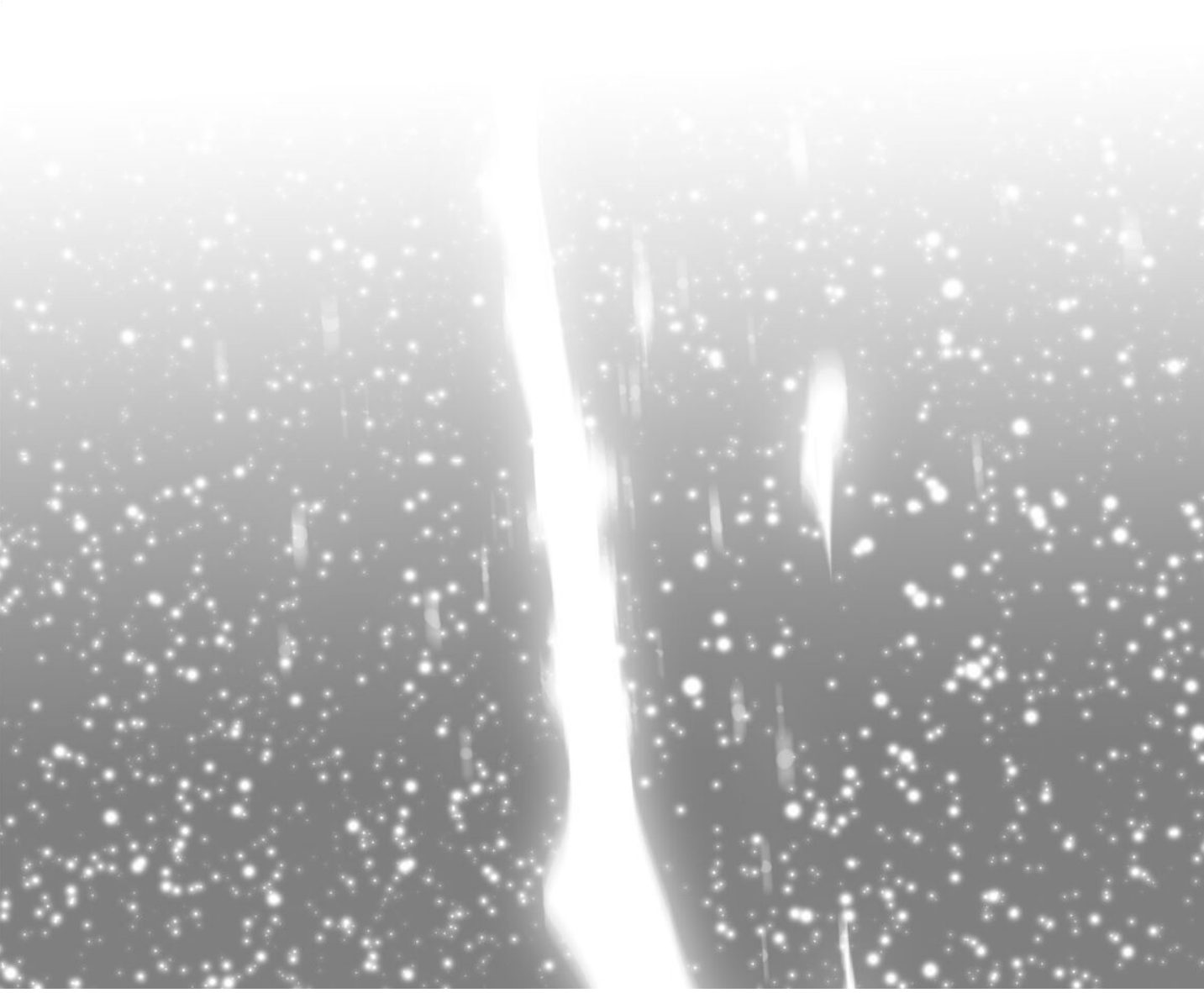
あ

うあ

あ

あ  
ああ  
あああ  
あッ!!

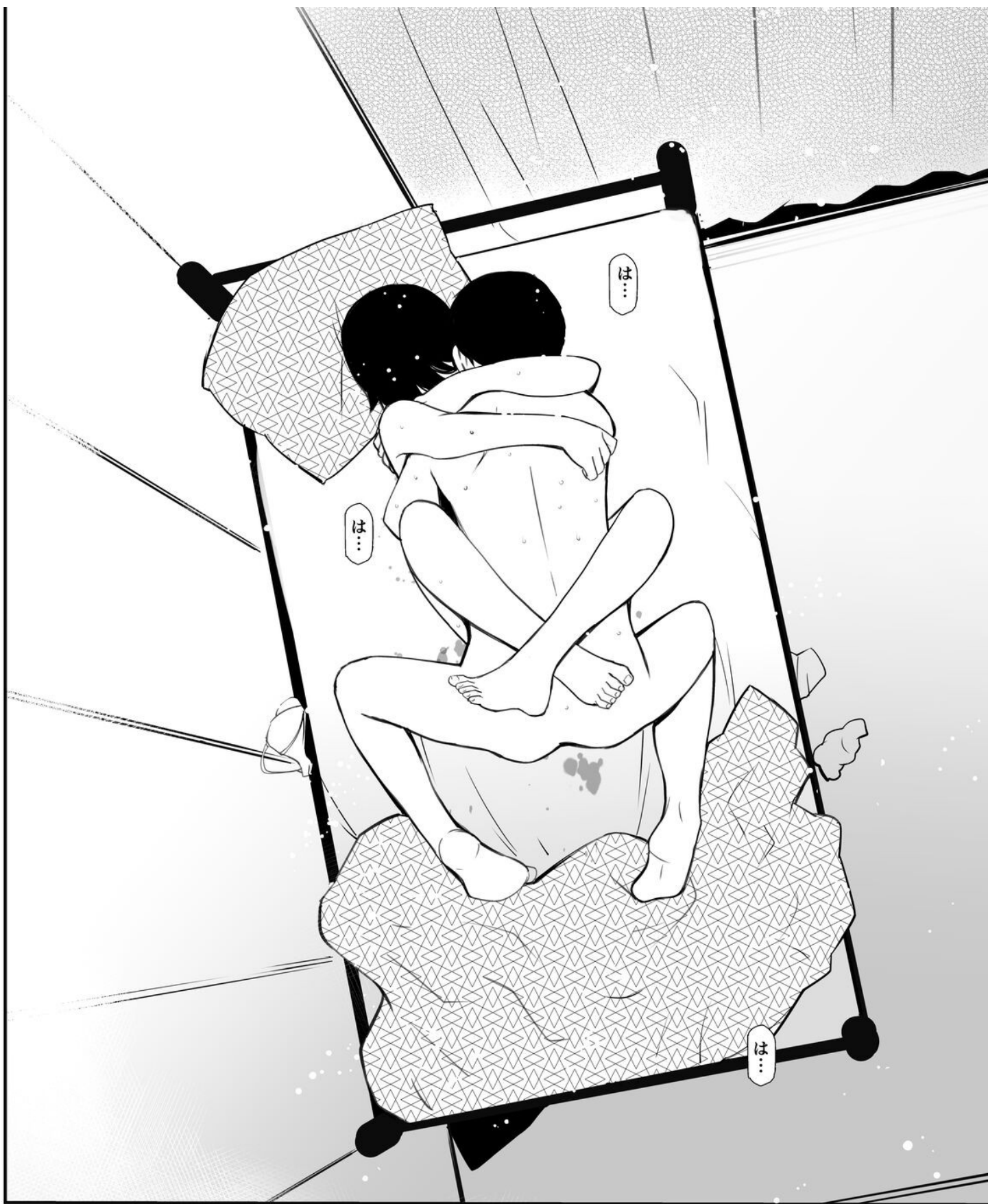
あッ!!  
あッ!!





あ  
あああああ♡

トクッ  
トクッ  
トクッ  
トクッ



しばらくは  
動けなかった  
目を開けることも  
できなかった

……

ベッドが  
合図するように

キシッ……

小さく鳴った



は…

あ…

ふたりは  
もう…



あはっ…

恋人  
だった



んー

ボクたちさ

する前と  
何か変わったかな？

わかんない



穂ちゃん  
最後のほう  
すごいっぱい声  
出してたね

え？  
そう？

ボクと由花は  
なりたての  
「男と女」

うん  
自分で  
気づかなかった？



しあわせ♡



それはそうと  
生乳  
押しつけ過ぎだぞ

えへへ  
これクセになりそ♡

背中が  
くすぐったい

照れくさい…

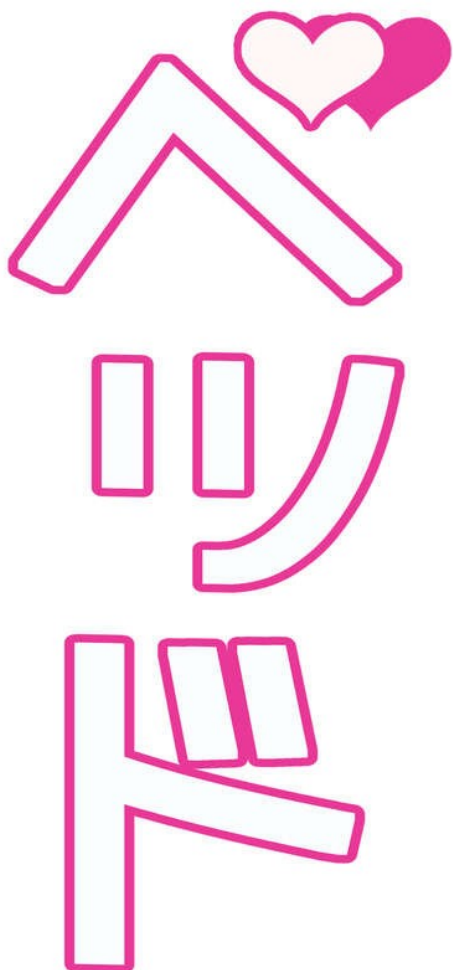
あったかい…  
つまりこれって…

なあ  
由花…

くそ  
先に  
言われたッ

キシ…


ふたりの





鼓動に  
さわって...





触ったら  
想像していたより  
ずっと大きく  
脈打っていた…



ほん…

すごいな  
本当に  
ドッキドッキって  
いってるんだ…

もう…

止まってるなら  
死んじゃいます

はは

そりゃ  
そうだよね

はい!!

うん

そうだね

ちまに  
触れている  
のひら  
ほんのりと  
あたたかい…

ちゃんと  
生きてますから



緊張  
してます？

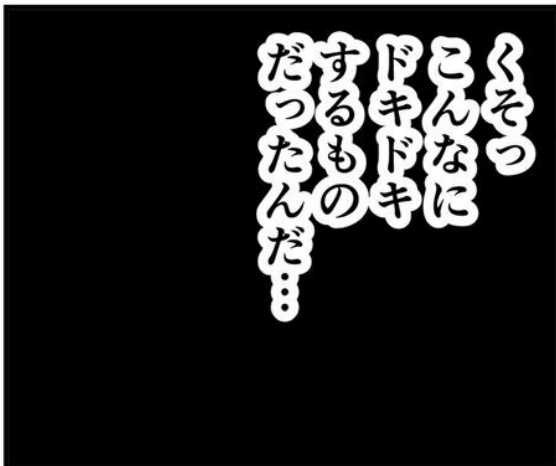


ドッキドッキって  
響いてきます



わたしより  
天さんの方が  
ドキドキ  
してるみたいです

ホラ



くそっ  
こんな  
ドキドキ  
するもの  
だったんだ！



う、うん  
してる…



いいえ

いいですよ



め、  
めんぼくない

ちゃんとしなきゃ  
ボクの方が歳上で  
何より  
男なんだから

ふたりで  
ドキドキ

うれしいです

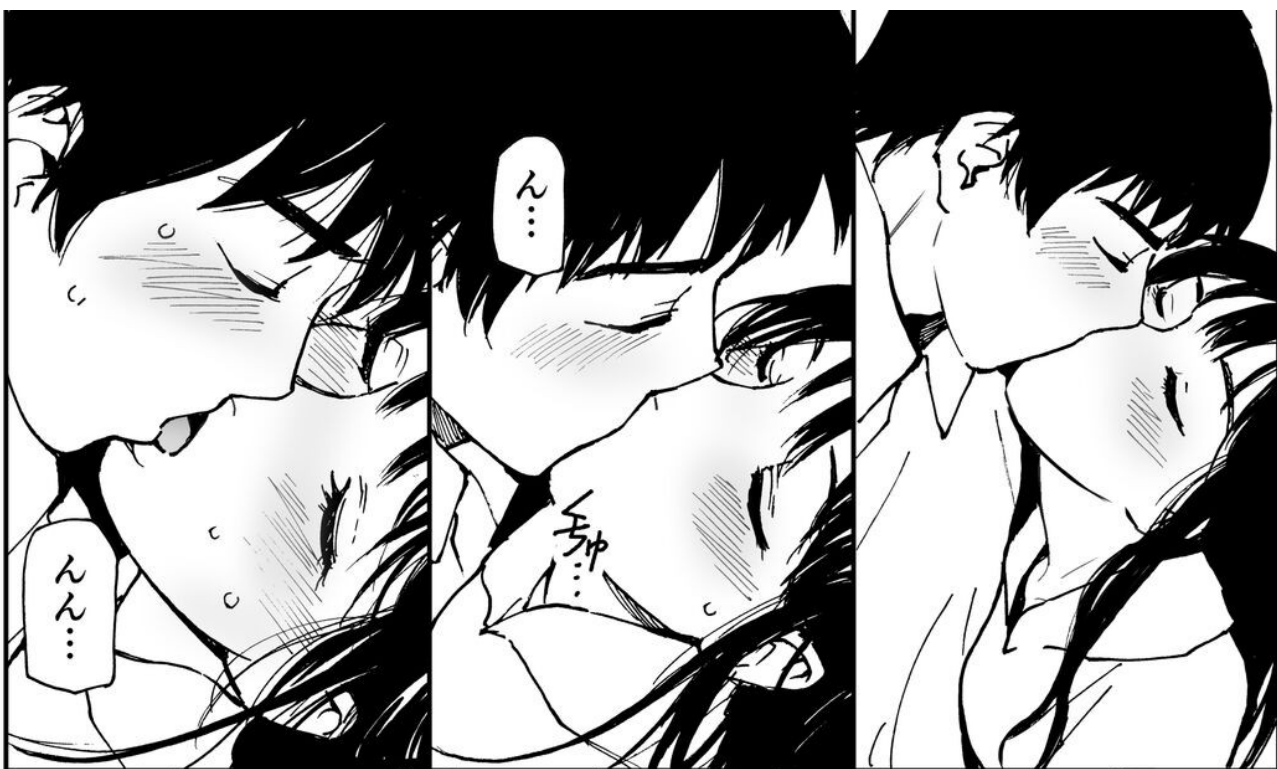
いま  
キュンって  
きました♡

あ

…ちま

あ…やば  
頭…まっ白に  
なりそう…

キュン  
キュン



ちま...

ドツキ

ドツキ

ちゅ...

ドツキ

ちゅ...

ん...

ドツキ

ちまの  
ドキドキと

自分の  
ドキドキが

重なって  
混ざって  
いっしょになる...



ふう...



わたし美味しそうですね

あは...



ちまの肌 触り心地いい...



うん 美味しそう...



あ...



焼く前の まっ白な パン生地みたい...

ああ…!!

胸…

胸…

いッ!!

ごめん  
痛くしたね

はい…

ごめん…

そんな…

こんなにも

やわらかいなんて…

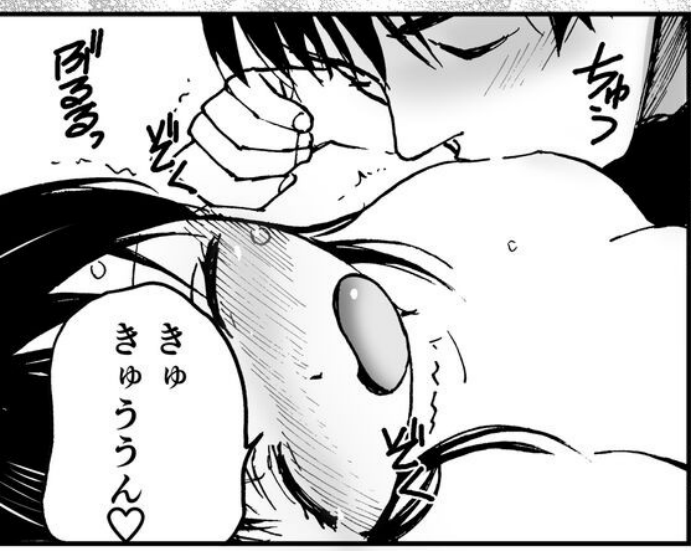
やわらかすぎる…よ!!





わは…!!

キスの雨  
!!



ちゅ

きゅ

きゅ  
きゅ  
きゅ  
♡



ちまを  
は…

裸にした

はッ…



ふッ

ふッ

はじめて  
手を触れる

ふッ

つつましやかな  
陰毛……

その奥……

ふうう……

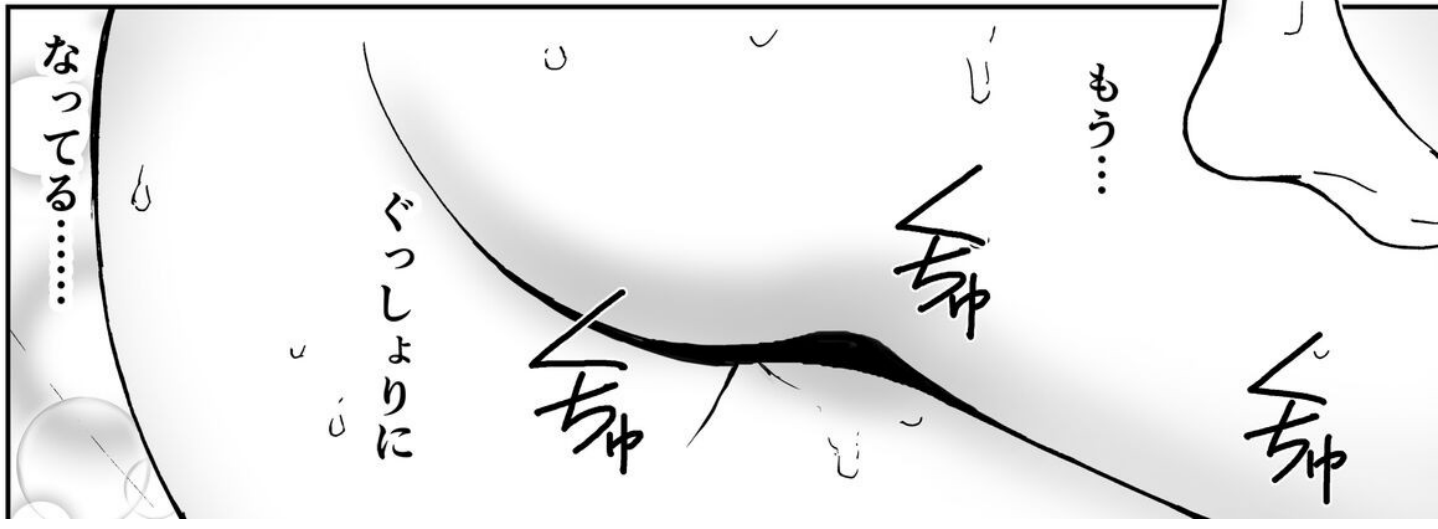
ちゅ



ふ……

ちゅ

ちゅ



もじ……

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ぐっしよりに

なってる……



ちま

感じてる…ね…

はい

うるっ



ちゅらっ



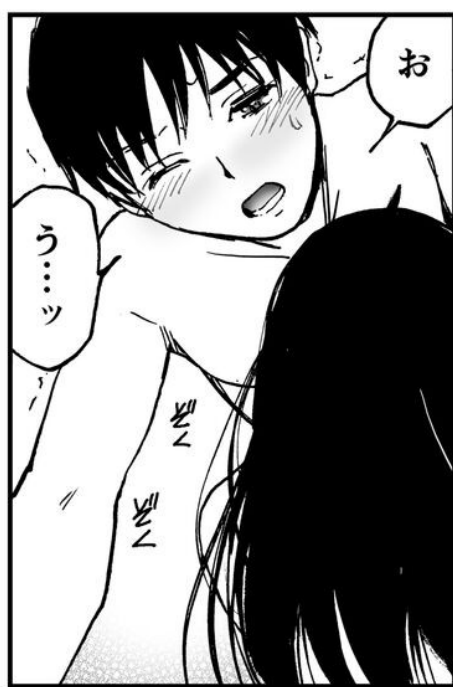
んふふふッ

にっ



天さん  
感じちゃいます?

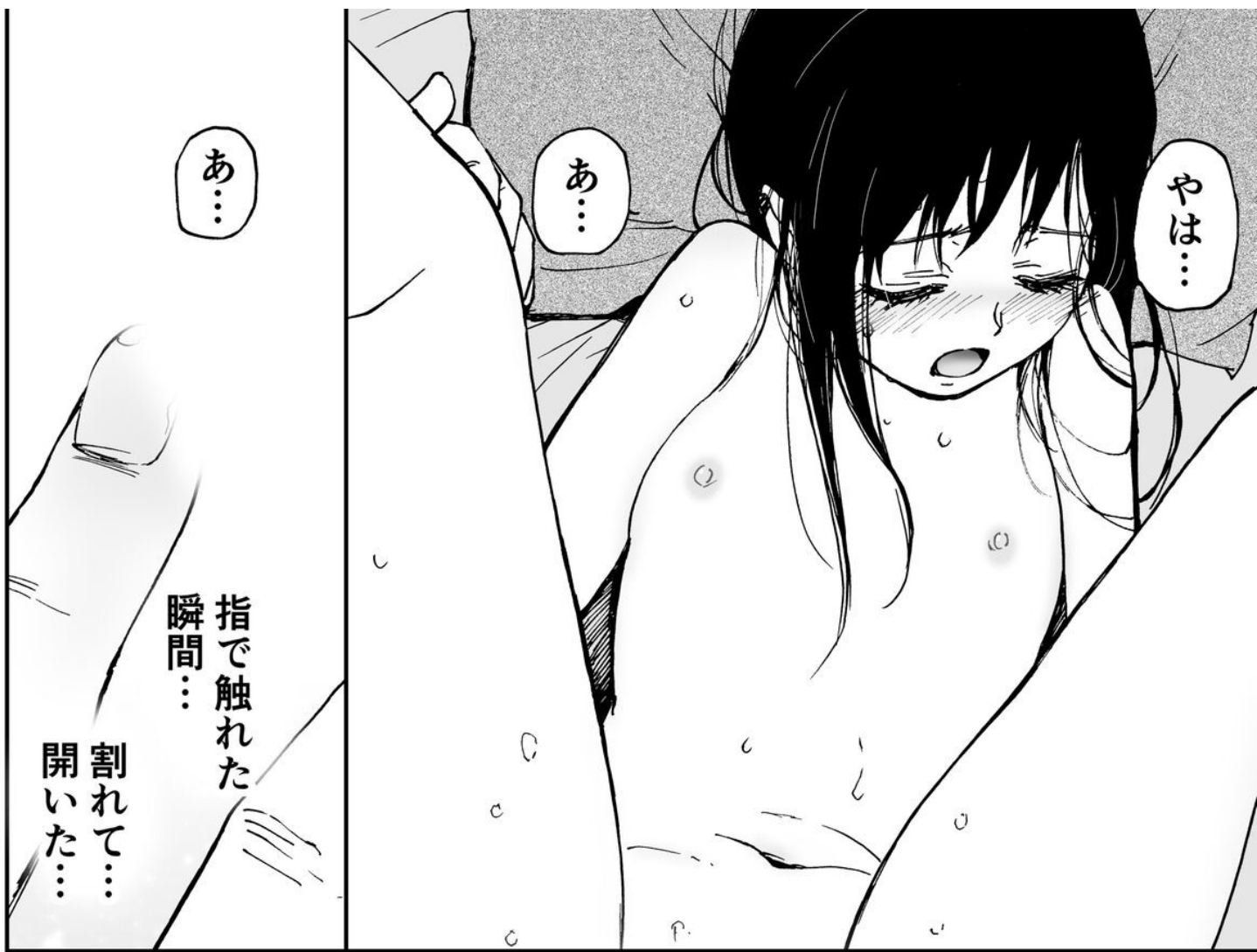
うん!!



お

う…ッ

んふふふッ



あ...

あ...

やは...

指で触れた瞬間...

割れて...  
開いた...

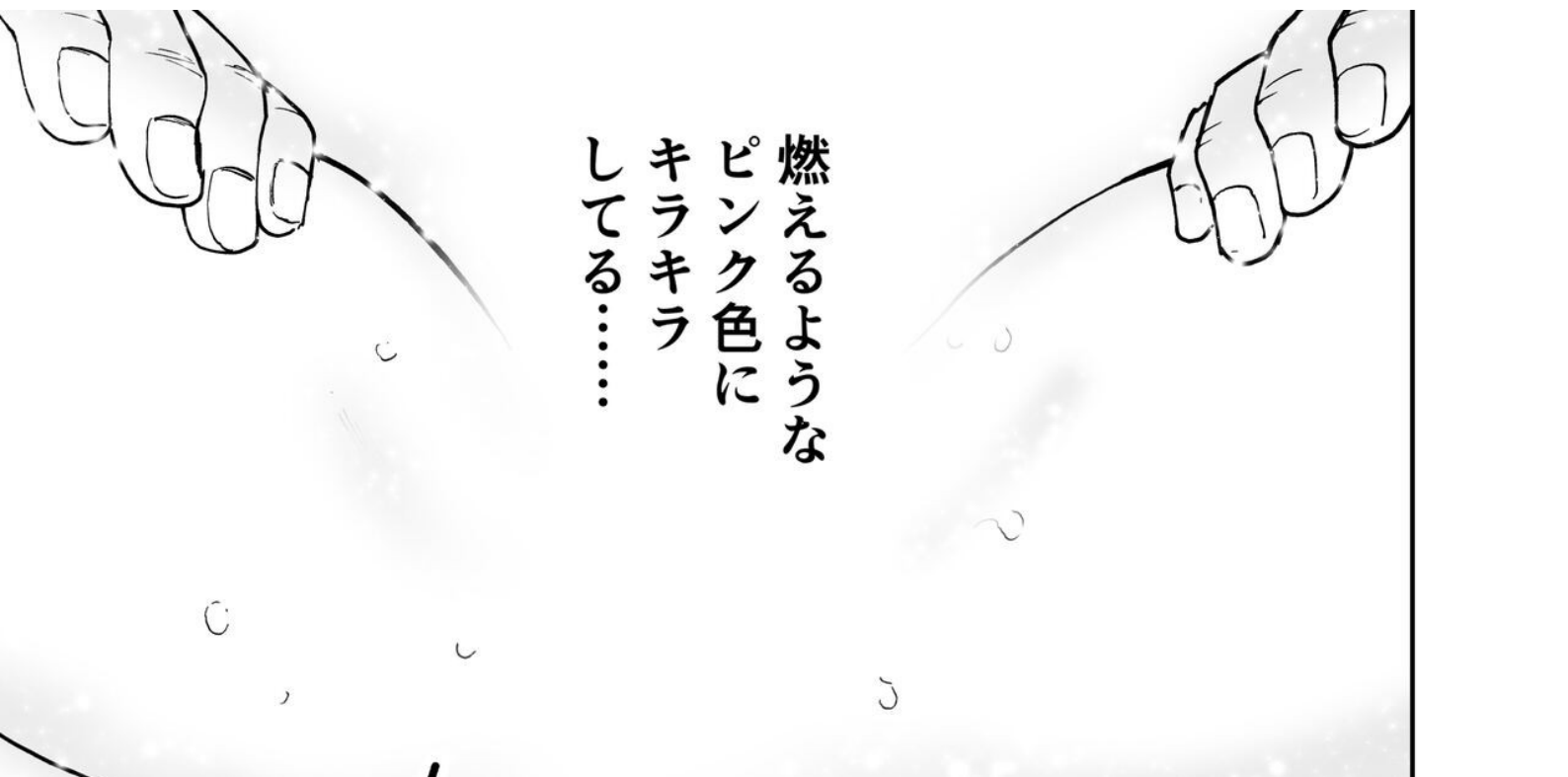


透き通った雫が  
幾筋もこぼれた...



そんなに奥をじっくり見たら  
恥ずかしいです

ちまの中は...



燃えるような  
ピンク色に  
キラキラ  
してる……

ちゅ。

ちゅ

きれい……!!

ちゅ……

熱いです……

身体……

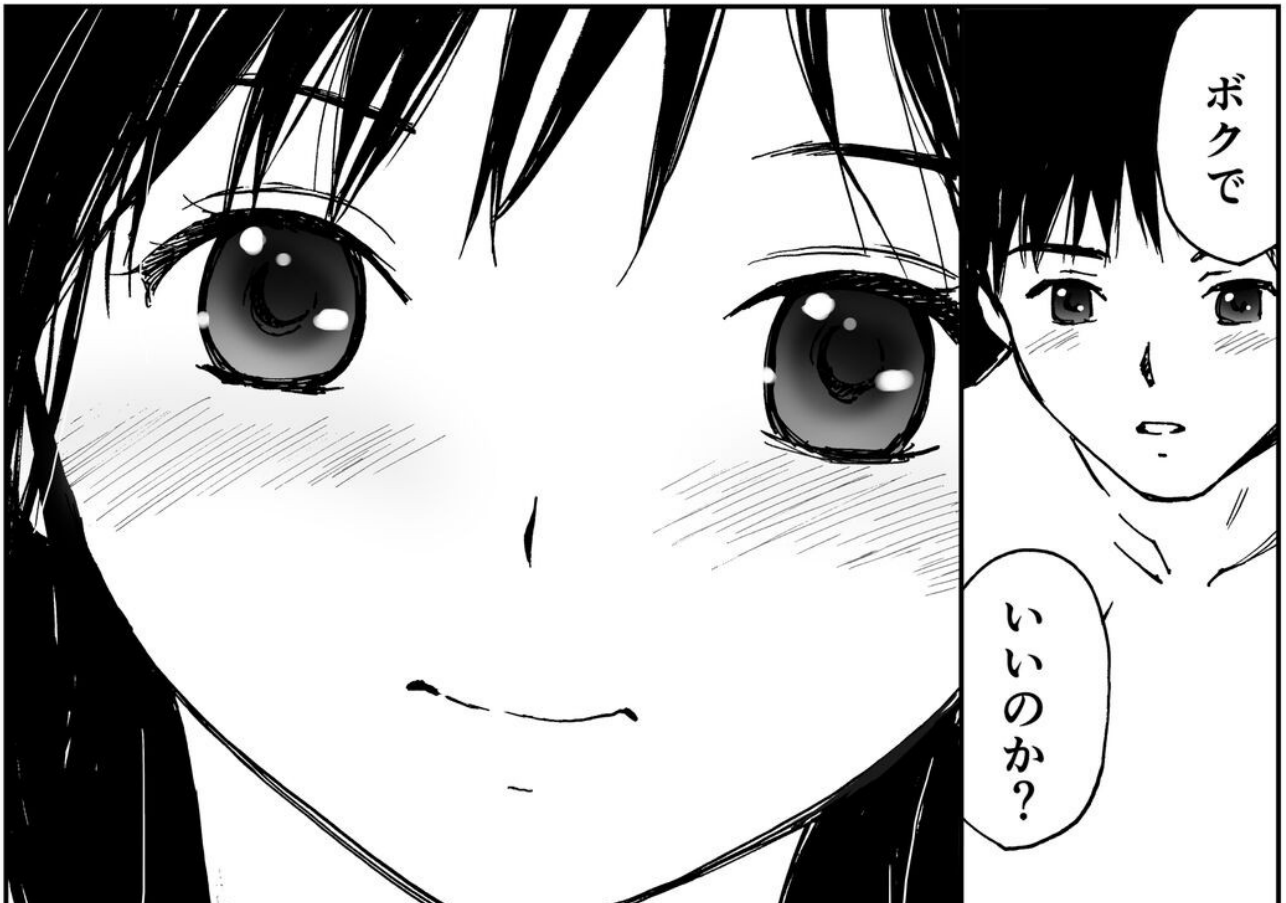


はじ...

いくよ...

「こわくない?」

「...こわいより  
"したい"って  
気持ちの方が  
ずっと強いです」

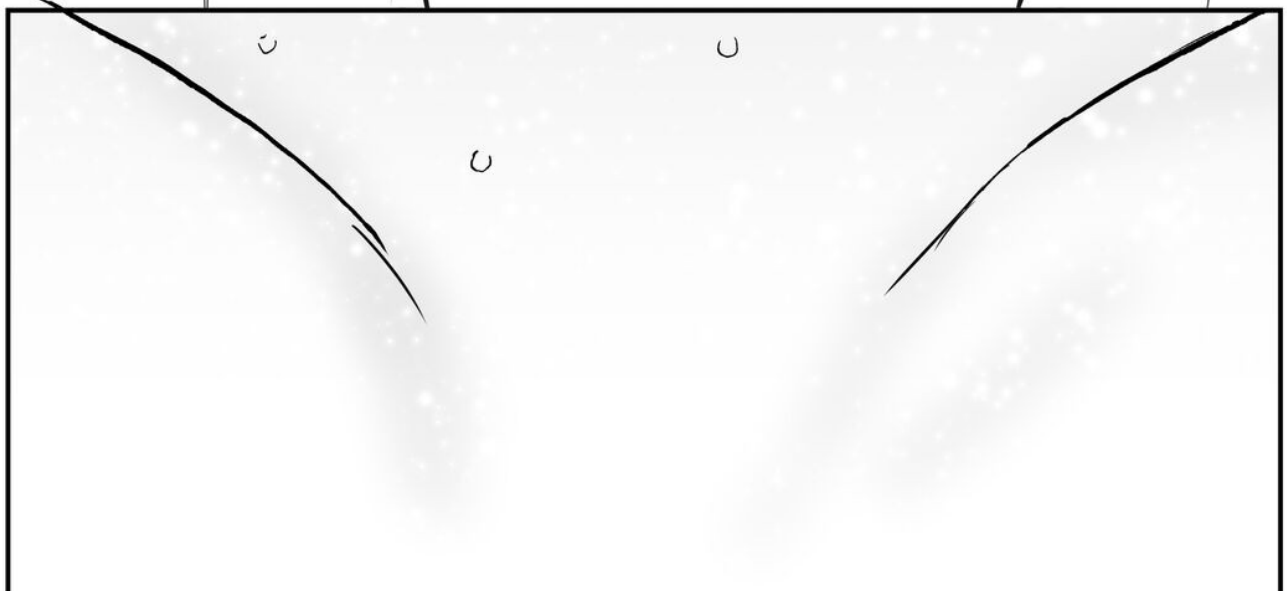


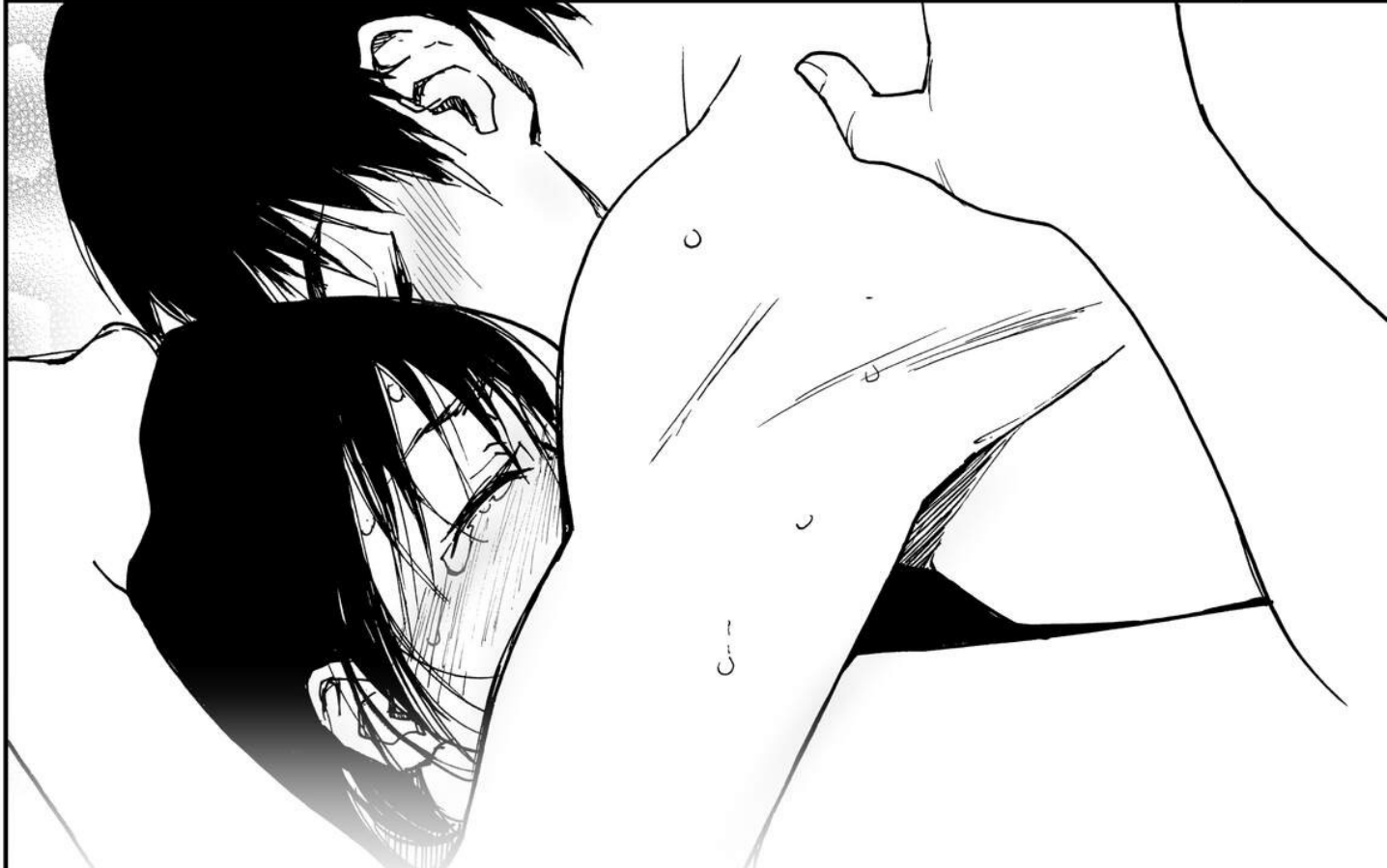
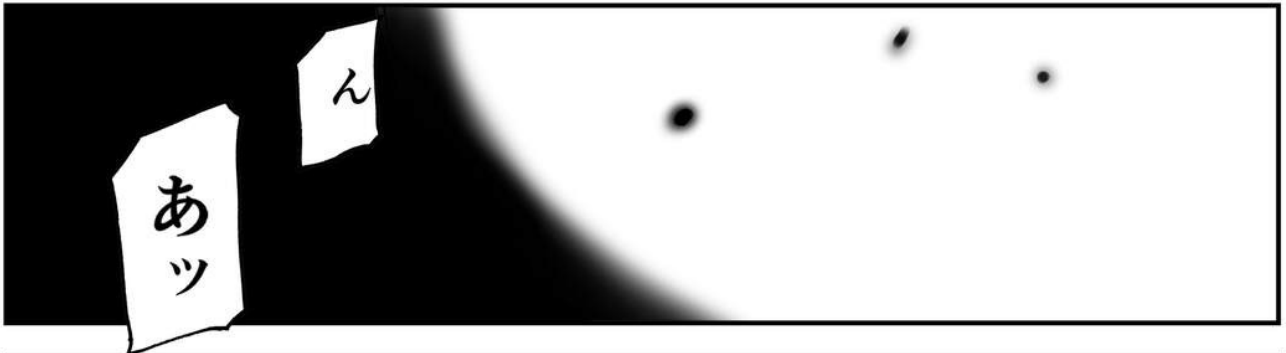
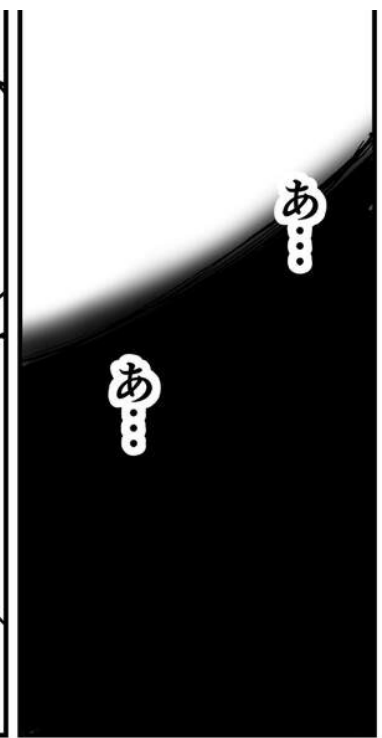
ボクで

いいのか?

あなたじゃ  
なきや

やだ  
♡

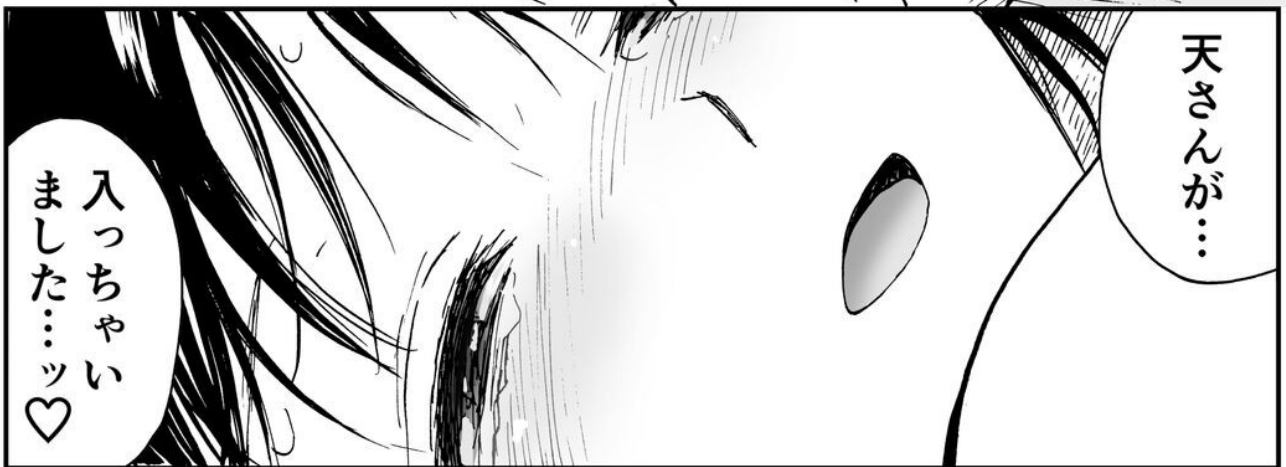






は...

は...



天さんが...

入っちゃい  
ました...♡



うん...!!

うん...!!

すごいね...

すごいね!!



ひとつに

なってるね



もう

魂まで

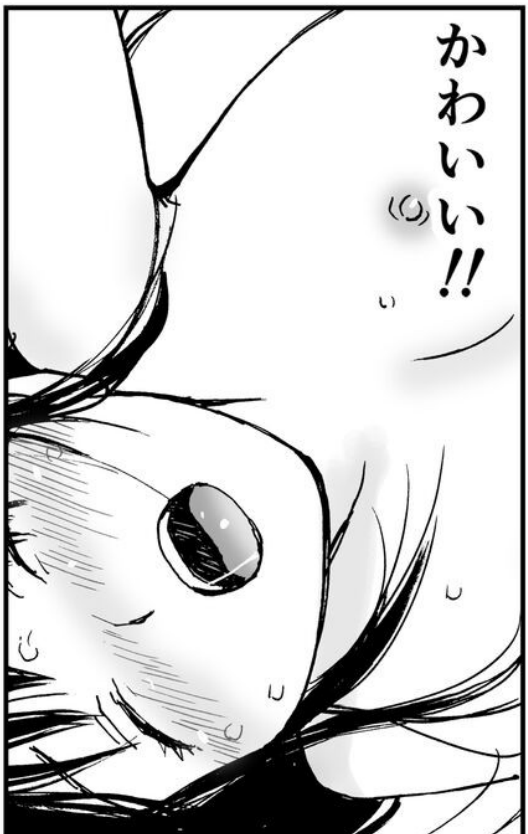
素っ裸になった



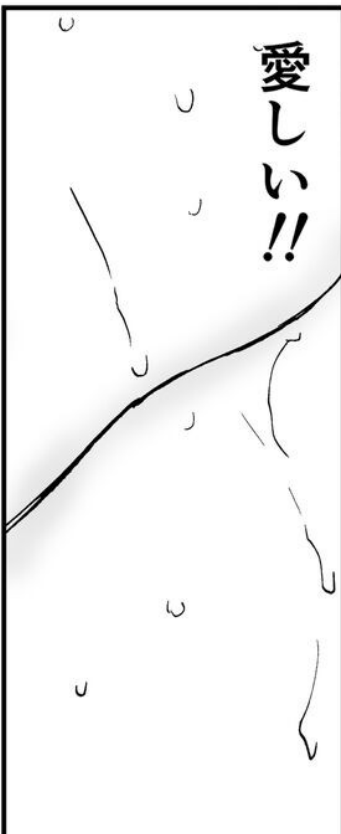
はあッ!!

はッ

はあッ!!



かわいい!!



愛しい!!



かわいい…!!



かわいい!!

あッ

ああ…

かわいい!!

かわいい!!

かわいい!!

かわいい!!

かわいい!!

かわいい!!

かわいい!!

愛してるッ!!



キーン…

わたしも…!!



わたしも!!

キゅん

!!

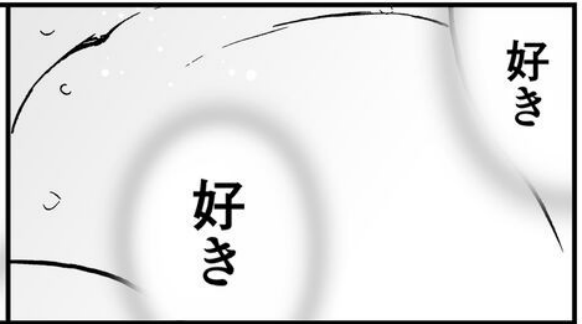
キゅん

キゅん

キゅん



好き!!



好き

好き



ちま!!



しゅ

しゅわっわっ!!





世界が  
ふわふわ  
していた

あー  
この音  
好きです

はじめて  
全身で  
愛し合うことを  
体験した…

服  
着たく  
ならないね

はい♡



トクン  
トクン…  
トクン…  
トクン…

トクン  
トクンが  
ほっぺたに  
まで  
響いてきます  
………



笑っちゃいます♡

はい

…  
なんだか  
自分かはじめ  
生きものにな  
みたいな気分  
…

くすぐったいって

鼓動に

さわって…

**田中ユタカ**  
**YUTAKA**  
**TANAKA**

この作品を読んでいただいて、ありがとうございます。  
楽しんでいただけたなら、さいわいです。

愛ある漫画。  
感動するエッチ漫画をこれからも、描き続けていきたいと思ひます。

大好きな人と愛し合うよろこびは人の一生の中でも  
もっとも大きな感動の一つだと思ひます。  
読者にそんな体験してもらえる作品を目指します。

僕の漫画があなたの心を少しでもあたたかくするものでありますように。

良い作品をお届けできるよう、一生懸命がんばります。

田中ユタカ

■Twitter <https://twitter.com/tanakayutak>  
どうぞお声をかけてください。  
作品の感想などをいただければうれしいです。



■Fantia <https://fantia.jp/fanclubs/16725>  
オンラインのファンクラブです。  
ご参加をお待ちしています。

